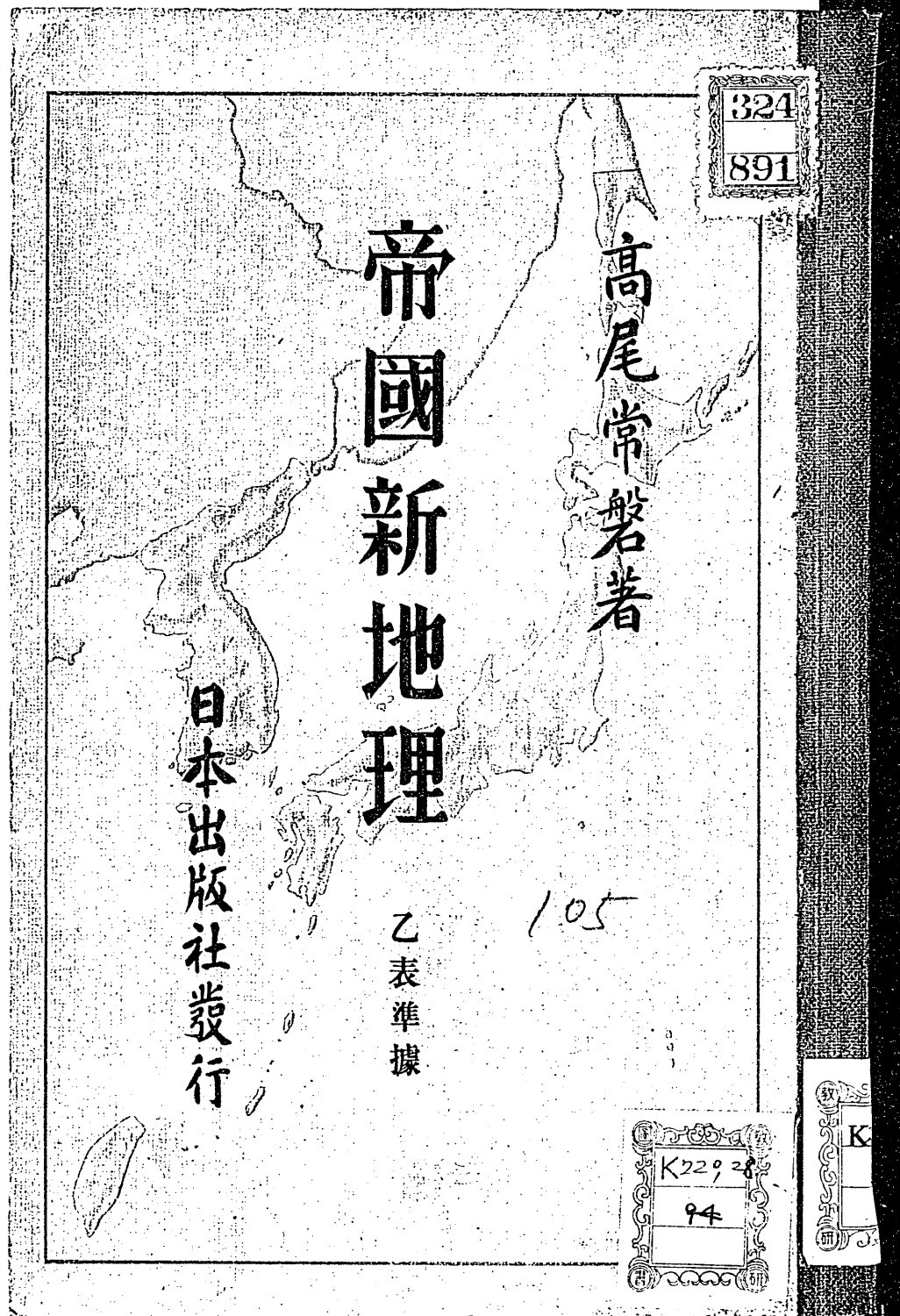


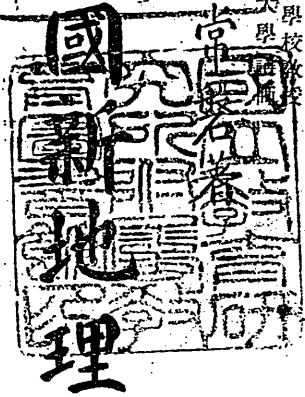


K220.28

105



廣島高等師範學校
教育學部
教育學科
大學



乙表準據



東京・大阪

日本出版社



日本アルプス
(針ノ木峠と蓮華嶽)

緒 言

本書は現行中學校教授要目地理科乙表に據りて編纂したもので、「外國新地理地理概説と連絡して、中學校地理教授の本旨を達成するに努めた。

本書の編纂に當つては特に左の事項に留意した。
一、尋常小學地理書の教材を本書中に編み込み、其の徹底を圖ると同時に、一層我が國の情勢を精密且つ平易に取扱ひ得るやうにした。

二、各地方別に沿革の欄を設け、現在に至るまでの其の地方の歴史的發展の概要を記し、以て國史教育との連絡を密接ならしめるやうに努めた。

三、特に住民の欄を設け、各地方に於ける人口の粗密並に人口の移動狀態を述べ、その原因を知らしめるやうにした。又、各地方別

に政治教育の欄を設けたのは、生徒をしてその地方の文化の一斑をも知らしめやうとしたからである。

四、鐵道交通圖は主要幹線を太くし、支線及び連絡線との關係を出來るだけ明瞭にした。

五、處誌は現在の行政區劃による府縣別を單位として記述したが、出來るだけ地理的特徴の一致したものは地域の説明につとめた。

六、挿畫は教材に最も適當したもののみを嚴選し、教材の徹底に努めた。殊に人口表、産額比較表、地圖等には一層留意し、生徒をして本文の了解を得易からしめるやうにした。

七、本書に採用せる統計は、内閣統計局編纂昭和十年國勢調査速報、内閣統計局編纂日本帝國統計年鑑、東京天文臺編纂理科年表、神宮神部署の略本曆等に據つた。

昭和十一年九月

著者識

帝國新地理

乙表準據 目次

序 説	一
第一編 地方誌	五
第一章 樺太地方	五
第二章 北海道地方	一四
第三章 奥羽地方	三〇
第四章 關東地方	四〇
第五章 中部地方	五九
第六章 近畿地方	六九
第七章 中國地方	二八

第八章	四國地方	一三
第九章	九州地方	一五
第十章	臺灣地方	一六
第十一章	朝鮮地方	一八
第十二章	一 關東州	一九
	二 南洋群島	二〇
第二編	總論	二〇
第一章	地文	二〇
第二章	人文	二九
結語		四一
目次 (終)		

帝國新地理

高尾常磐 著

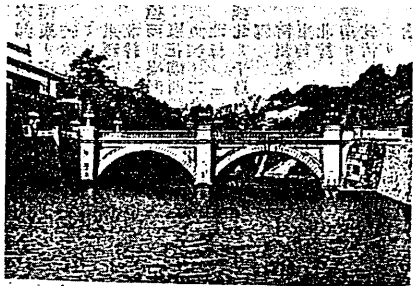
序 說

位置

我が大日本帝國はアジア大陸の東邊に位し、太平洋の北西部に横たはる日本列島と大陸との橋渡をなす朝鮮半島とから成つてゐる。

宮城二重橋

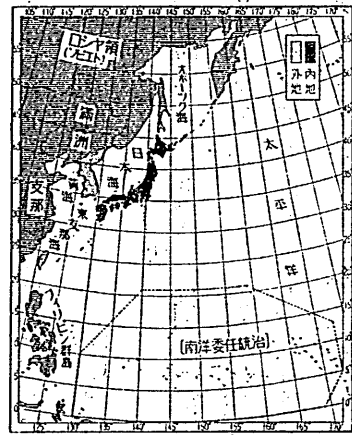
日本列島は三箇の孤狀列島から成り、西方は大陸部との間にオホーツク海、日本海、黄海及び東支那海等の狭い諸海を挟んでロシア(ソビエト聯邦)領と支那とに近接し、東方は遙かに太平洋を隔てて北アメリカ洲に對し、朝鮮半島は鴨



本邦の四極
極東 南洋委任
統治地
北緯 五三〇
東經 一五三
ミレ島東端
極西 臺灣澎湖
北緯 二六六
東經 一二九
北緯 三三三
東經 一二九
極北 千島占守
阿留度島北端
東經 一五三
北緯 五三〇
極南 南洋委任
統治地
グリニチ島南
東經 一五三
北緯 一〇

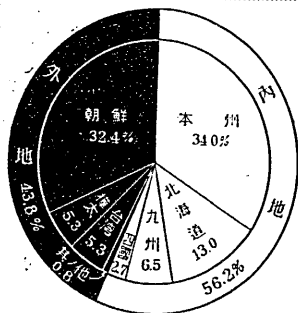
緑江・豆満江によつて満洲及びロシヤ領に接する。樺太は北緯五十度の緯線を以てロシヤ領北樺太と境し、千島の北端占守島は千島海峡を隔て、ロシヤ領に對してゐる。臺灣の南端はバシール海峽を隔てて南方遙かにフィリピン群島のルソン島に對してゐる。かくて我が國は南海の生命線南洋委任統治地を有して太平洋上に歐米の勢力と相對し、北陸の生命線滿洲と結んで我が國力の發展と東洋平和の確保に努力してゐる。

面積人口 今日我が國の總面積は約六十八萬方呎(内地面積三十八萬方呎)を算する。明治維新前は北海道本州四國九州から成る所謂内地のみであつたが、維新後外地として樺太臺灣を領得し、朝鮮を併せ關東州を租借し、南洋群島を委任統治地とするに至り、四割四分の擴張を見るに



我が國の位置

各地方面積
(千方呎)
本州 三三〇
北海道 三三〇
朝鮮 三三〇
北緯 三三〇
東經 三三〇
關東州 三三〇
四國 三三〇
臺灣 三三〇
南洋群島 三三〇
人口は委任統治地を合はせると九千九百四十萬人である



面積人口

至つた。

人口は約九千八百萬に達し、(租借地及び委任統治地を除く)面積の狭小に比べて人口が甚だ多い。従つて、その密度は甚だ大きく、一方呎につき百四十五人を數へてゐる(内地人口密度)我が人口の大部を占める大和族は古來我が皇室の下に國民の根幹をなし忠誠をつくしてゐる。北海道樺太

のアイヌ族樺太のギリヤーク・オロツコ族も、臺灣の漢族高砂族、朝鮮の朝鮮族、南洋の土人等も等しく皇恩に浴し平和に生活してゐる。我等一億の臣民は、遠き神代の御神勅に思を致し、深く皇國日本の風土を知り、祖國日本の發展を期し、以て我が天壤無窮の皇運を扶翼し奉らねばならぬ。

區分 内地(本志は本州北海道四國九州の島々から成り、行政上これを一道三府四十三縣に分けて道府縣廳を置き、外地(植民地)の臺灣朝鮮には各總督府、樺太關東州、南洋には廳を置いて治めてゐる。



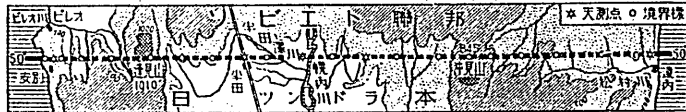
國境標

◆國境線は幅十
米の林道や溝渠
により、その間
に境界標が設け
られてある。

本地方は、樺太島の南部と一二の屬島を含む地域であ
る。東はオホーツク海に臨み、西は間宮海峡でロシア領

シベリヤに、南は宗谷海峡で北海道に相對し、
北は北緯五十度の緯線を以て、ロシア領樺太
に接してゐる。

二 地 形



日・露國境附近圖

沿革 嘗て樺太全島は我が領土であつた。然るに明治八年に至
つて、ロシアとの間に樺太と千島の交換が行はれ、次いで明治三十七八
年戦役の結果南半のみは再び我が領土に復したのである。

第一章 樺太地方

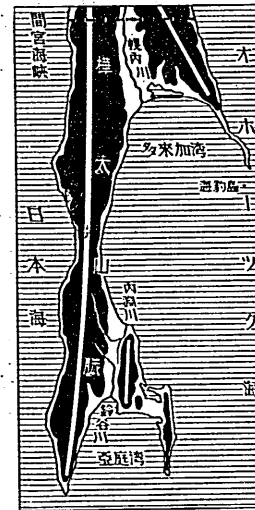
面積 三六、〇九〇平方
人口 三三、九八
人口密度 九人
一平方

第一編 地 方 誌

◆昔は内地を縦
内八道八十五ヶ
今でもこれ等の
名稱が鐵道名・
物産名などに用
ひられることが
多く、特に國史
を學ぶ上には非
必要である。

鐵 道 國 別

鐵 内	山城大和河内和泉攝津。
東海道	伊賀伊勢志摩尾張三河遠江駿河甲斐伊豆相模武藏 安房上總下總常陸。
東山道	近江美濃飛騨信濃上野下野磐城岩代陸前陸中陸奥 羽前羽後。
北陸道	若狹越前加賀能登越中越後佐渡。
山陽道	播磨美作備前備中備後安藝周防長門。
山陰道	丹波丹後但馬因幡伯耆出雲石見隱岐。
南海道	紀伊淡路阿波讃岐伊豫土佐。
西海道	筑前筑後豊前豊後肥前肥後日向大隅薩摩豊後對馬 琉球。
北海道	渡島後志石狩天鹽北見釧路根室千島。



地形図

樺太の山地
何れも低山性の
山地で、真鍮・久
春内、の地、狭部
の如きは僅かに
海拔八十米の高
度をも有するに過
ぎない。

東西南部の山地は、南北に縦走して、その間に中央低地帯を挟む。

山地

西部山地は、本島の主軸をなす

樺太山脈がロシア領より南下して、西能登呂岬に終る地方である。東部山地は

多来加灣によつて南

北に分れる。即ち、北部では東北山脈が北知床半

島に及び、海豹島にまで延びてゐる。南部では、鈴

谷山脈と中知床山脈とが雁行して、其の間に瀉湖

(湖等)の多い低地を挟んでゐる。

平地

中央低地帯の北部、即ち幌内川流域の平

野は、所謂ツンドラ(凍土帯)をなし、沿岸に本島第一の

多来加湖(瀉湖)がある。

南部の鈴谷川内淵川二流域に鈴谷平野があつ



ツンドラ

て、本島の主要な地域となつてゐる。

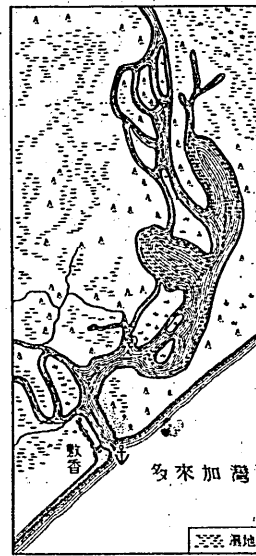
「ツンドラ」凍土帯ともいひ、藓

苔類や地衣類のみでおほはれて

泥炭地となつたもので、冬は地下

深く凍結するが、夏は表面が解けて

湿地となる。



幌内川口の湿地

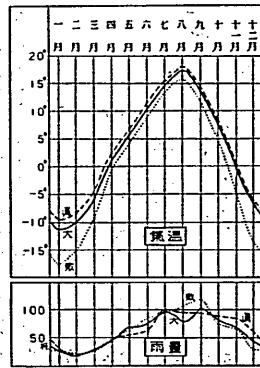
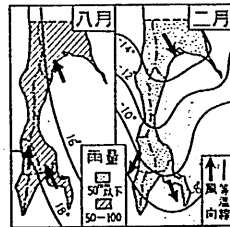
海岸

海岸線は一般に單調で、東に多来加灣南に亞庭灣がある外には變化に乏しく、良港が少ない。兩海岸には段丘がよく發達して

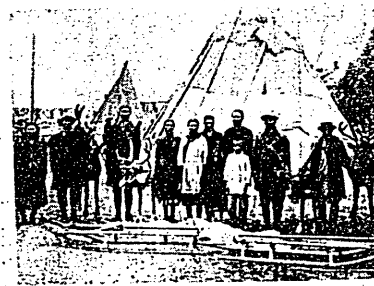
ゐる。

三 氣 候

本地方は高緯度に位するのと、沿岸を洗ふ寒流(樺太海流、リマン海流)とによつて、一年を通じて気温は低く雨量も少なく、冬は長くて夏は短かい。



気象図



ギリヤークとその家屋

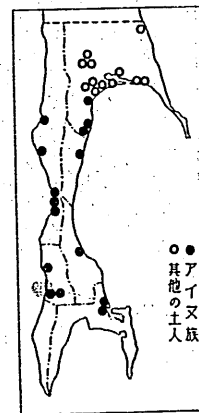
支廳及び所在地
大泊(大泊町)
本斗(本斗町)
眞岡(眞岡町)
豊原(豊原町)

營んでゐる。

政治

本地方は朝鮮臺灣と共に我が國の主なる外地である。

樺

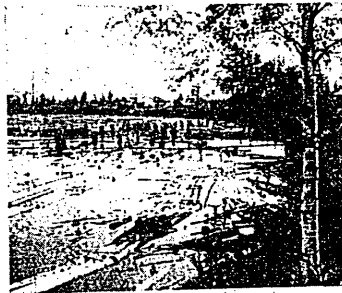


土人部落の分布

殊に冬季近海には流水群が漂ひ、海岸は凍結する。たゞ西南岸のみは暖流(海流)の影響をうけて、眞岡本斗の如き不凍港がある。

四 住民・政治

住民 人口は我が國最少の密度であつて、住民の大部分は内地からの移住者で主として水産業農業林業に従事してゐる。漁季(夏)には奥羽北陸地方からの出稼人が激増するために、海岸の聚落は急激な賑やかさを呈する。土人としてのアイヌ・ギリヤーク(デング)・オロツコの三族はその數僅か二千人に過ぎない。アイヌは南部に住み、漁獵を主とし、他の二族は幌内平野で漁獵及び馴鹿の放牧を營んでゐる。



木村集った河口取知

元泊(元泊町)
泊居(泊居町)
敷香(敷香町)

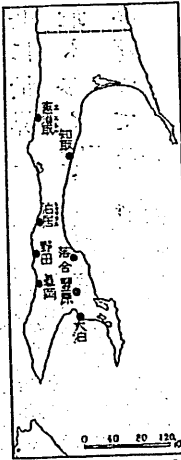
太廳は豊原にあつて全島を七支廳に分けて治めてゐる。

五 産業

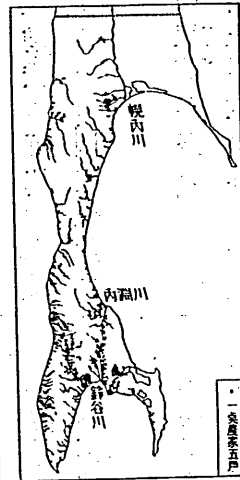
本島の主な産業は林業と水産業と、之に伴ふ工業とである。
農業 冬の季節が長く、且つ夏も氣溫が餘り高まらないので、農業は十分に發達してゐない。主な農作物は、燕麥・豆類・馬鈴薯等の寒地性のもの、で、鈴谷平野と南西部の海岸地方とが主産地である。

林業

蝦夷松・樺・落葉松・白楊等の天然林が全土の約八割を占め、パルプの原料として盛に伐採され、又用材として内地へも移出さ

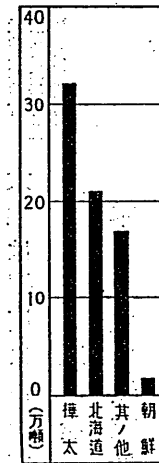


パルプ工業分布



農業部落分布

◆海豹島は米領
プリビロフ諸島
と共北太平洋
に於ける鯨脂
の三大繁殖地
である。



バルブの産額

れる。随つてバルブ製紙工業による新興の都邑が多い。

水産業 近海は北海道の近海と共に世界に名高い漁場である。鯨は其の産額最も多く、鱈、鮭、蟹、昆布等の寒海性の水産に富み、随つてその水産製造物も多い。

又北知床半島に近い海豹島は鯨脂の群棲地として知られ、その繁殖を保護するため、国際條約によつて濫獲を禁じられてゐる。

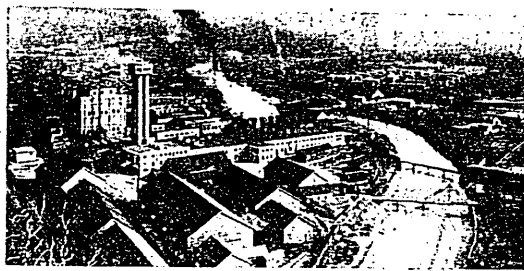


鯨脂の処理

鑛業 樺太山脈には石炭、石油の埋藏が多い。石炭は近時漸く採掘が進み、川上炭坑の外、大平(附近)及び知取炭坑が名高くなつて來た。

商工業 工業は水産業、林業に伴つて發達してゐる。中でもバルブ洋紙の製造工業は

◆樺太は漸次廢れて行くが、今なほ西海岸の北知床・中知床半島の邊地に残つてゐる。



製紙工場の居泊

主な都邑に行はれ、其の産額も全國第一位を占め、又鮭、鱈、蟹等の罐詰工業は漁季沿岸各地に行はれる。

商業は内地との間に紙木材、バルブ水産物等を移出し、米その他の食料品等を多く移入する。大泊、真岡は水産物の積出港である。

六 交 通

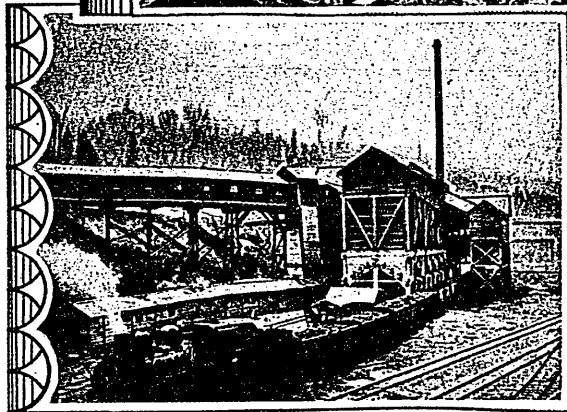
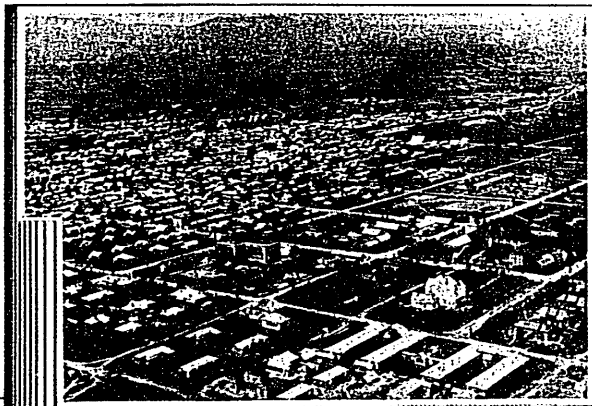
陸上交通 陸路の交通はなほ不便な所が多く、驛遞の設さへある地方もある。冬季には大馬、馴鹿の橇が利用されてゐる。鐵道は樺太廳の經營する鐵道線が主なるもので、

それは大泊、榮濱間の東海岸線と、本斗、泊居間の西海岸線及びこの兩線

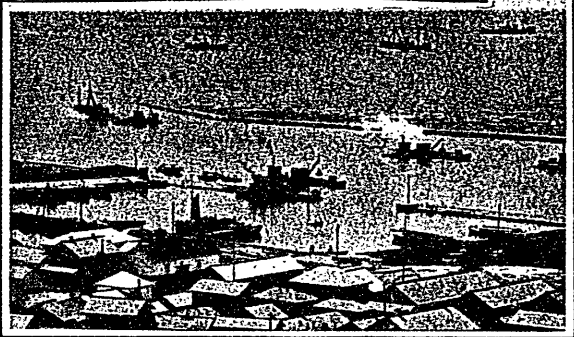


雪中を行く大橇

空中より見た豊原市街



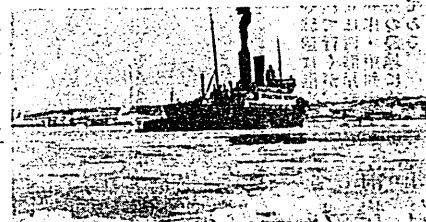
川上炭山の採炭輸出場



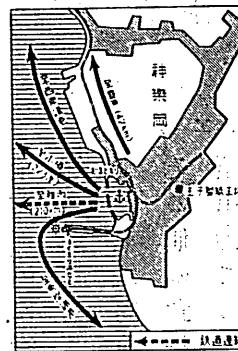
本斗港

地方太樺

海上交通は東
西両海岸共に
が主たる起點
となつてゐる
都邑人口
豊原 三三三
大泊 三三三
蕨 三三三
知取 三三三
落合 三三三
眞岡 三三三



港の大結氷



大泊港
七處誌
都邑は鈴谷平野と沿
岸地方とに多く發達し

を結ぶ豊眞線（豊原）とである。別に東海岸線に接続して北、敦
香に至らんとする樺太鐵道がある。而して、本地方と北海道
との鐵道連絡航路は大泊稚内間に結ばれてゐる。
海上交通 この地方は夏になると汽船
の往來がはげしいが、冬の海上はまことに
淋しい。それは冬になると流水や凍結に
禍され、また水産物も少いからである。
この地方の沿岸や他地方への航路の中
心は開港場の太泊と眞岡とである。眞岡
は南方の本斗と共に不
凍港である。



眞岡港

樺太地方

樺太神社
豊原にあつて、
大國魂命・大己
貴命・少彦名
命を祀る官幣大
社である。

◇製紙・バルブ
工場は總べて主
子製紙株式會社
に属する。豊原
大泊・眞岡には
製紙の大工場が
ある。

◇釧路は北海道
の旭川と共に本
邦の最寒地で明
治四十三年一月
には零下約四十
度に降つた。



海豹島の鰹鮓敷とロラベン島の群



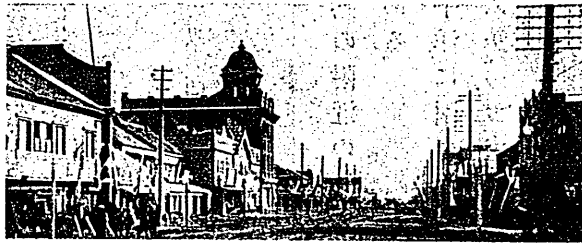
樺太の木材搬出



北樺太の油田

てある。豊原は鈴谷平野の中心で、街路井然たる新市街をなし、本地方の政治文化の中心地である。亞庭灣頭の大泊(開港場)はこの地方の門戸をなし、水産物及び木材の集散地として發達してゐる。

眞岡(開港場)は西海岸に於ける漁業の中心をなし、水産物の集散地であるが、町の生命は製紙工業にある。その南の本斗は北海道(稚内)との一連絡港として知られてゐる。また眞岡の北方にある野田・泊居・恵須取及び東海岸の落合・知取等は何れも製紙・バルブ工業を以て新興した工業町である。釧路は多來加灣に於ける漁業の一中心であり、また木材の集散地である。この地は本邦の最寒地と稱せられる。



豊原市街

◇開拓使本廳舎
は札幌市にあつた。

◇鍋島正直は第一回の開拓使官である。



當時の北海道開拓使本廳舎と鍋島直正

第二章 北海道地方

人口 八八七五五五
面積 三〇七五五五
人口密度 二・九

沿革 本島は昔蝦夷地と呼ばれたところである。徳川時代には半島部に松前氏が封ぜられてゐた。明治二年に北海道開拓使が置かれてから始めて開拓事業が行はれ當初は屯田兵による開拓であつた。

明治二十一年北海道廳が置かれて以來開拓事業は急激に進み以て今日に於ける帝國の一大寶庫となつた。

一 地域・位置

本地方は北海道本島と、其の附近の島々及び千島列島を含む地域である。

オホーツク海日本海太平洋に圍まれ、津輕海峡を以て本州に、千島海峡によつてロシア領カムチャツカ半島に、宗谷海峡によつて、北海道にそれと相對してゐる。

◇旭岳(大雪山)は本島の最高峯で海拔三〇七六米、旭川市の東方に聳え火山帯をつつてゐる。

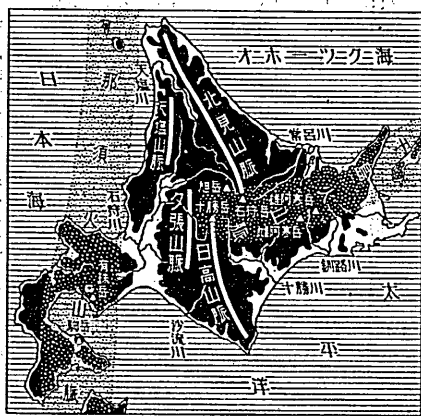


旭 岳 (大 雪 山)

二 地 形

本島はほぼ菱形の軀幹部とその南西に延びる半島部とから成る。

山地 蝦夷山系(北見山脈)は、北は宗谷岬から南は襟裳岬まで縦走し、石狩岳を主峰とする。その西側にこれと並走して低い天鹽夕張の兩山脈がある。千島火山脈はカムチャツカ半島より來り、千島の火山列島をつくり、雄阿寒岳雌阿寒岳を噴出し、更に西に延びて蝦夷山系と丁字形に會し、旭岳(大雪山)十勝岳等の火山を起して本島の最高部をつくる。那須火山脈は本州より北走し、半島部に於て駒岳・羊蹄山・有珠岳・樽前



地 形 図



洞爺湖

岳等の諸火山を噴起してゐる。大沼洞爺湖支笏湖等の火山
湖や登別定山溪の温泉はこの火山脈に属する。

平地 本島の主なる平野は石狩天鹽十勝釧路根室北見の
諸平野である。之等の諸平野は中央の高地より派出する諸
川に灌漑されてゐる。

石狩平野はその南方の膽振低地に續き、本島の軀幹部と半
島部とを連ねる低地帯で、石狩川が上流の上川盆地と共に之
を灌漑してゐる。

北海道の國立公
園 大雪山及び阿寒
岳附近は國立公
園である。
阿寒火山群内に
屈斜路・摩周等
の湖沼がある。

天鹽川は北西に流れて、天鹽
平野を開き、太平洋方面には十
勝川釧路川西別川などが各十
勝釧路根室等の諸平野を流れ
てゐる。オホーツク海沿岸の



石狩平野の地形図

狭長な北見平野には多くの臺地が連なり、南西の半島部には低い山

神居古潭
石狩川が上川盆
地より石狩平野
に出る間にある。



神居古潭の峽流

付崎は砂嘴である。

三 氣 候

本地方は樺太に似て、一般に気温は寒冷であり、雨量も亦少い。然
し、渡島半島の南部は本州北部の氣候によく似てゐる。

本島は東西兩海岸地方及び内陸地方によつて著しい特色がある。

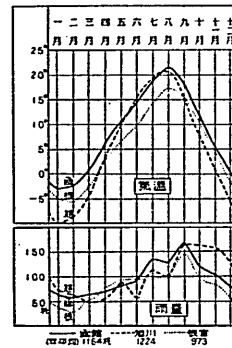


野付崎の砂嘴

地の間に、小低地が開かれてゐる。
海岸 半島部の北部には内浦灣小樽灣積丹半島等の出
入がある。その南方は渡島半島である。軀幹部の東には

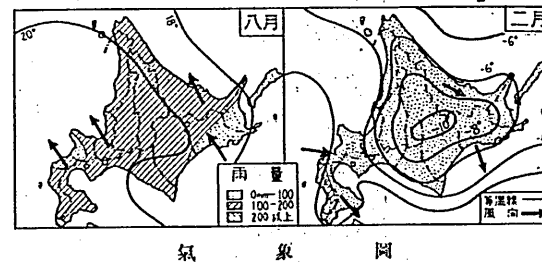
知床花咲の二半島が突出し、國後島
に相對してゐる。其の他は一般に
大きな弧狀を描く單調な海岸で、處
處に臺地及び段丘が發達してゐる。
なほオホーツク海沿岸には猿間湖
等の潟湖があり、根室海峽に臨む野

◆旭川は數香と共に我が國の最寒地と稱せられる。明治三五年二月には零下四十二度に降つた。



即ち、東海岸地方は寒流（千島海流、樺太海流）の影響をうけて氣温が
 圖 低く、雨量も少い。特に、冬は流水が
 象 あつて沿岸は結氷し、夏は海霧が多
 氣 い。西海岸地方は暖流（對馬）の影響
 をうけて東海岸地方よりも一般に

圖



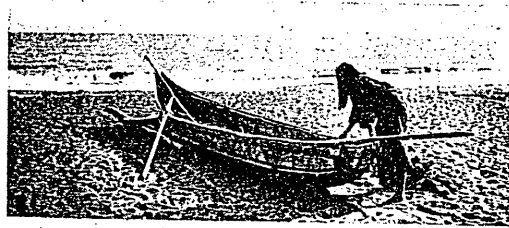
氣溫が高く、雨量も多く、特に冬には降雪が多い。
上川盆地及び十勝平野等の内陸地方は大陸的
氣候の性質を帶び、冬は寒さが厳しいが、夏は日照
時間も長く氣溫も高くなるので農耕が行はれ、水
稻の栽培さへ行れる。

四 住 民 政 治

住民の大部は本州殊に奥羽北陸よりの移住者である。その密度は本州の約七分の一で、中央山地以西に密である。北東部には、まだ開拓の餘地が多いので、道廳には拓殖部を置いて開

	安曇郡	渡島郡	後志	釧路	空知	日高	留萌	宗谷	十勝	釧路	根室	網走
	(所在地)	南館市	檜山(町)	江津町	札幌市	千代見	旭川市	稚内町	帯廣市	釧路市	根室町	網走町

○北海帝國大學
 △北海道工業及理科の學部並びに農學豫科、農學實科、土木專門部等に於てある。

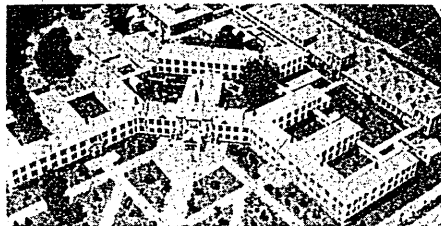


漁に出るアイヌ人

發に力め、家族の移住を獎勵してゐる。原住民のアイヌ族は、僅かに一萬五千人に過ぎないので、之に保護を加へてゐるが、増加を見ない。沙流川畔の平取、室蘭本線に沿ふ白老及び旭川市内の近文にはアイヌ部落がある。



行政上、札幌に北海道廳を置いて全道を統べ、その下に七市十四支廳がある。軍事上、旭川には第七師團司令部が置かれ、津輕海峡には要塞地帯が設けられてゐる。また司法上、札幌には控訴院がある。



北海道帝國大學

教育 高等教育は餘り進歩してゐない。札幌に北海道帝國大學、小樽に高等商業學校、函館に高等水産學校があるに過ぎない。

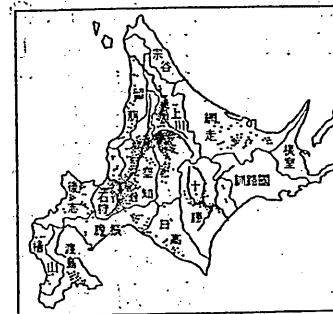


トラクターによる大農法

◆北見の薄荷は、我が國の過半を占め、現在では薄荷・油の原料として多く阪神地方へ送られる。◆米はガスの影響によつて海岸約四軒の地帯は不作地となつてゐる。

平野には薄荷が多く産せられる。其の他芋果(札幌・余市附近)除蟲菊(支路)玉葱(札幌附近)玉蜀黍(西部)を産する。

米作は、夏の高温に恵まれて殆ど本島に行はれるが殊に、石狩平野、上川盆地に盛である。



米の分布

五 産 業

本地方の産業は、政府の奨励と住民の努力として近年著しく進歩した。中でも農業水産業工業の發達は著しい。

農業 石狩上川十勝北見の諸平野は主なる農業地帯である。併し、十勝釧路根室北見天鹽の平野には未開墾地が多い。耕地が廣いので、農耕は一般に大農法によつて行はれてゐる。農作物は寒地性の特色を現はし、燕麥馬鈴薯は

全島の諸平野に産し、豆類亞麻甜菜は畑地の多い十勝平野に多く、北見

なほ、近來水田の増加によつて盛になつた。

牧畜 一般に原野が廣く、牧草も豊富であるから牧畜が盛である。東部には馬の飼育が行はれ、新冠白糠はその中心として馬市が盛である。石狩平野には乳牛が多く飼はれてゐる。

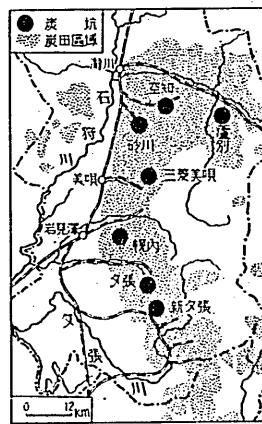
林業 森林の面積は、全島の約七割を占め、殊に蝦夷山系以東には、松、蝦夷松等の寒地性の天然林が繁茂し、製紙原料のバルブ、建築用材船



阿寒岳の天然林

船用材マツチ軸木(白松)鐵道枕木(楠材)等に多く伐り出されてゐる。

鑛業 石狩炭田は、北九州に次いで本邦主要の炭田で



石狩炭田



月寒の牧場

◆僻地には馬を交通機関とした
驛選の制度が今
尙残つてゐる。

◆我が國の罐詰
製品の中約七割
が水産物を原料
とするものであ
る。殊に鮭の罐
詰はその内の五
割を占めてゐる。

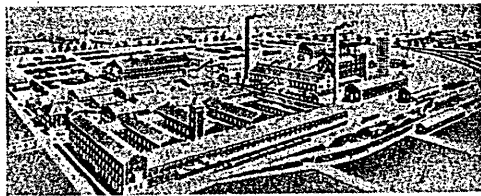


製麻令社の麻の乾燥場(札幌附近)

罐詰製造が沿岸各地に盛である。
商業 産業の盛なのにつれて
商業も發達してゐる。内國取引
に於ては、農林水産物及び工産物
等の移出が多く、外國取引に於て
は、主に水産物を輸出し、石油鐵等
を輸入する。函館・小樽・室蘭・釧路
根室は開港場である。

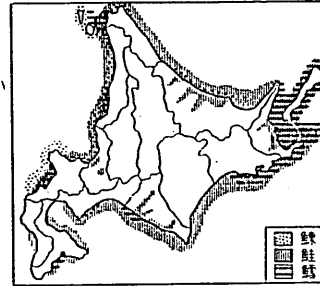
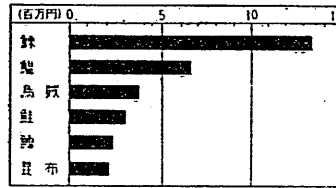
六 交 通

本地方の開発は、交通機關の發



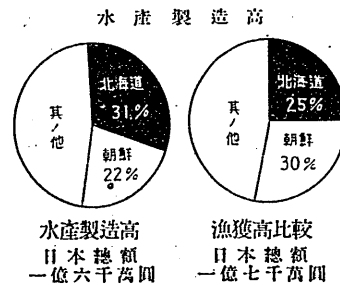
苫小牧の製紙工場

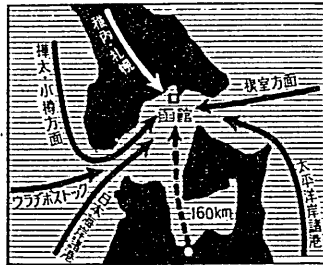
達によるものが多い。
陸上交通 函館本線・宗谷本線・根室本線は、北又は東に延びて室蘭
本線と共に本島の主要な鐵道幹線をなしてゐる。又、網走本線・釧路
線・石北線・名寄本線・北見線・留萌本線等は、これらの幹線から分岐して、



鮭・鱈・鰯の漁獲分布

ある。その豊富な石炭は、夕張・美唄・砂川・新夕張等の諸炭坑から採掘される。其の他金・硫黄などの産もある。
水産業 近海は樺太と共に世界有数の漁場で、漁獲物には西海岸の鰯を始め、東海岸の鮭・鱈・鰻・昆布等の寒海性のものを主とし、鰯・鰺・鰱・鰒・鰻等の多量に漁獲される。函館・小樽・根室等は本島漁業の大中心地で、樺太・沿海州・北千島への漁業の根據地でもある。
工業 農林水産の原料品が豊富であり、石炭・水力の供給が容易なので、近代工業が興つてゐる。即ち、木材・バルブを原料とする洋紙製造は、苫小牧・江別・麦酒醸造・製粉・製麻は札幌・札幌附近に盛である。其の他、酒精（旭川）、鐵鋼（室蘭）、セメント・人造肥料（函館）等の製造工業も勃興してきた。又水産工業としては、鮭・鱈・鰻・鰺等の





函館港

◆農家は土地を
畝に耕し、略々
等距離に散在し
てゐる。旭川附
近の屯田兵村は
其の一例である。

半島部

市には、街區井然たる計畫の下に建設されたものが多い。



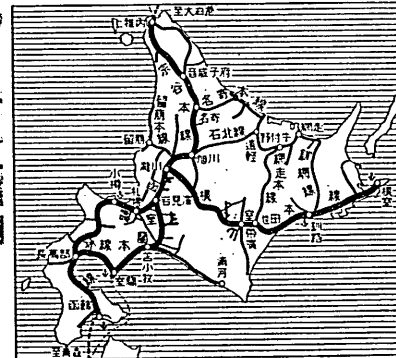
旭川附近の屯田兵村

づ海岸に漁村・漁港が開け、追々と内陸の地方に農村及び工業都市が興つたものである。農村には大規模な直交式の道路が通じ、聚落がこれに沿うて散在し、主要都

本地方第一の大都市たる函館市(開港場)は、天然の良港で本地方の門戸に當り、鐵道連絡航路を青森に通じ、又北洋漁業の根據地でもあり、海産物の集散が多い。市内の五稜郭は明治維新の史蹟地として知られてゐる。南西の福山は、松前氏の舊城下町として最も早く開けた地である。江差・壽都・岩内等は漁業地であるが往年の活氣を失つてゐる。羊蹄山麓の倶知安には、農産物の集散が行はれ、北方の余市は、苹果産の中心であり、漁業の一



結氷の根室港



鐵道圖

各地の開拓に重要な任務を帯びるものである。鐵道連絡航路は、北は稚内より樺太の大泊へ、南は函館より本州の青森へ通じてゐる。

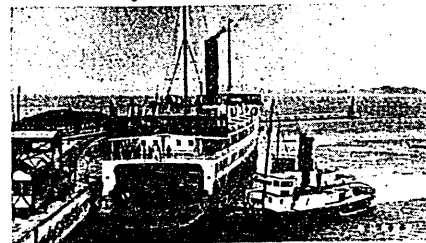
海上交通

開拓の初期には、海運の力によつたものであるが、一般に良港が少い上に、冬は風波が荒く吹雪も加はり、殊に千島沿岸やオホーツク海岸の如きは、流水や結氷によつて、交通を妨げられ、また夏は海霧の襲來で航海を困難ならしめてゐる。

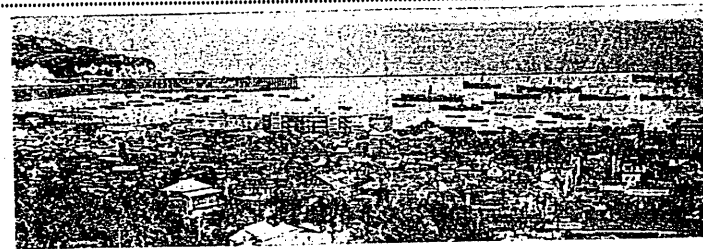
函館小樽は、二大海港として本州樺太及び沿岸諸港に定期航路を通じてゐる。

七處誌

聚落は開發の進むに随つて發達し、先



函館港と鐵道連絡船



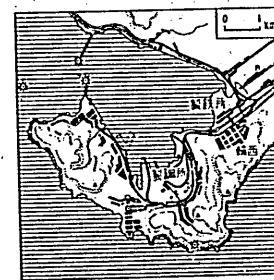
小樽市街

中心でもある。小樽市(開港場)は後背地に石狩平野を控へて、農産物及び石炭の積出しが多く、又札幌の外港として内外の取引が盛である。また北洋漁業の根據地として水産物の集散も多い。内浦灣口に臨む室蘭市(開港場)には、製鐵製鋼が行はれてゐる。



小樽港

石狩平野 札幌市は豊平川の扇狀地に發達した都市である。井然たる街路をなし、本地方政治文化の中心で、北海道廳の行政機關があり、麥酒釀造製麻製粉の工業が興つてゐる。附近の眞駒内、月寒の牧場は有名である。石狩河岸の江別は製紙業地として近年著しい發展をなし、東方の岩見澤は交通の要地である。膽振海岸の苫小牧は、製紙工業で發



室蘭市街圖

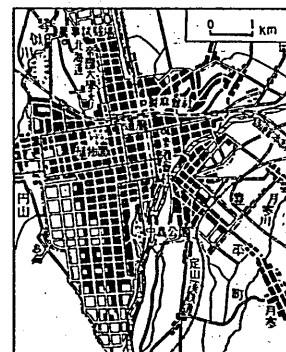
札幌神社
札幌市外にあつて、大國魂命・大日貴命・少彥名命を祀る官幣大社である。



札幌市街

達した町である。

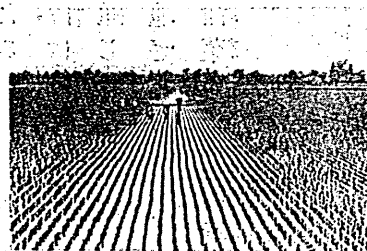
内陸盆地 名寄・上川・富良野の三盆地は南北に連つて一の通谷をつくり、そこに旭川市が農業交通軍事(第七師團司令部)の中心として發達してゐる。なほ、市には精米、酒精の工業が興つてゐる。



札幌市街

蝦夷山地

夕張山脈の西側には石狩炭田があり、夕張、美唄等の炭坑町が發達してゐる。日高山脈の西斜面には牧場が開け、新・冠は馬市で名高い。平取にはアイヌの大部落がある。



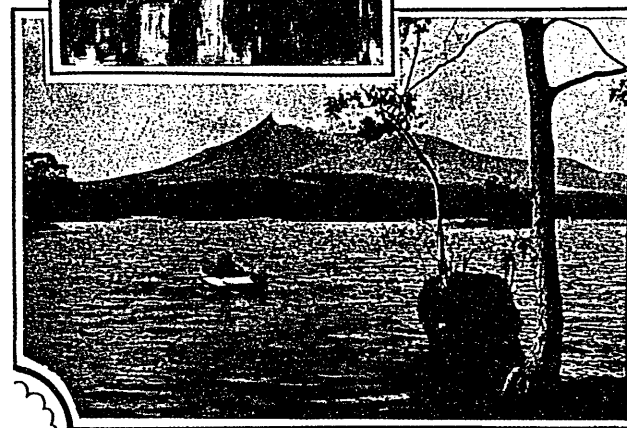
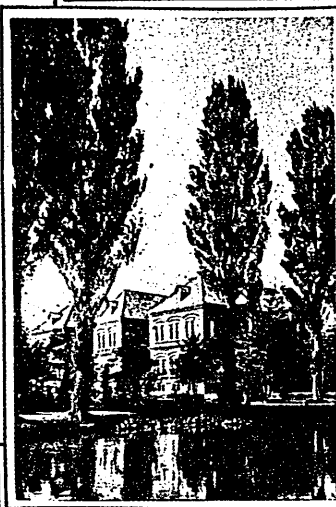
上川盆地の水田耕作



夕張炭坑



狩勝峠の展望



大沼と駒岳

北海道地方

都市人口
 函館市 二千人
 小樽市 一千人
 札幌市 三千人
 旭川市 一千人
 室蘭市 一千人
 釧路市 一千人
 帯広市 一千人



大樂毛の馬市

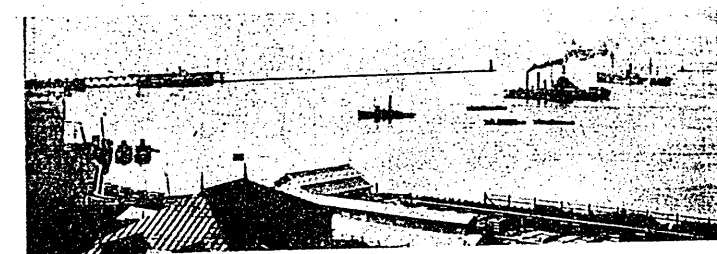
北方の天鹽海岸には、漁業による町が多く、留萌はその主なるものである。稚内は樺太へ渡る要津で、大泊へは鐵道連絡航路を通じてゐる。

十勝釧路根室平野 廣い臺地である十勝平野には、牧場畑地が多く、豆類甜菜の栽培が盛である。この平野の中心、帯広市は、農産物の集散が多く、また製糖業が行はれてゐる。

釧路平野も臺地が廣く、牧畜が行はれ、大樂毛の馬市、白糠の牧場は有名である。沿岸一帯は昆布、鮭等の漁獲物が多く、釧路、厚岸



帯広にある甜菜製糖工場



釧路港

◆宇志知南島は
ウシシルナン
新知島と計吐夷
シシルケトイ
島との間にある
小島で、その暮
田灣は舊噴火口
に海水が浸入し
たものである。

◆花咲半島の落
石崎には北太平^{オソ}
洋航路の汽船に
對する無電送信
所がある。

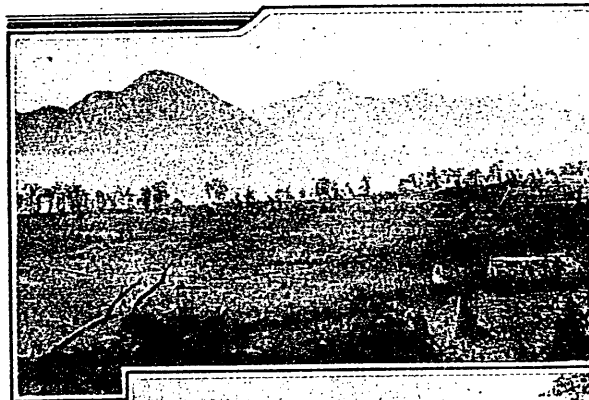
根室・などは漁港である。釧路市(開港場)は水産物木材の集散地である。根室(開港場)は花咲半島の北岸にあつて水産物を集散するが、冬季、結氷の際は南岸の花咲港が代用される。

北見地方 河川の流域や海岸の低地には、薄荷、亞麻、馬鈴薯が栽培され、野付牛がその中心地である。オホーツク海沿岸には漁港として發達した小都邑が多く、網走はその主なものである。

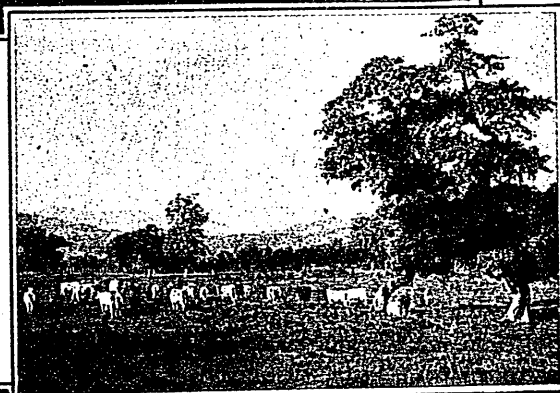
千島列島

て發達した小都邑が多く、網走はその主なものである。

島 千島列島は國後擇捉の二大島を始め、三十有餘の高峻な火山島の連りである。島内は土地が瘠せ、氣溫が低いために農耕には適しないが、處々に狐の飼養が行はれてゐる。近海は鮭、鱒、蟹等の漁獲が多い。冬は結氷、流水のため、航海漁業も困難であるが、夏季には漁業者が來集するたに、活氣を呈する。擇捉島の紗那は、列島中の主邑である。本列島はカムチャツカ及びアリューシャン列島に對して國際的にも重要な位置を占めてゐる。



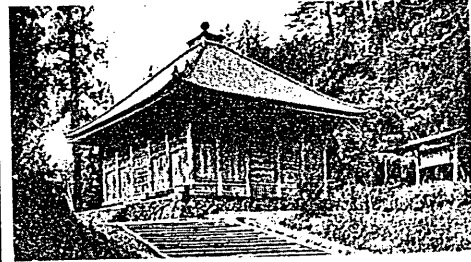
洞爺湖と有珠岳



眞駒内
牛の牧場



西別川を遡る「さけ」の群



平泉の中尊寺（金色堂）

第三章 奥羽地方

〔沿革〕 古は蝦夷の勢力があつた地方である。後三年役後、藤原氏が中央の文化をこゝにうつし、榮華を極めたことは今に遺された平泉の中尊寺金色堂によつても偲ばれる。其の後は、この地方が中央の文化に遠ざかり、その上、比較的恵まれない氣候のために内地の他地方よりも開發が遅れたのである。

一 地域・位置

本地方は、青森・秋田・山形・福島・宮城・岩手の六縣の占める地域で、南は關東地方・中部地方、東は太平洋、西は日本海、北は津輕海峡を距てて北海道に對してゐる。

二 地形

南北に走る三列の山地があり、その間に二條の低地が挟まれてゐる。

〔山地〕 中央には、本地方の分水嶺山地をなす奥羽山

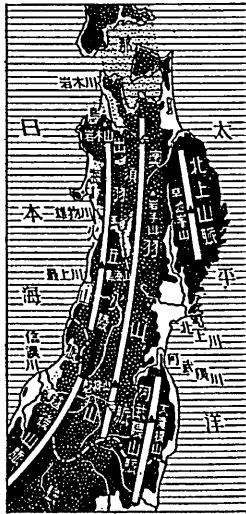
〔府縣名〕 〔所在地〕 〔管轄國名〕
青森縣（青森市） 陸奥大部
岩手縣（盛岡市） 陸奥一部 陸前一部
宮城縣（仙台市） 磐城一部 陸前大部
福島縣（福島市） 磐城一部 陸前一部
秋田縣（秋田市） 羽後大部 陸中一部
山形縣（山形市） 羽前一部 羽後一部

◇奥羽山脈は比較的低い山脈であるが、那須火山脈を伴つてゐるため、地形は高峻で、大分水界をなしてゐる。
◇十和田湖附近は國立公園に指定されてゐる。



猪苗代湖と磐梯山

脈が那須火山脈を伴つて南北に走つてゐる。那須火山脈には磐梯・吾妻・藏王・岩手・八甲田・恐等諸火山が噴起し、又、猪苗代・田澤・十和田などの火山と關係の深い湖沼が多く、温泉も處々に湧出てゐる。



地形圖

〔主なる湖沼と温泉〕 猪苗代湖はその西にある會津盆地と比べて三百米の高處にあるから發電に利用され、又、郡山地方へ通ずる疏水運河によつて灌溉にも用ひられてゐる。十和田田澤の兩湖は勝景の湖沼である。那須火山脈の名高い温泉は、東山・飯坂・鬼首・淺草・上山などである。

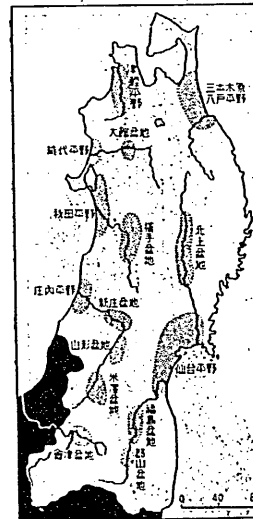
太平洋斜面の山地は、仙臺灣によつて南北に分たれ、北部が北上山脈、南部が阿武隈山脈となる。何れも數百米の高原狀の山地で、早池峯・山大瀧根山などがその主峰である。日本海斜面には、出羽丘陵が



鳥海山の遠望

断続し、南部の越後山脈に続く。なほ出羽丘陵に沿うてゐる鳥海火山脈は岩木山、鳥海山、月山等の火山を噴起してゐる。

平地 東部の山地と分水嶺山地との間の低地には、馬淵、北上、阿武隈などの諸川によつて南北に縦谷がつくられてゐる。北上川の中流域は北上盆地をなし、阿武隈川の中流には福島郡山の二盆地が河谷に沿うてつくられ、また北上、阿武隈兩川の下流域は本地方最大の仙臺平野である。阿武隈山地の東側には、細長い海岸平野があるが、北上山地の東側は直ちに海に迫つてゐるので平野に乏しい。

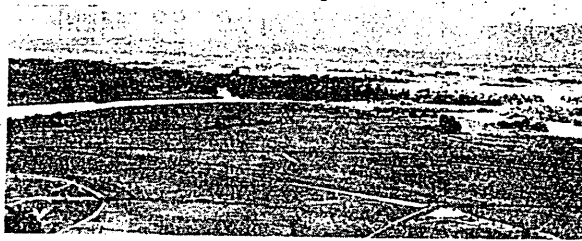


奥羽地方の主なる平野盆地



北上川河口

◆リヤス式海岸とは鋸歯状の小さな出入に富む海岸をいふ。



横手盆地を流れる雄物川(中央の白線)

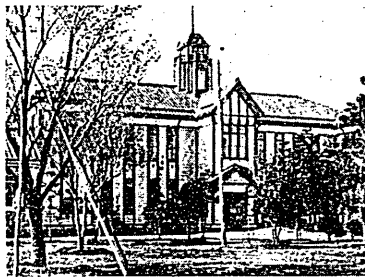
分水嶺山地と出羽丘陵との間には大館、横手、新庄、山形、米澤、會津などの盆地が縦に連なり、米代川、雄物川、最上川、阿賀川などが之等の水を集めて出羽丘陵を横ぎり、下流地方に能代、秋田、庄内などの平野を開いてゐる。北部は奥羽山脈の東に三本木、原八戸の平野があつて、小河原沼(潟湖)が横たはり、西に津軽平野があつて、十三瀧に注ぐ岩木川の流がある。

海岸 太平洋岸には、仙臺湾、牡鹿半島の出入があり、また北上山地の東縁は鋸歯状のリヤス式海岸で、漁港として利用されてゐる。仙臺湾以南と八戸以北の海岸とは、単調、低平な砂濱である。



リヤス式海岸

郎潟の出入を除けば、概ね単調な砂濱である。北部には下北、津軽の二半島が突出して陸奥湾を抱き、北海道との間に国防上重要な津軽



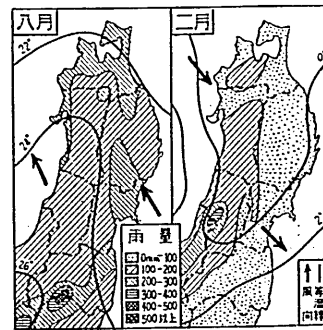
水澤緯度観測所

人口密度
(一平方キロに付)
宮城 二五〇
山形 二二五
福島 二〇〇
青森 一五〇
秋田 一〇〇
岩手 八〇
岩手縣の人口は内地に於ては北海道に次ぐ最も小密度を示してゐる。

ある。即ち、西斜面は東斜面に比して雨量が多く、特に冬季は降雪が多い。

四 住民・政治

本地方は面積の廣い割合に人口が少く、随つて密度が疎である。殊に秋田岩手の二縣は一方糶百人に満たない。比較的人口密度の大きな處は河谷と盆地及び海岸

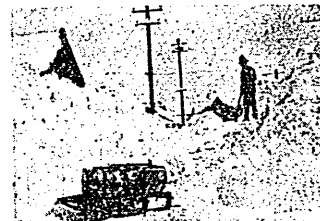


氣象圖

低地で、主な都邑もそこに發達してゐる。本地方は行政上、之を六縣に分けてゐる。軍事上、仙臺(第一)と弘前(第八)には、それ〴〵師團司令部があり、大湊には海軍要港部が置かれ、その附近と下北半島の先端とは要塞地帯となつてゐる。又、司法上、仙臺には控訴院がある。

教育

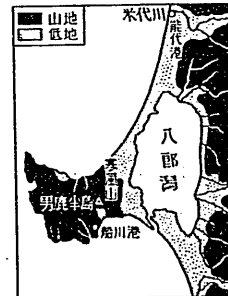
仙臺に東北帝國大學がある外、盛岡に高等農林高等醫學專門



新庄町の深雪

〇山形縣の諸盆地は、我が國有数の深雪地である。

〇男鹿半島の西端は、火山岩が海波の侵蝕をうけて奇景を現してゐる。



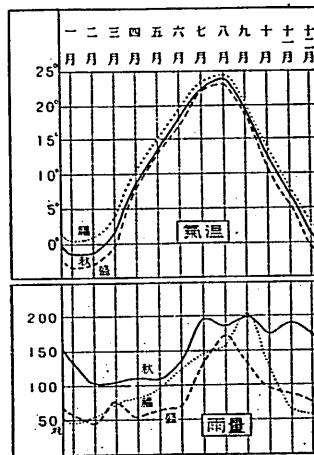
男鹿半島と八郎潟

海峽がある。

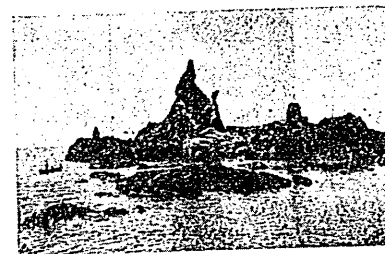
男鹿半島はもと島であつたが南北から二條の砂嘴が發達して陸続きとなつたもので、地形上陸繋島と呼んでゐる。八郎潟はその砂嘴に圍まれて潟湖となつたものである。

三 氣候

本地方は本州中、氣溫が最も低い。南北に長い地域であるから南部と北部と

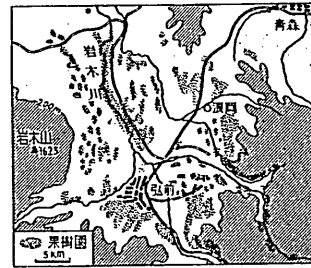


氣象圖



男鹿半島の西端

東北帝國大學
理・工・醫・法
文の四學部から
成り、金屬材料
研究所が附屬せ
られてゐる。



弘前市と果樹園

五 産 業

秋田に鎮山専門米澤仙臺に高等工業、福島に高等商業、仙臺弘前山形に高等學校、仙臺に東北學院がある。別に水澤には緯度観測所がある。

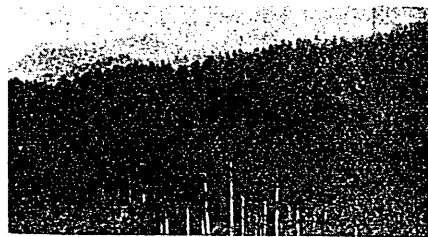
この地方第一の産業は農業で、これに次ぐものは、林業、牧畜業、鑛業である。

農業は、主なる産業ではあるが、面積の割合に耕地が少いのと、氣候に恵まれないのとでその産額は少い。

米は各平野盆地から産するが、主なる産地は仙臺庄内秋田の諸平野である。大麥馬鈴薯大豆は、畑地の多い東部に多く、煙草桑は南部に産する。其の他、青森縣の苹果と、山形縣の櫻桃は名高い。また福島山形の兩盆地には養蠶業が盛である。



櫻 桃 の 農 園

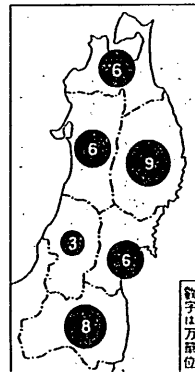


秋 田 杉 の 美 林

◇馬の飼育が盛なのは土地が之に適してゐるのみにならず、舊藩時代からの馬政によるものが多く、下北・津輕の二半島は林業地として知られてゐる。

牧 畜

太平洋斜面は雨量が少いので、處に良好の放牧地が多く、一般に馬の飼育が盛で、その頭数は全國第一位を占める。三春(福島)鍛冶屋澤(岩手)山麓(岩手)三本木原(岩手)等には有名な牧場があり、盛岡・白河等には、馬市が開かれる。



馬 の 分 布



岩手山麓の小岩井農場

林 業

本地方には、一般に森林地が多い。

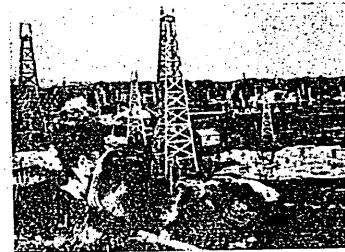
殊に、日本海斜面は比較的氣溫が高く、雨量も多いので、我が國有数の林業地となつてゐる。秋田縣(米代川・雄物川上流)の杉、津輕半島の羅漢柏は、木曾の檜と共に日本の三大美林とさへ稱せられる。能代港青森は木材の集散地である。

鑛 業

本地方には各種鑛物の産が多い。米代川と雄物川

万坪	0	5	10	15
秋田				
青森				
岩手				
山形				
福島				

内地の石油産額



豊川油田

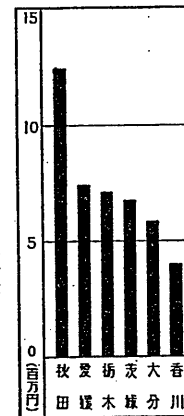
この流域には、銅銀を産する處が多く、中でも、小坂（本邦屈指の銅山）尾去澤荒川等の銅山は有名である。

北上山地では釜石附近を始め處々に鐵礦を産する。

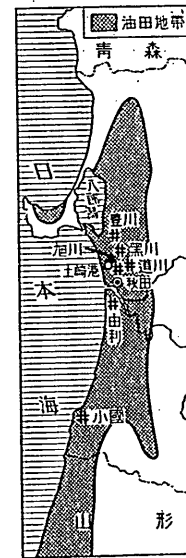
秋田縣の海岸地方にある豊川・黒川道

川・由利等の油田からは盛に採油せられ、その原油は輸送管によつて土崎港にある秋田製油所へ送られる。又、阿武隈山地の南東には、常磐炭田（平地）があつて、關東地方に互つてゐる。

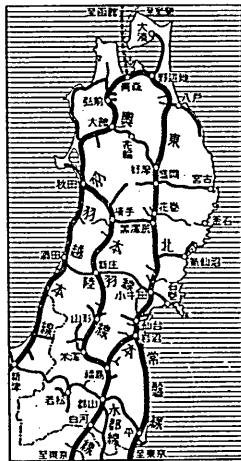
水産業 太平洋岸は漁港が多く、且つ近海には暖寒二流が交はるので、漁業が行はれ、鰹、鯉、鯨などの漁獲が多い。青森・八戸・鹽釜等は、それらの集散地として賑つてゐる。



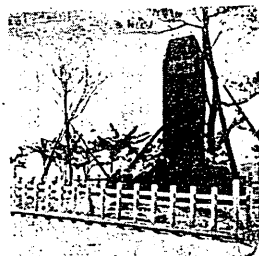
銅産額



秋田附近の油田



鐵道圖



勿來開址

陸上交通

本地方に於ける昔からの主要街道は、地形の關係から主に河谷及び海岸平野に沿うて南

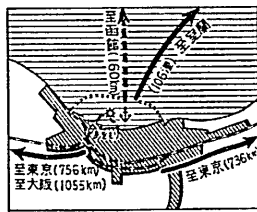
六 交通

◆米澤は藩侯の奨励によつて昔より絹織業が發達し、我が國に於ける人造絹絲の發祥地である。

◆近年小坂鐵山の鐵石の産額が減少したので、近くの花岡鐵山から採掘した銅鐵をも製鍊してゐる。

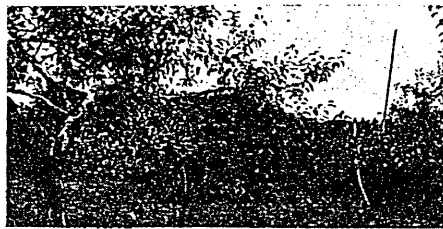
工業 從來から行はれてゐる家内工業の製品として、陶磁器（若松漆器（若松）鐵器（盛岡）等を産する。工場工業としては養蠶地帯の製絲・絹織物業が名高く、郡山・二本松は製絲地、川俣・米澤は絹織物の産地である。其の他、林業の盛な青森・秋田兩縣には、製材業（青森市）が行はれ、鑛山地方には、釜石の製鐵・小坂の銅製鍊及び土崎の製油工業等が盛に行はれてゐる。

商業 主として東京の商圏に屬してゐるが、仙臺・福島などの地方政治の中心が、又、商業の中心地となつてゐる。外國貿易には、青森・船川・釜石・鹽釜の四開港場があるが餘り振はない。



交通の要地青森

都市人口											
仙臺市	青森市	山形市	盛岡市	八戸市	秋田市	郡山市	米沢市	福島市	若松市	弘前市	石巻市
三〇八	三〇七	二〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七	一〇七



りんごの栽培

七 處 誌

がある。
津軽平野の中心弘前市(師八)は、津
軽米、苹果的集散地に當り、津軽塗、木
通細工の名産がある。
東部の平野には、三本木、七戸など



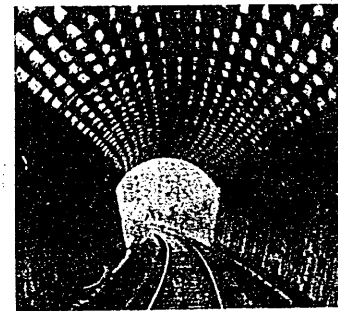
八戸市の漁港

◆青森鐵道連絡
船は貨車を積込
む装置になつて
おる



青森港と鐵道連絡船

北に通じ、勿来、白河、念珠等は南境の關所であつた。現在の東北奥羽常磐羽越等の諸鐵道本線も略、昔の街道に沿うて南北に通じてゐる。之等の幹線は、花輪、横黒、陸羽、磐越等の横斷線で連絡される。またこの地方と北海道とは鐵道連絡航路で、青森函館間を結んでゐる。
日本海方面は冬季、降雪が多いため、一般に陸上交通は不便である。そのため鐵道では處々に除雪トンネルや防雪柵を設け、ラッセル機關車を用ひて排雪を行つてゐる。
海上交通 太平洋岸のリヤス式海岸は、良港灣が多いので沿岸航路が發達して、陸上交通の不便を補つてゐる。然るに日本海岸は、良港が少く、且つ冬季、風波が荒いので、海運は餘り振はない。



除雪トンネル



釜石の製錬所

の如く、牧馬地の中心となつてゐる聚落が多い。馬淵川河口近くの八戸市は、漁港として將來有望である。大湊は陸奥灣の北東隅にある海軍の要港で、海軍航空隊もあつて、津軽海峡防備の要地となつてゐる。

岩手縣

一般に山地畑地が多く、北部では牧馬が盛で、岩手山の南麓には有名な小岩井農場がある。

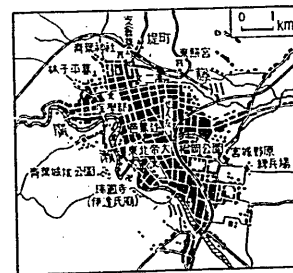
縣政治の中心盛岡市(舊下町)は、馬の取引が盛で、また南部鐵瓶の特産がある。その南には北上川に沿うて、花巻(温泉場、交通要地)。

黒澤尻(分岐点)永澤平泉(中尊寺)が南北に並び、一關は本縣南部の門戸である。

東海岸には、宮古釜石(開港場)大船渡などの港町が各灣頭に發達してゐる。

宮城縣

本縣は奥羽第一の文化



仙台市街

◆縣の北西部には奥首の間歇温泉がある。

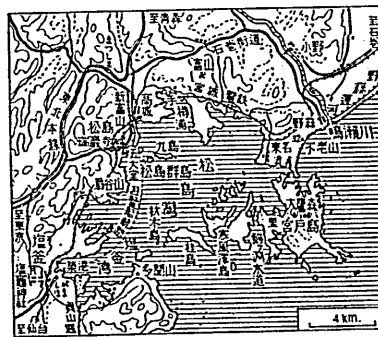
◆松島灣の多島は凝灰岩地が多く、の斷崖や波の侵蝕によつて出来たものである。



青葉城(仙臺)

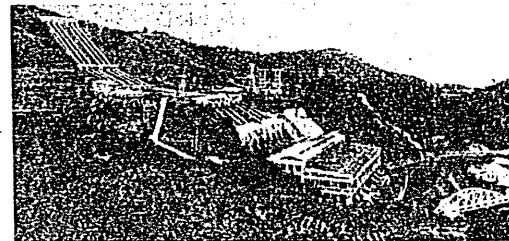
遊覽地として知られてゐる。

北上川河口の石巻市は昔、仙臺や江戸へ廻送する米の積出港であつたが、今は近海漁業の中心地になつてゐる。牡鹿半島の萩濱は良港であり、金華山附近は鯨の漁獲を以て著れてゐる。



遊覽地の松島

地域をなしてゐる。縣政治の中心仙臺市は、廣瀬川に臨み、伊達氏の舊城下町として發達し、今は東北地方文化の中心をなし、第三師團司令部東北帝國大學控訴院などがある。又、仙臺平埋木細工等の名産がある。その外港の鹽釜(開港場)は大なる築港の設備を有し、出入の船舶も多く、水産物の取引が盛である。附近の松島は、東北地方の代表的



日橋川の発電所

◆若松市の附近には東山温泉がある。

り流れる日橋川には、三百米の落差を利用した大発電所がある。若松市(下町)はこの盆地の中心で、明治維新の史蹟地として知られ、又、會津塗の名産がある。



若松の會津塗製造

福島縣

地形上、中通、濱通、會津盆地の三に分れる。中通の阿武隈川流域は本縣で最も聚落の發達してゐる地域である。縣政治の中心福島市(下町)は、交通の要衝に當り、繭糸絹織物の取引が行はれる。川俣は羽二重の産地である。郡山市は新進の工業都市で、猪苗代湖の水力を利用して絹綿糸の紡績業が興り、活氣を呈してゐる。東海岸の濱通には、小都邑が並び、平は常磐炭田の中心であり、中村は相馬焼の名産地である。

秋田縣

本縣は我が國の主なる鑛産縣である。米代川雄物川上流域には、銅金山の聚落が多く、殊に小坂は鑛山町として發達した處である。土崎港は黒川・由利・小國などを含む産油地帯を控へて、製油業が盛である。

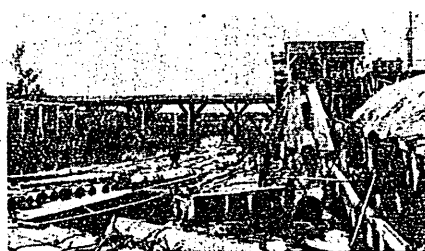
縣政治の中心秋田市(下町)は、能代港・大館などと共に製材業が行はれ、また絹織物を産する。男鹿半島の船川港(開港場)は

好錨地で、殊に冬季の北西風を避けるに適し、土崎港の副港として利用されてゐる。雄物川中流の横手盆地は、米産に富み、その中心横手は、農産物の集散地である。

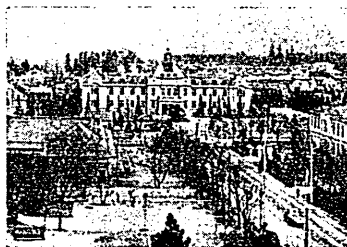
山形縣

最上川下流の庄内平野は、土地がよく

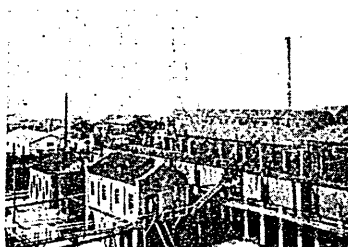
◆土崎港は米・石油の積出港である。



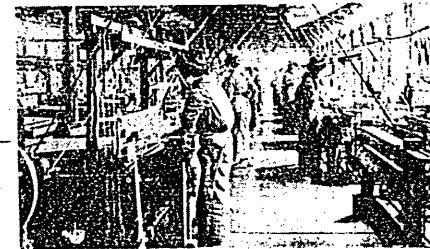
米代川木材の引上げ



山形市



土崎の秋田製油所



米澤の絹物工場

肥え、庄内米の産を以て知られてゐる。鶴岡市と酒田市は、その集散地である。河口港の酒田は古來米の積出港で著れてゐたが、現在は陸路によるものが多い。

新庄盆地は、冬季の深雪地として知られ、米澤山形の兩盆地には米作養蠶が盛である。

山形市(新庄)

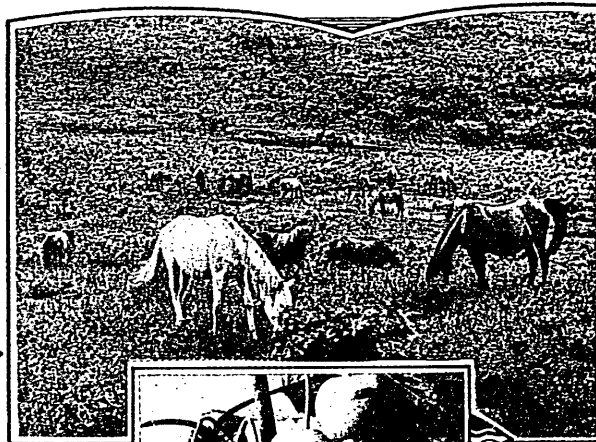
は縣政治の中心で、綿織物銅鐵器等を産する。

なほ附近の櫻桃は、我が國最大の産額がある。米澤市は上杉氏の舊城下町で、古來絹織物(米澤絨)の産を以て世に知られ、今日は人造絹絲をも産してゐる。



酒田の米の貯蔵倉庫

阿武隈高原地方の放牧



櫻桃

盛岡の馬市



關 東 地 方

神奈川縣 (横浜市)	東京府 (東京市)	千葉縣 (千葉市)	埼玉縣 (浦和市)	群馬縣 (前橋市)	栃木縣 (宇都宮市)	茨城縣 (水戸市)	(合計) 1府6縣
模範部・相模部	武蔵部・小笠原部	武蔵部・上野部	武蔵部・上野部	武蔵部・上野部	武蔵部・上野部	武蔵部・上野部	(合計) 1府6縣

香取神宮は經津主神を祀る官幣大社である。
鹿島神宮は武甕槌神を祀る官幣大社である。



香 取 神 宮

第四章 關 東 地 方

人口 三二二五万人
面積 一五二七四平方公里

沿革 本地方は古の關八州の地で鹿島香取の兩神の開拓に始まる。景行天皇の御代日本武尊の御東征に次いで御諸別王を上野に遣はされてその地方を鎮めしめられた(成務天皇)。降つて鎌倉及び江戸時代には武家政治の中心として天下に重きをなしたが明治二年帝都を東京に奠めさせらるゝに及んで我が國の政治文化の中心となつた。

一 地域・位置

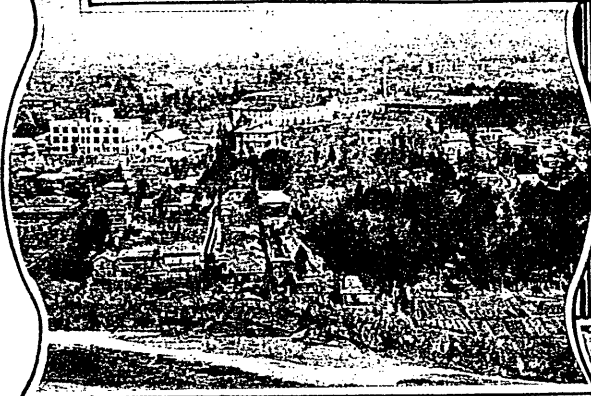
本地方は東京茨城栃木群馬千葉神奈川の一府六縣の占める地域である。北は奥羽地方、北西及び西は中部地方に接し、東と南とは太平洋に面してゐる。

二 地 形

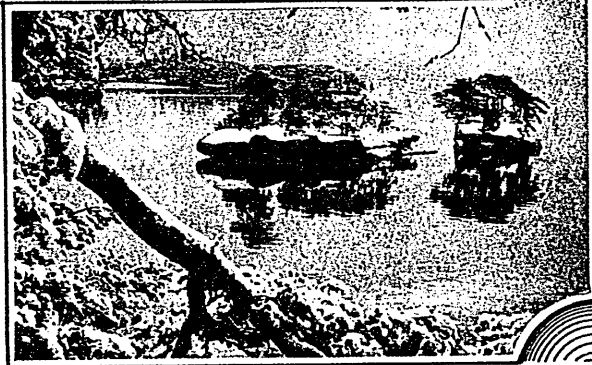
北部と西部とは峻しい山地で圍まれ、南部には丘陵が



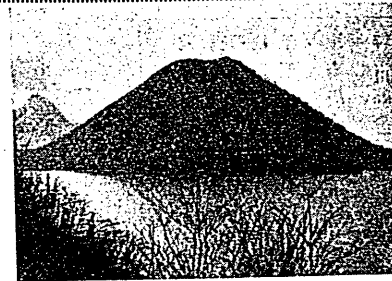
十和田湖



仙臺市街



松島



榛名富士と榛名湖

淺間山は活火山で今尚盛に活動してゐる。

州の中央を横斷し、中部地方との境に箱根山を起し、伊豆七島、小笠原諸島、硫黄列島などの火山島をつくつてゐる。之等の兩火山脈に屬する地方は、保養遊覽地帯となつてゐる。

箱根山は複式火山で舊噴火口内に神山駒



地形圖

横たはり、中央に我が國第一の關東平野が開けてゐる。

山地 北部西部の山地には、阿武隈山脈、八溝山脈、(筑波)三

國山脈(三國峠)關東山脈(平武峠)が走つてゐる。また奥羽地方

より延びた那須火山脈は、三國山脈と並走して那須山、日光

火山群(男體)赤城、榛名、淺間等の諸火山を噴起してゐる。火

山脈中には、日光妙義山の如き風景に富む勝地や、那須鹽原、

伊香保、草津などの名高い温泉が湧出てゐる。

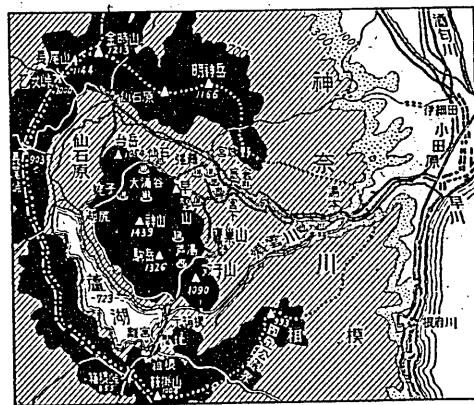
南部の富士火山脈は、本

吾双子山等が噴出し、火口原に芦湖及び仙石原がある。早川はこの火口原内に峡谷を造つて流れ、其の支流谷には大湧谷の噴氣孔があり湯本塔澤、堂島、宮下などの温泉場が連つてゐる。

南部には丹澤山地より延びた丘陵が三浦半島及び房總半島南部にも及んでゐる。

平地 關東平野は、本地

方の三分の一の面積を占め、波狀の臺地と諸川の沿岸低地とから成る。この平野は特に臺地が廣く横たはり、武藏野常總の臺地は、畑地、牧場、軍用地(飛行場)等に利用されてゐる。坂東太郎の名を負ふ利根川は、源を三國山脈に發し、渡良瀬、鬼怒等の支流を集め、江戸



箱根山の地形圖

◆芦の湖は箱根山の火口原に水を湛えたもので、沿岸には箱根町、元箱根村などの聚落が發達してゐる。



箱根の芦の湖



湘南地方（葉山・鎌倉・大磯・小田原）とは、北に丘陵を負



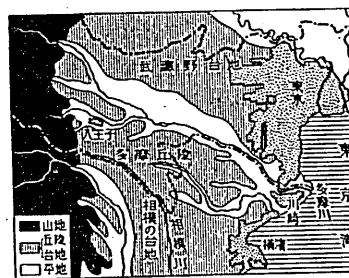
三氣候



犬 吠 崎 と 燈 臺



川根と浦霞



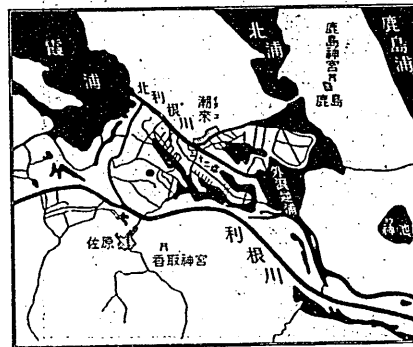
關東地方の西南部の地形

ある
心は
がな
は湖
は利
ある
は沼
は根
潮来
水低
その
郷地
の附
その
が中
下連
で名
流



る。又多摩川相模川の上流は東京横濱の水道水源地ともなつてゐる。

海岸 本地方東部の太平洋岸は大吠崎オホノボリによつて北は鹿島浦カシマウラ、南は九十九里濱クサナハに分れ、何れも緩やかな弧状の砂濱ハマ續きである。南部の太平洋岸には丘陵

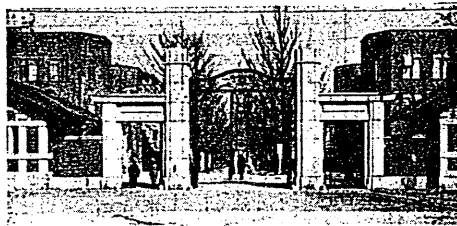


利根川下流の水郷

川を分流し、下流に於て霞浦北浦等の水を含はせて太平洋に注いでゐる。

この外、那珂川、荒川、多摩川、相模川（馬入川）なども本地方の主な河川である。之等の諸川は、上流が發電、中流が灌漑に利用せられ、特に利根川、荒川の下流は運輸にも利用されてゐる。





東京帝國大學

東京帝國大學には法・經・文・理・工・醫・農の各學部の外に史料編纂所、傳染病、地震、航空の三研究所及び天文臺が附設されてゐる。

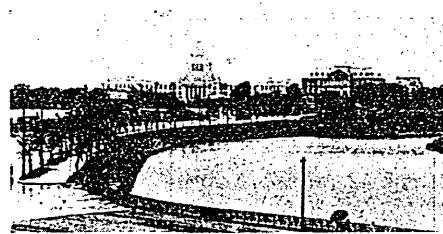
軍事上、東京には中央の軍衙(參謀本部、陸軍省)の外に近衛第一の各師團司令部及び東京警備司令部があり、宇都宮には第十四師團司令部がある。横須賀は軍港として第一海軍鎮守府があり、浦賀水道附近と小笠原島父島は要塞地帯となつてゐる。所澤、横須賀、館山、霞浦には陸海軍の航空隊がある。司法上、東京に大審院及び控訴院がある。

教育 東京には東京帝國大學の外、文理科工業の三官立大學、男女高等師範高等工藝高等繚絲高等農林高等商船高等齒科醫外國語美術音樂等の専門學校、第一東京の二高等學校及び宮内省陸軍海軍農林通信各省に屬する學校があり、また各種の私立大學、専門學校がある。又圖書館博物館なども完備し、我が國文教の大中心をなしてゐる。其の他各地に醫科大學(千葉)、高等園藝(松戸)、高等農林(宇都宮)、高等商業(横濱)、高等工業(相生)、高等學校(浦和)がある。

五 産 業

農業 關東平野は地味肥沃で、灌漑もよく行届き、全面積の三分の一は耕地となつてゐる。臺地の間にある河岸低地に

人口密度(万人)	東京	神奈川	千葉	茨城	群馬	栃木
	二七〇	七三	四三	三〇	二五	一六

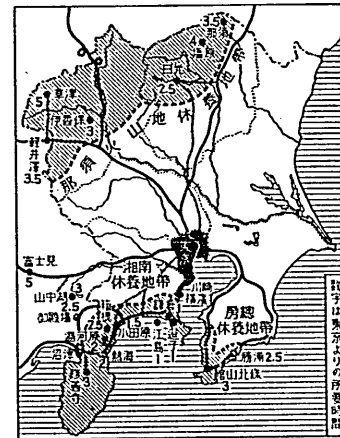


帝國議會議事堂と參謀本部の遠望

ひ、南に海を控へてゐるので、特に氣候がよく、避暑避寒地として知られてゐる。南方海上の豆南諸島は氣溫が高く、雨量も多い。小笠原諸島は高温多雨の熱帶性氣候である。

四 住 民・政 治

各府縣の人口密度は、何れも内地の平均密度よりも大きく、殊に東京市を包含する東京府は、我が國第一の稠密地である。東京、神奈川、兩府縣は政治、教育、軍事及び商工業の中心地であるから、男子の數が女子よりも多く、群馬、埼玉、栃木の製絲、機業地帯は、多くの女子勞働者を必要とするので、女子の數が男子よりも多い。本地方は、行政上、一府六縣に分けられ、また東京府下の島嶼部には支應が置かれてゐる。



東京よりの休養地帯

◆東京湾内の清苔は、大森附近で採られ、海苔として名高い。



九十九里濱の漁場

需要に應じてゐる。

水産業

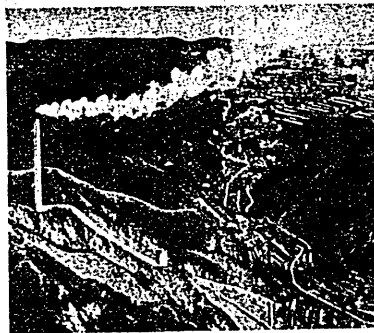
近海には暖海性の魚族が多く、鰯、鰯、鰯、秋刀魚等が獲れ、銚子、勝浦、館山、北條、三崎、浦賀等は何れも漁港で名高い。また東京湾内の海苔は古くから知られてゐる。

鑛業

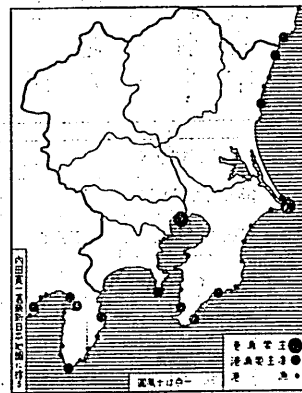
北方山地の足尾、日立は、我が國屈指の鑛山で、金、銀、銅の産額が頗る多く、日立では買鑛をも合はせて金、銀の精錬を行つてゐる。石炭は茨城、福島、の兩縣に跨る常磐炭田に産出せられ、石材は青森、太田及び筑波、山麓より切出される。

工業

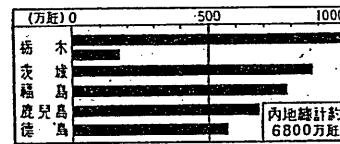
原料の豊富、交通の至便、石炭、水



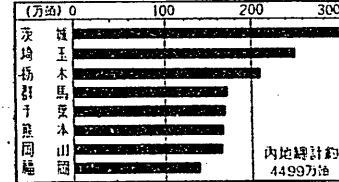
日立鑛山



漁港分布



煙草の産額



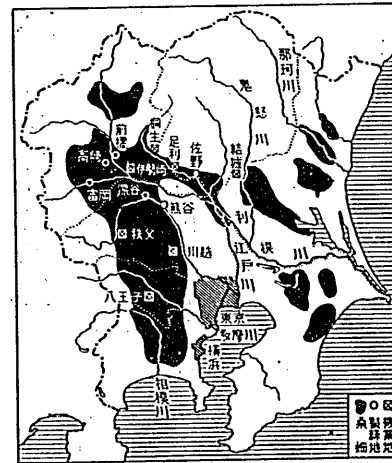
麦の産額

は水田が発達し、米作が行はれる。臺地の上は畑作が多く、麥、豆類が盛に栽培され、中でも麥類はその産額が内地の三分の一を占める。又、葉煙草は、我が國第一の栽培地で、那珂川、久慈川の流域及び神奈川縣の南西部に多く産し、烏山、茂木、太田、秦野はその中心地である。

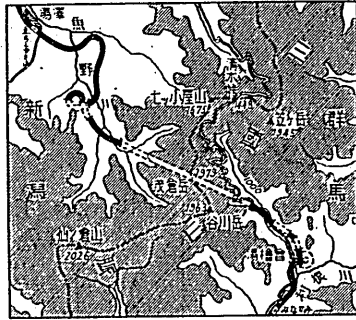
京濱地帯には野菜、花卉の栽培が盛であり、また房總半島の南部でも野菜の促成栽培が行はれ、京濱地方に供給される。

養蠶業は、桑の栽培の多い西部及び北西部の山麓方面に盛である。この方面は我が國の主要な養蠶地帯となつてゐる。

牧畜 千葉、埼玉の兩縣には、豚、鶏、乳牛の飼育が盛で、京濱地方の

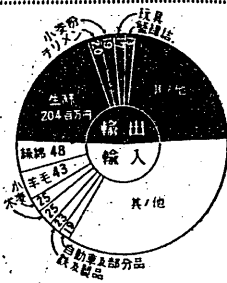


主な桑畑地帯



清水トンネルのループ式鐵道圖

動車の發達に伴つて、再び之等の街道の利用が著しくなつた。之等の街道によつて奥羽や本州中部に至

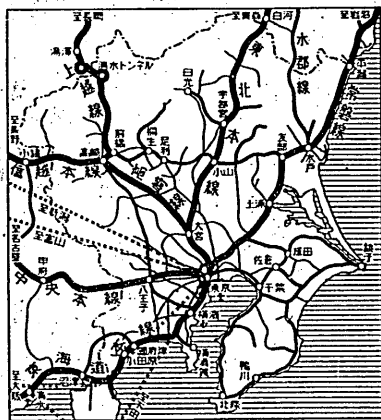


横浜港の貿易比較

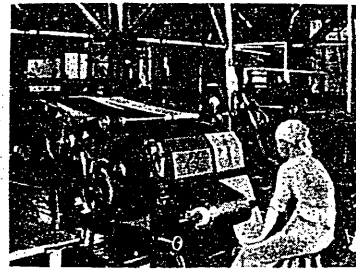
商業 東京は主として北東日本を商圏とし、關西の大阪と並んで、内國商業の大中心地をなしてゐる。横濱は北東日本に於ける外國貿易の大中心で、輸入港としての特色を有する。棉花機械石油小麦羊毛鐵類木材等の原料品及び食料品を輸入し生絲絹織物などを輸出してゐる。

六 交通

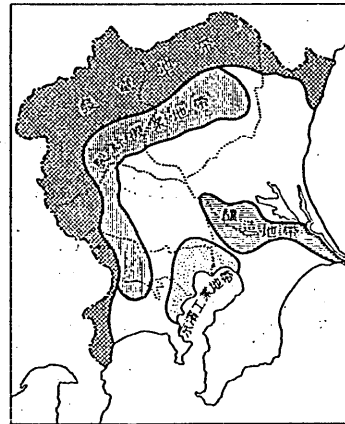
陸上交通



鐵道圖



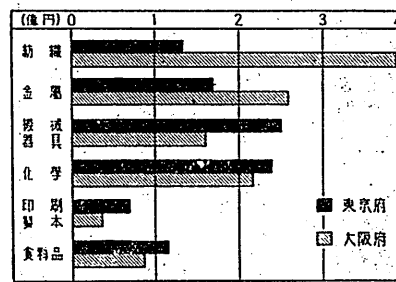
八王子の製織工場



關東工業地帯

は醬油(野饒)、清酒(土浦、味醂(澁川)等の醸造地帯をなしてゐる。北西部より西へかけての養蠶地帯には、機械工業が發達し、製絲絹織物業が行はれてゐる。前橋富岡熊谷等は製絲で知られ、桐生足利伊勢崎秩父八王子等は絹織物業地として名高い。

力の供給の容易及び勞力の得易いことなどによつて工業は大いに發達してゐる。東京川崎横濱を連ねる京濱工業地帯には、機械工業(車輜、船舶)、化學工業(洋紙、人造肥料、藥品、皮革、ゴム製品)、金屬工業、紡織工業(綿、絲、毛織)、食料品工業(麥酒、醸造、製粉、製菓)等の諸工業が發達し、特に東京には出版業が盛である。利根



東京府と大阪府との主なる工場生産額の比較

東京飛行場

◆東京無線電信局は小山(栃木縣)に送信所、福岡(埼玉縣)に受信所がある。

を、通じ、又、江戸川とも利根運河で連結されてゐるの
で、此の地方は本邦内陸水運の最も盛な地域となつ
てゐる。横濱は、神戸と共に我が國の大開港場で、多
くの外國航路及び内國航路を集めてゐる。東京港
は内國港として大いに發展してきた。

航空通信

航空通信 東京^(東京飛機場)は我が國航空路の中心で、こゝを起點として、大阪、福岡等の内地各地に通じ、更に臺灣、朝鮮及び滿洲方面に連絡してゐる。又、東京無線電信局はアメリカ合衆國、ハワゐ、南アメリカ、南洋等との通信を行つてゐる。

航空路

東京・大連間 東京・名古屋 大阪 福岡 蔚山 京城
平壤 新義州 大連。
東京・臺北間 東京・名古屋 大阪 福岡 那覇 臺北
東京・清水間 東京・下田 清水。
東京・富山間 東京 富山。
東京・札幌間 東京 仙臺 青森 札幌 (計叢中)



橫 濱 港

走 須 大 心 化 線 府 車 車 距 南 原 勢 ◆
つ 賀 宮 と さ は ま ま 通 離 電 急 崎
て ま ・ し れ 沿 で 中 じ 高 鐵 行 自 成
て る 浅 千 東 央 速 の 光 東
る 電 川 京 東 線 省 度 如 京
車 葉 を て 海 は 線 電 き 濱 小
が 横 ・ 中 電 道 甲 列 車 長 湘 伊

るには古の關址（勿來白河箱根）や名高い峠（清水・碓氷）を越えねばならぬ。（小佛・箱根）

主な鐵道幹線の東海道中央高崎及び信越上越東北常磐等の諸線は何れも昔の街道に沿ふもので、トン

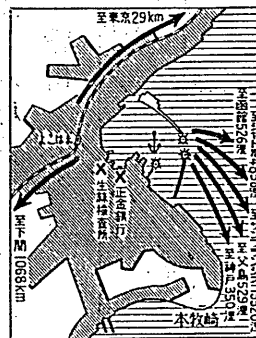
ネル又はループ式・ア
プト式などによつて

峠を通じてゐる。其
の他、總武房總の二線
は東關東を通じて、水戸
兩毛・八高横濱の四線

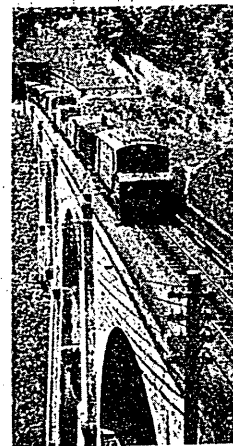
は本地方山麓の工業都市を連結してゐる。東京を中心とする郊外電車の發達も亦著しい。

水上交通

利根川の下流は霞浦北浦等と水



交通の要地横濱



アプト式鐵道

◆日光は国立公園である。

五八七六
七〇四
一八三
一五五
八七
八七
七六
六四
六四
五九
五七
五四
四九
四八
四七
四四
三八
三八
三五

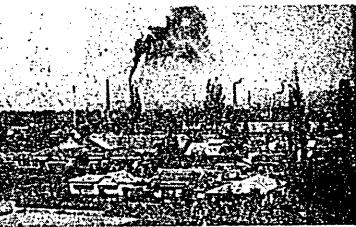


前橋の選別工場

つたが、灌漑用水路を設けてから開拓が進んでゐる。日光は附近の男體山ヲクダマ華嚴瀧ケイエンタキと共に自然の美と人工の美とを兼ね備した勝地として内外人の觀光するものが多い。南西に位置する足尾は、鑛山町として發展したものである。縣の東部は煙草の産地で、烏山カシマ茂木はその中心である。兩毛線の沿線は、養蠶ギ機業が盛で、宇都宮市下野城は縣政治の中心で交通の要地を占め、第十四師團司令部がある。栃木は農産加工品を産し、佐野は綿織物、足利市は絹織物業地である。



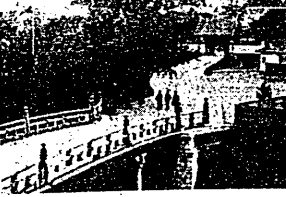
工場 網 選 の 橋 前



前橋の工業地帯

群馬縣 山麓地帯は我が國主要の養蠶地で、製絲機業が盛である。桐・生・市は絹織物人絹織物の産地として本縣の第一位に居る。伊・勢・崎は銘仙の産を以て名高い。縣政治の中心、前・橋・市(製絲業)は交通の要ニツク

七處誌



館 道 弘

と低濕地とが多い。縣政治の中心、水戸市は那珂川に臨み、徳川親藩の舊城下町として發達した處である。市内には弘道館を始め史蹟に富み、之を訪れるものが多い。また附近に湊の漁港及び大洗の勝地がある。北方の太田附近は煙草や大理石を出し、阿武隈高原には日立の鑛山町がある。筑波山は眺望が甚だよく、また山麓には高層氣象臺の設がある。栃木縣に近い結城は紬の産地である。霞浦の湖畔に沿ふ土浦は石岡と共に清酒醬油の醸造地であり、湖港である。附近の阿見には海軍飛行隊がある。



華嚴瀧と中禪寺湖



銚子

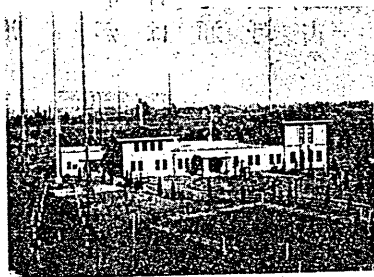
港

子

ある。川・越・市は養蠶機業の中心地で、熊谷市は生絲織物米穀の集散が盛である。南部の所澤には陸軍飛行學校がある。大宮に近い福岡には東京無線電信局の受信所がある。西部山間の秩父盆地には養蠶絹織物業が行はれ、その中心の秩父は秩父銘仙を産し、盆地出口の荒川上流には長瀬の勝地がある。

千葉縣

地形上、北半部は關東平野に屬し、南半部は丘陵性の山地である。關東平野の波狀臺地は麥甘藷桑の耕作地や軍用地に利用せられ、國府臺習志野には騎砲兵及び鐵道等の諸部隊がある。縣政治の中心、千葉市は市川市と共に東京市に近接する郊外住宅地として發達し、また交通の要地に位する。成田は不動尊の門前町として發展した所である。利根川の下流には



福岡にある無線電信受信所



◆清水峠の長さは九千七百二米。
◆大宮に官幣大社・氷川神社がある。

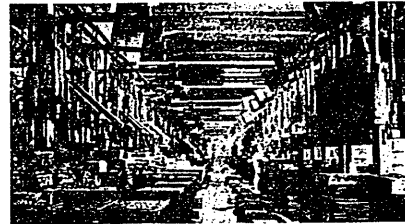
妙

埼玉縣

東部の利根川及び荒川流域の低地と西部の秩父山地とに分れる。東部の平地は人口稠密で、農業及び機業が盛である。縣政治の中心浦和市は東京市に近接する郊外住宅地として發展してゐる。川口市は荒川に沿ひ、鑄物業が行はれる。大宮は交通上の要地を占め、壯大な鐵道工場がある。また富岡は衝に當る高崎市と共に繭生絲の集散地である。肩指の製絲地として榮えてゐる。縣の中部には那須火山脈の赤城・榛名の二火山が聳え、妙義山と共に上野三山の稱がある。北西部の保養遊覽地帯には伊香保草津等の温泉町が發達してゐる。碓氷峠にはアプト式軌道が通じ、清水越には我々が國最長のトンネルがあり、ループ式によつてこゝを越えてゐる。



大宮の鐵道工場



野 田 の 精 油 工 場

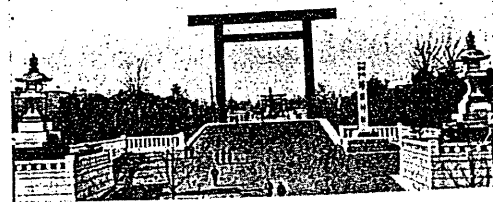
佐・原・銚・子等の河港がある。銚・子市は漁港としても名高く、佐・原（舊酒）は江戸川に沿ふ野・田（舊通）流・山（味勝）と共に醸造地である。房総半島は丘陵がちの地形で、乳牛が飼育され南部の沿岸には木・更・津・館・山・北・條・小・湊・勝・浦の漁港があり、保養地としても著れてゐる。館山北條と木更津とは海軍航空隊がある。



銚 子 港

◆東京の官衙の分布図は二百二十頁を参照
◆靖國神社は忠勇義烈の英霊十二萬餘柱を祀る別格官幣社である

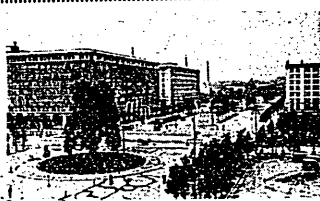
東京府 我が帝都東京市は江戸時代すでに我が國政治の中心として、大都市をなしてゐた。今日は世界屈指の大都市として、我が國政治經濟教育交通の大中心である。地形上、市の西半は山手で武蔵野臺地上にあり、東半は隅田川江戸川の三角洲上を占め、所謂下町である。



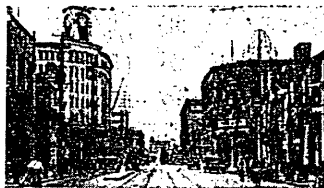
靖 國 神 社

◆二重橋前には楠公の銅像がある

明治神宮は明治天皇・照憲皇太后を祀る官幣大社である



丸 の 内 の 一 部

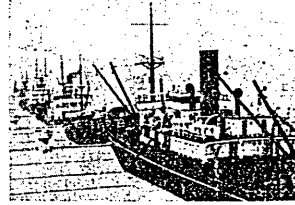


銀 座 通

宮城は市の中央に位し、その附近の霞關丸の内一帯には官衙銀行會社の主なるものが集まつて、帝都の中心地域をつくり、近代的高層建築は純日本風の宮城と調和して壯重な帝都の面影を現してゐる。北部より西部に及ぶ高臺は住宅地區をなし、帝國大學を始め公私の大學専門學校が多く、また我が殉國の英靈を祀る靖國神社及び森嚴極まりなき明治神宮などがある。新宿は山手臺地の中心として賑つてゐる。低地帶（全町）の京橋區日本橋區神田區は商業地區をなし、隅田川以東の江東と南部の海岸低地とは工業地區をなしてゐる。それ等の地區には製紙人造肥料綿絲毛織及び印刷出版等の諸工場が多い。鐵道は東京上野新宿兩國等の諸驛から全



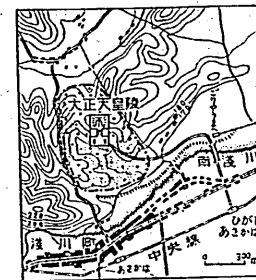
明治神宮外苑競技場



東 京 港

國への幹線を出してゐる外、市の内外を結ぶ鐵道及び軌道が放射してゐる。海上交通は東京港に於て行はれ、空中輸送には羽田の飛行場がある。

東京市の西方武藏野臺地では、野菜を栽培し、山麓地帯には桑園が多く、八王子、市青梅等の製絲機業地が發達してゐる。八王子の西郊には大正天皇の鎮まります多摩御陵がある。

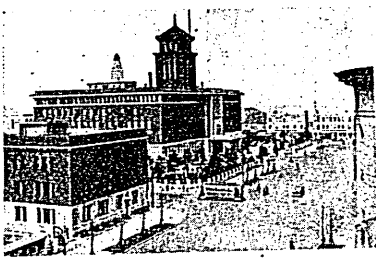


多摩御陵附近地形圖



小笠原の熱帯性植物

豆・南諸島は伊豆諸島と小笠原諸島などから成り、富士火山脈に屬する火山列島である。伊豆諸島は大島、新島、神津島、三宅島、御藏島、八丈島などの伊豆七島から成る。黒潮に洗はれ、温暖多雨で、島民は甘藷の栽培、牧牛、漁業を生業とする。八丈島には棒油、八丈絹の特産もある。大島の三



横濱市街（縣廳附近）

◆毎年春母島を捕獲收容し、そのの産卵せしものを人工により孵化せしめ放流するものである。

原山は活火山で、その南東の波浮港はもと噴火口であつた所である。

小笠原諸島は伊豆諸島、母島の各列島から成り、熱帯性氣候であるから、甘藷、バナナ、を産し、冬にも蔬菜の栽培が行はれ、海龜、信天翁が棲み、珊瑚も採れる。父島の二見港は日米海底電線の中繼地であり、軍事交通上の要地となつてゐる。南方に硫黄列島があつて

甘蔗を栽培してゐる。

神奈川縣

東京灣沿岸は京濱工業地帯をなしてゐる。横濱市は神戸港と共に我が國の二大開港場で、その港内は廣くて深く、防波堤、棧橋、繫船岸などの設備がよく整つてゐる。特に生絲、絹織物の輸出が多く、京濱運河によつて東京港とも連絡せんとし、工業も亦盛である。川崎市は多摩川

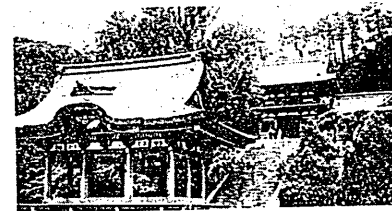


小笠原島の正登坊收容場



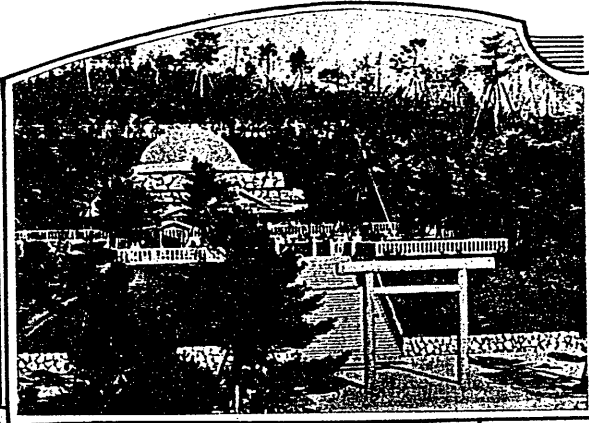
箱根の湯本温泉

を隔てて東京市とも接続し、京濱をつなぐ工業都市で電球肥料菓子鋼管等の製造工場が多い。
三浦半島は東京灣の入口を扼して横須賀浦賀三崎等の好鰯地に富んでゐる。軍港街の横須賀市には海軍鎮守府海軍工廠及び追濱の海軍飛行場があり、帝都防備の要地となつてゐる。浦賀水道に臨む浦賀は幕末に於ける開國史上に名高く、その灣内には有名な造船所がある。南端の三崎は漁港として知られてゐる。相模灣沿岸の湘南地方は氣候が溫暖で風光もよく、且つ京濱に近いため、葉山・逗子・鎌倉・江島・大磯・國府津・小田原等の休養地が發達してゐる。殊に鎌倉小田原は史蹟地としても有名である。箱根・山は景勝と温泉の湧出とで、よい休養地となつてゐる。秦野盆地にある秦野は煙草の産で名高い。

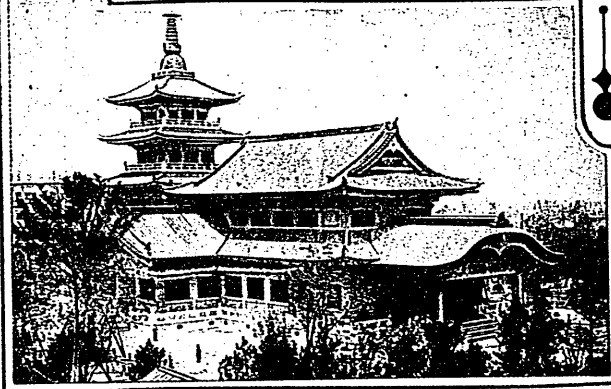


鎌倉八幡

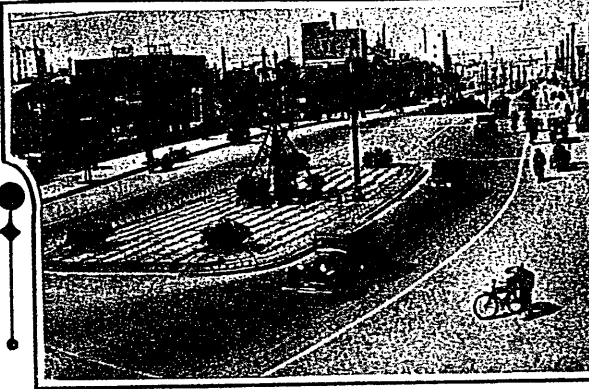
多摩御陵



關東大震災記念堂（東京）



東京市街（昭和通）



福井縣	石川縣	富山縣	新潟縣	山梨縣	長野縣	岐阜縣	愛知縣	靜岡縣	(府縣名)	(縣所在地)	(縣城名)
(福井市)	(金澤市)	(富山市)	(新潟市)	(甲府市)	(長野市)	(岐阜市)	(名古屋市)	(靜岡市)			伊豆・大田 駿河・遠江 尾張・三河 美濃・飛驒 信濃 甲斐 越後・佐渡 越中 加賀・能登 越前・若狹

◆神代の昔大國主命の御子建御名方富命は信濃の地方を開拓し給ひ、開拓の功神、農業の神として諏訪神社に鎮まり給うた。

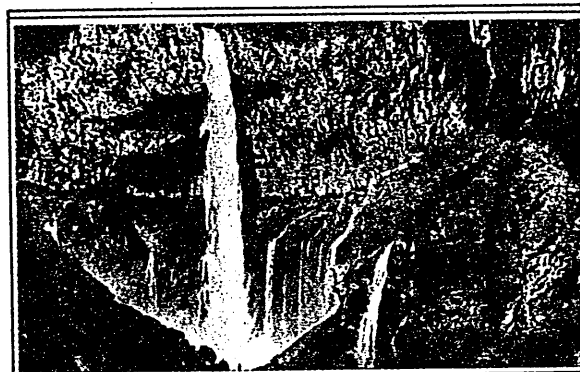
面積	六六四三九六方
人口	一二五九萬
密度	一八九人
（一萬杆）	

〔沿革〕 信濃の諏訪盆地は神代の昔から開けてゐた。崇神天皇の御代には將軍を東海北陸地方に遣はされたことがあつた。殊に東海道は古來、畿内と關東方面との通路として發達し、江戸時代には徳川氏一門で固めた處で、北陸や中央山地よりも早く文化が進み、今日に至つた。現在では北東日本と南西日本との中間地帯として發達してゐる。

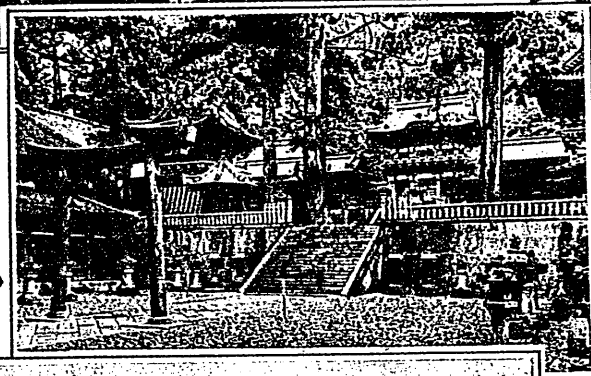
本地方は靜岡、愛知、岐阜、山梨、長野、新潟、富山、石川、福井の九縣の占める地域で、北は日本海に、南は太平洋に面し、東は關東地方と奥羽地方に、西は近畿地方にそれ／＼相接してゐる。



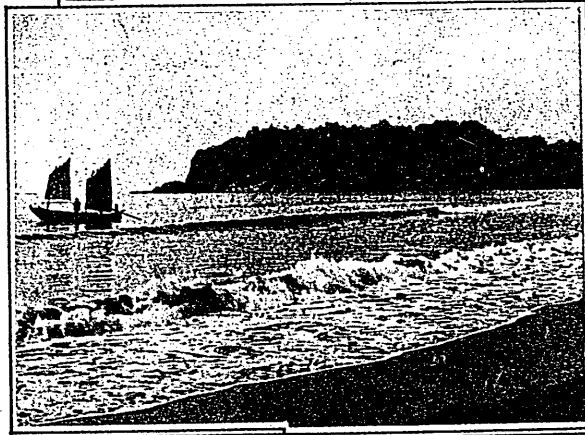
徳川親藩のあつた名古屋城



華嚴藏



日光東照宮



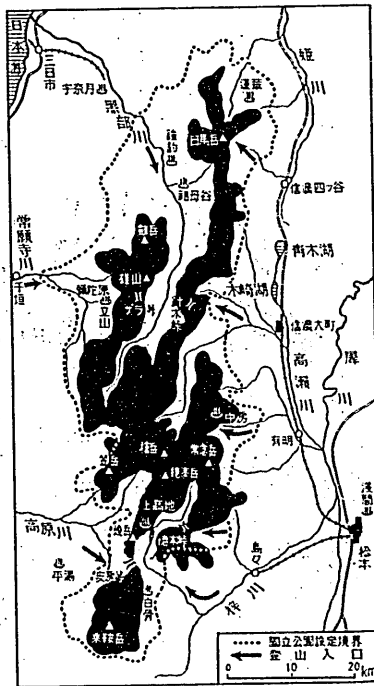
江島の海岸



◆上高地は信濃梓川に沿ふ盆地で、谷の美しさを以て著はれ、夏季の好キャンピング地となつてゐる。

富士山

南北兩彎山系の出會ふ所が南北に中央低地帯となり、それに沿うて富士火山脈が走り、秀麗な富士山を始めとして、北に八岳、立科山、妙高山、南に愛鷹、天城等の諸火山を起してゐる。
平地 中央山地に發源する河川は、太平洋・日本海の兩斜面に流下し、上流に小盆地、下流に肥沃な平野を開いてゐる。



中部國立公園地帯の地形



徳本峠より見たる徳高岳

◆飛驒山脈中の徳高岳、立山山脈の御岳などは、最も峻険な山容を表してゐる。

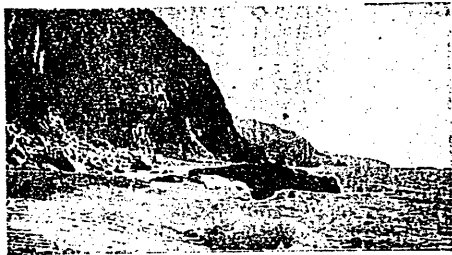
ルプスと總稱されてゐる。飛驒山脈（日本北ア）には、乗鞍火山脈（御岳火）が相重なり、白馬岳、槍岳、穂高岳等の諸峯と相並んで、立山・乗鞍岳、焼岳（硫黄岳）、御岳など

二 地 形

山地 本地方の中央部は北東日本の主軸をなす北彎山系と、南西日本の主幹をなす南彎山系との會合點で、其の接合地帯に富士火山脈が走つてゐる。北彎山系の南端は越後・三國、關東三山脈の占める所である。南彎山系には飛驒・木曾・赤石の三山脈が屬し、何れも三千米内外の高峰を連ねて、我が國第一の高山地帯をなし、所謂日本アルプスと總稱されてゐる。飛驒山脈（日本北ア）には、乗鞍火山脈（御岳火）が相重なり、白馬岳、槍岳、穂高岳等の諸峯と相並んで、立山・乗鞍岳、焼岳（硫黄岳）、御岳など



地 形 圖



親不知の海岸

北陸地方には、阿賀川、信濃川等の下流に越後平野、黒部川下流の扇状地、神通川、庄川等の三角洲が合した富山平野、手取川下流の加賀平野、九頭龍川下流の越前平野などが開けてゐる。湖沼の主なものには、濱名湖、諏訪湖、河北潟、富士五湖等である。

〔主なる湖沼〕 濱名湖は谷の溜れた處に海水が侵入して生じ、諏訪湖は断層によつて出来たもので、富士五湖は栖精進湖、西河口山中の諸湖は富士山の熔岩流によつて、河谷が堰止められて生じ、河北潟は砂丘によつて圍まれたものである。

海岸 太平洋岸の東部には伊豆半島、駿河灣の出入があり、西部には渥美半島、知多半島が突出して三河灣と伊勢海を分けてゐる。中部の遠州灘は平直な海岸である。

北陸海岸は能登半島と富山灣とを除けば極めて出入の少い海岸で、親不知な



清水港より見た駿河灣岸

親不知の海岸
飛騨山脈の北端が海に没する處が断崖となつたものである。

北陸地方には、阿賀川、信濃川等の下流に越後平野、黒部川下流の扇状地、神通川、庄川等の三角洲が合した富山平野、手取川下流の加賀平野、九頭龍川下流の越前平野などが開けてゐる。湖沼の主なものには、濱名湖、諏訪湖、河北潟、富士五湖等である。

〔主なる湖沼〕 濱名湖は谷の溜れた處に海水が侵入して生じ、諏訪湖は断層によつて出来たもので、富士五湖は栖精進湖、西河口山中の諸湖は富士山の熔岩流によつて、河谷が堰止められて生じ、河北潟は砂丘によつて圍まれたものである。

海岸 太平洋岸の東部には伊豆半島、駿河灣の出入があり、西部には渥美半島、知多半島が突出して三河灣と伊勢海を分けてゐる。中部の遠州灘は平直な海岸である。

北陸海岸は能登半島と富山灣とを除けば極めて出入の少い海岸で、親不知な

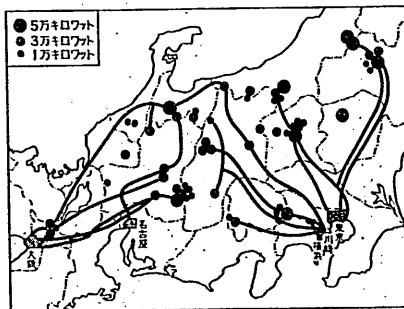
◆黒部川峡谷は我が國有数の深谷として、その豁谷美を以て知られてゐる。

◆中部地方は我が國の主要な水力發電地帯で、河川の上流は水力發電に利用され、主に京浜・阪神の工業地帯に送電されてゐる。

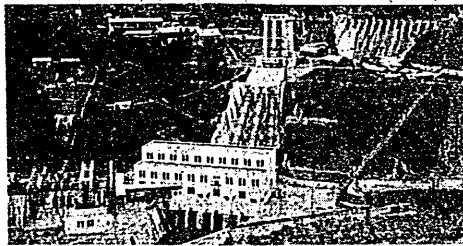


黒部川の扇状地

川、大井川、天龍川等の下流に駿河、遠江の兩平野が開け、その間に牧原、三方原等の臺地がある。木曾川の下流には濃尾の大平野があつて、豊川、矢作川の開く三河平野と連なつてゐる。



中部地方水力發電所分布圖



庄川發電所



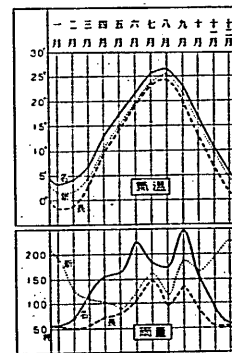
黒部川豁谷

中央山地には信濃川流域に佐久平、善光寺平、天龍川流域に諏訪盆地、伊那谷、富士川流域に甲府盆地、木曾川流域に木曾谷等の小盆地が展けてゐる。

◆駿河海岸の三保の松原は砂嘴で清水港を囲んである。

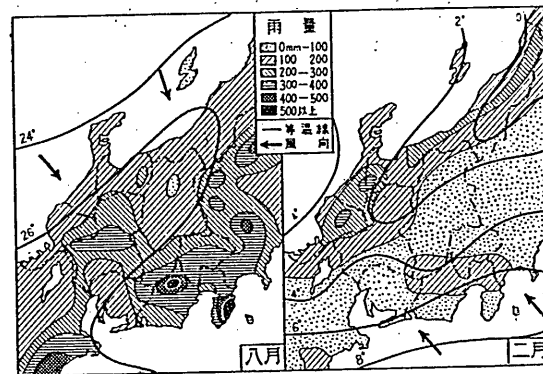
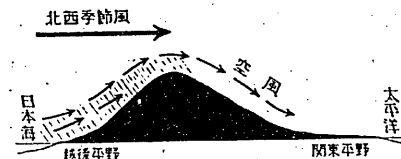
◆下の気象図には太平洋・日本海両方面の雨量型が明らかに表れてゐる。

◆白山・妙高山の北麓は我が國の最深雪地となつてゐる。



気象図

あるが、冬は對馬海流を渡る北西季節風の影響をうけて降



気象図

ど、二三の岩濱の外は一般に砂丘の發達した砂濱つきで、良港にも乏しい。能登半島の邑知瀨低地帯は東に延びて七尾灣に及んでゐる。若狹灣沿岸はリヤス式の海岸であつて其の東に敦賀灣がある。

三 氣 候

東海地方北陸地方及び中央山地とは、各特色ある氣候を表してゐる。東海地方は夏は南東季節風を受けて降雨が多く、冬は晴天が続く。北陸地方は夏は晴れ勝ちで

雪が多く、ために交通上屢障害を受ける。中央高地は一般に大陸的の氣候で降雨が少く、空氣が乾燥して寒暑の差が著しい。

中央山地及び北陸地方では、緩やかな傾斜地を利用して冬季スキーが盛に行はれ、河湖に於てスケートが行はれる。

四 住 民 政 治

人口は産業の開けてゐる東海地方に多く、中でも名古屋工業地帯を中心とする濃尾平野が最も密である。北陸地方中央山地は人口少く、殊に飛騨高原に於ては最小である。

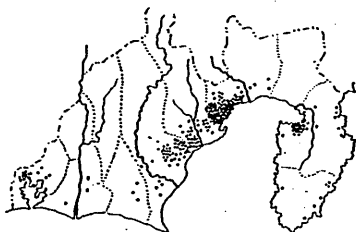
男子の數に比して、女子の數の著しく多いのは、長野縣及び北陸の諸縣である。長野縣は養蠶製絲業地で特に女工を必要とする關係からであり、北陸の諸縣は男子の出稼人を多く北海道樺太に送ること、富山の製薬、石川・福井の羽二重機業に女工を必要とする關係によるものである。

愛知 岐阜 山梨 新潟 石川 福井 長野 岐阜 山梨 新潟 石川 福井 長野

人口密度
一万人以上
二万人以上
三万人以上
四万人以上
五万人以上
六万人以上
七万人以上



スキー場のスキー客



木曾の木材搬出

には山林が多いので各處に林業が盛である。木曾川・天龍川・豊川等の流域は木材の供給が多い。殊に木曾川の流域は古來、檜杉の美林を以て世に知られてゐる。

鑛業 鑛産は新潟縣の石油を第一とし、東山・西山・新津・頸城等の

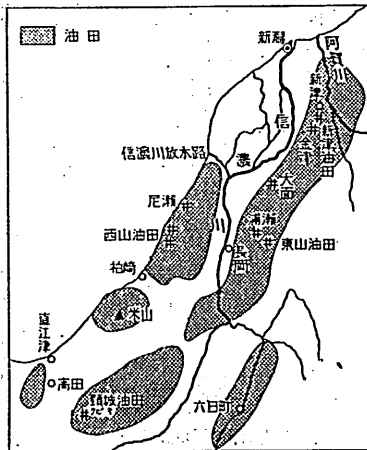
柑 橘 園 の 分 布

地区	百万枝
長野	35
群馬	25
埼玉	20
愛知	20
山梨	15

全国327百万枝

全國蘭生產高

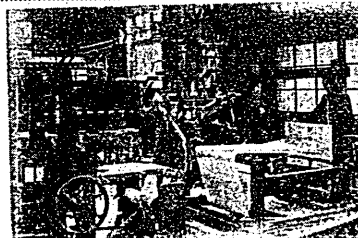
和歌山縣に次いで全國第二位にある。山梨は古來葡萄の産に名高い。濃尾平野には野の栽培及び園藝がよく行はれ養鶏業も農家副業として盛である。中央の諸盆地及び濃平野には桑園が發達し、我が國主要の養蠶地をなし、長野愛知の二縣は繭の産額が多い。



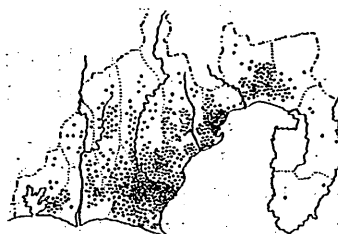
越後の油田

(万円)	0	10	20	30	40	50
静岡	[Bar extending beyond 50]					
京都	[Bar extending beyond 50]					
大阪	[Bar extending beyond 50]					
福岡	[Bar extending beyond 50]					
三	[Bar extending beyond 50]					

茶の主要産地と其の産額



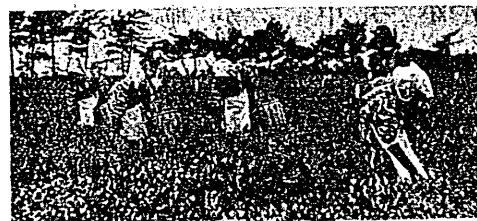
上田繅絲専門学校の實習工場



静岡縣の茶畑の分布

氣候等の關係から各種の産業が發達してゐる。

農業 本地方は我が國有數の米産地で、越後濃尾富山等の諸平野がその主なるものである。静岡縣は茶蜜柑の栽培が盛で、茶は我が國總産額の四割を占め、蜜柑の産



静岡縣の茶畑

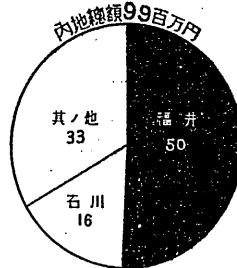
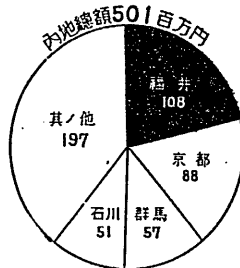
五、產、業

行政上、本地方は九縣に分れる。軍事上、名古屋(第二・金澤(第九

に各師團司令部があり、司法上、名古屋に控訴院がある。

〔教育〕 名古屋金澤新潟に各醫科大學、濱松名古屋福井金澤長岡に高等工業、名古屋高岡に高等商業、上田に蠶絲專門、富山岐阜に藥學專門、岐阜に高等農林、靜岡名古屋松本新潟金澤に高等學校がある。

◆北陸地方は冬季の野外作業が十分でなく、大気も湿潤してゐるため、機業の發達を促したのである。

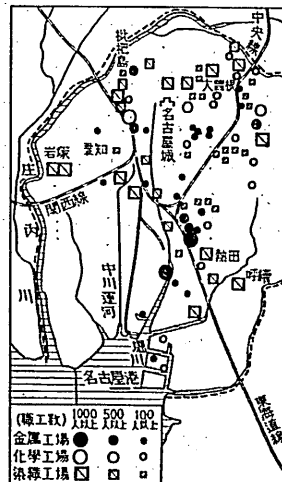


絹織物及び絹綿交織産額比較

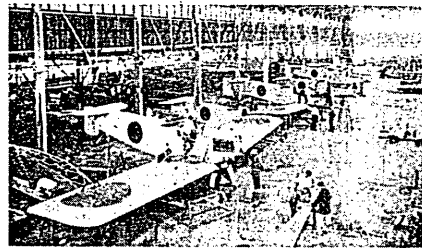
人造絹絲產額比較

機時計製造等の工業が盛である
その他、製紙業として、静岡の駿
河半紙、岐阜の美濃紙、福井の奉書
紙等の和紙は、古來の名産であり

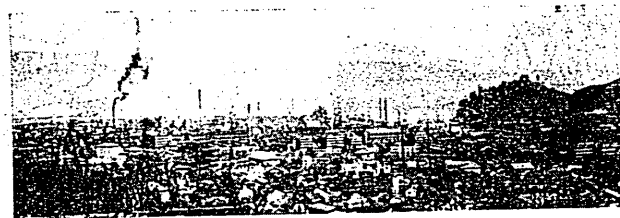
はその中心となつてゐる。絹織物業は福井石川の二縣に發達し、人絹織物輸出向の羽二重を多く産する。山梨縣の郡内地方は古來甲斐絹の産が多い。紡織工業としては一宮岐阜大垣等の毛織物、小山の綿絲、岡崎の綿絲綿織物、豊橋の生絲等が盛である。名古屋附近は我が國屈指の工業地帶で、綿絲綿布毛織物等の紡織工業を始め製陶製



名古屋市の工場分布



愛知時計電機株式会社飛行機組立工場

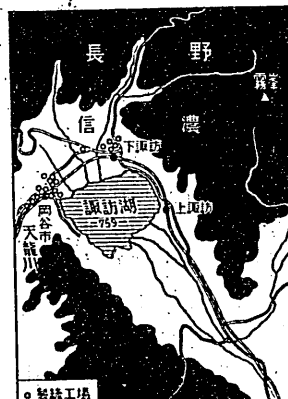


岡 谷 の 製 絲 工 場

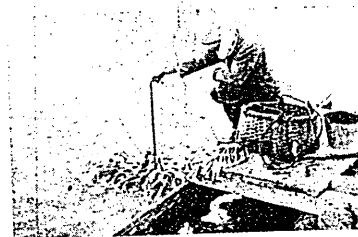
油田が廣く横たはつてゐる。其の他相川(新潟縣)及び土肥(静岡縣)の金(神岡縣)の銀鉛(岐阜縣)赤阪(岐阜縣)の大理石等も知られてゐる。

水産業 太平洋岸には鰹、鰯、鯖、鮓など
の漁獲が多く、漁港の焼津（静岡縣）は鰹節の産
を以て知られてゐる。日本海岸には鰹、鯖
、鰯及び烏賊等の産があり、魚津（富山縣）では
鰯の製造が行はれてゐる。濱名湖、渥美灣
では鰻が養殖され、長野縣の諸盆
地には鯉の養殖が盛である。

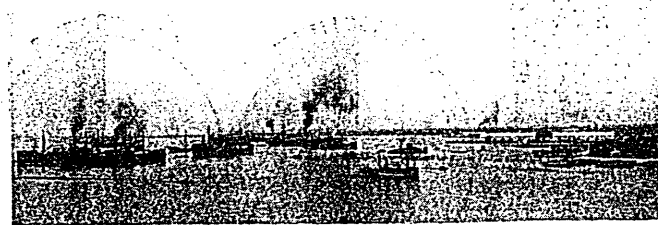
工業 石炭は産出しないが水力が豊富であるから、各地に大工業が發達してゐる。養蠶地帯の長野縣は、製絲業が盛であり、岡谷



諏訪盆地工場分布



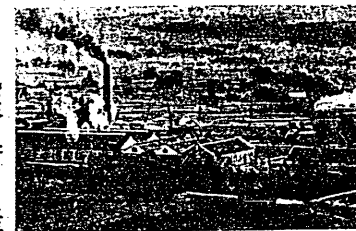
沼名湖沿岸の鯰の養殖場



名古屋港

洋紙は富士山麓(静岡縣)に盛である。製陶業は愛知岐阜石川の諸縣に盛で、殊に木曾山脈の南西部には良質の陶土を産するので、瀬戸多治見名古屋常滑などを含んで我が國第一の製陶地帯をなしてゐる。瀬戸焼は古來名高く、名古屋の硬質陶器は近時好評を博してゐる。石川縣は九谷焼に名高く、金澤市小松九谷等はその中心である。その他漆器の産も多く、静岡輪島等は主産地である。

商業 中京の名を負ふ名古屋は本地方最大の商業市で東京大阪の中間に位し、東京大阪及び東海中央山地との取引が盛である。この外、静岡松本新潟福井等も重要な商業の中心である。外國貿易では清水港が茶の輸出に、名古屋港が羊毛棉花等の輸入、陶磁器綿布の輸出に名高い。



大宮の製紙工場

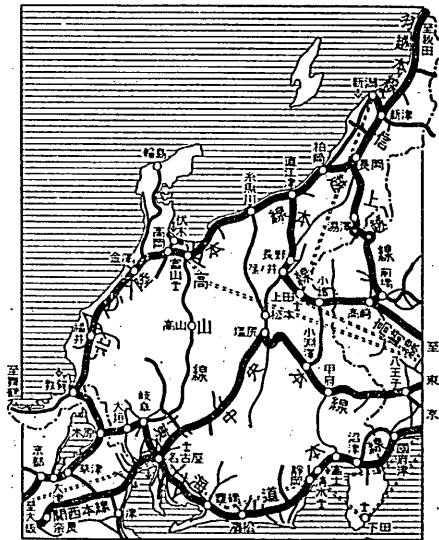
ラッセル車
機関車の前方に除雪設備を施したもので、列車の通る前に進行して線路上の雪を除く。
◇丹那トンネルは箱根山の迂迴を避けるために開鑿されたもので、延長は七千八百七米あり、我が國第二の大トンネルである。



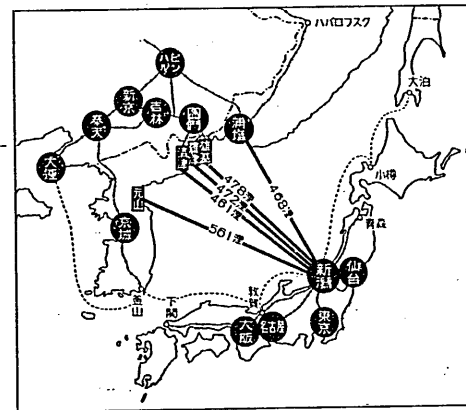
ラッセル車で雪除け

六 交通

陸上交通 本地方は古來、東西交通の要路に當り、東海道と北陸道とは南北の海岸地方に沿ひ、中仙道甲州街道は中央山地を通ずる重要な街道である。今日の鐵道幹線も略之に沿うて通じてゐる。即ち、東海道本線北陸本線は海岸地方を、中央本線は中央山地を、何れも東西に通じ、信越上越高山の諸線は南北に横斷してゐる。東海道中央關西高山等の諸鐵道線の集中する濃尾平野は、産業の發達人口の稠密と相俟つて電氣軌道線の發達が著しい。北陸地方は降雪多量のため、種々の防雪設



鐵道圖



新潟を中心とする北鮮航路図

備をなし除雪に努めてゐるが、往々交通の杜絶することがある。

水上交通

名古屋清水の兩港は太平洋岸航路の中心で、遠く海外への航路も有してゐる。日本海岸は太平洋岸に比して一般に船舶の往來が閑散であるが、新潟・伏木・七尾・敦賀等の開港場の中、七尾を除く三港は北滿の開發によつて北鮮諸港との航路が活氣を呈し、別に敦賀からはウラヂボストックへ定期航路（北鮮）を通じてゐる。河上交通は急流が多いため不振で、たゞ信濃川・木曾川の下流が利用せられてゐるに過ぎない。

航空通信

東西の定期航空路は名古屋を着陸



名古屋無線電信局の依佐美送信所



◆名古屋郵便局
無電は依佐美
(愛知縣)に送信
所(四日市)(三
重縣)に受信所
を設けてゐる。

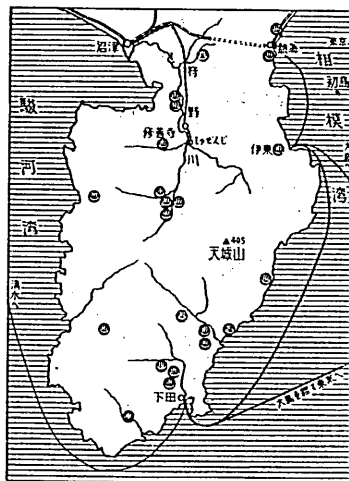
七處誌

静岡縣

伊豆半島には、伊・東・修・善・寺等の如き温泉聚落が多い。下田は史上に有名な港である。古い宿場の三島は、丹那トンネルの開

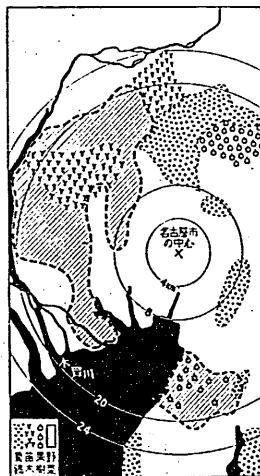
通によつて交通の要地に復活し、御殿場及び大宮は富士登山口で賑ひ、大宮附近には洋紙の製造が行はれ、西境の小山

には紡績工場がある。駿河灣沿岸は氣候溫和で、沼津・興津の保養地、田子浦・清見・三保・松原等の景勝地がある。縣政治の中心、静岡市



伊豆半島の温泉分布

◆名古屋の郊外
北西部一帯は野
菜の栽培が多く
枇杷島には有名
な青物市場があ
る。



名古屋市を中心とする蔬菜
園藝・養雞の分布

豊川矢作川流域の三河平野は養蠶養鶏が盛である。豊橋市は生絲岡崎市は綿絲綿織物を産する。安城附近には模範的の農業經營が行はれてゐるので名高い。有松鳴海附近は絞染の産地である。知多半島の半田龜崎には醸造業（味噌餅）が行はれ常滑（土）は土燒（瓦、土管等）を産する。濃尾平野の南東部に發達した縣政治の中心、名古屋（開港場）市は徳川親藩の舊城下町として發達し、

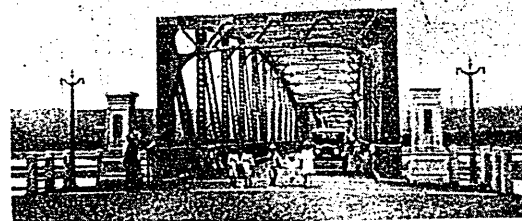


名古屋市の工業地帯(市の北西隅)

都市人口

名古屋市	靜岡市	金澤市	濱松市	新潟市	岐阜市	富山市	甲府市	長野市	岡崎市	福井市	松本市	長岡市	清水市	高岡市	一ノ宮市	沼津市	大垣市	瀬戸市	岡谷市	上田市	三條市	高田市	多治見市
------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------

千人
〇八三
二〇一
二七五
一四七
一四〇
二三五
二二九
八三
八三
七七
七七
七五
七三
六二
六二
五七
五三
四九
四九
四八
四一
三六
三三
三三
二五

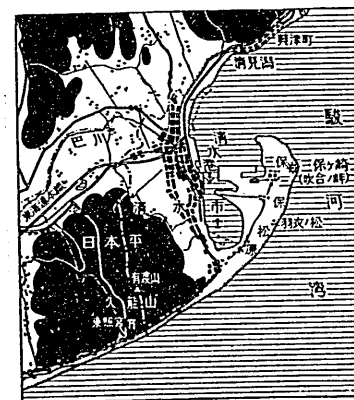


大 井 川 鉋 橋

大井川鐵橋

(下町城) は安倍川に沿ひ、茶の精製が盛であり、また漆器和紙をも産する。三保松原の砂嘴の内側には茶の輸出を以て知られてゐる清水の港市がある。

大井川河畔の島田は嘗て金谷と共に江戸時代の渡船場として榮えたが、今は製茶及び製材業が行はれてゐる。附近の濱名湖では養魚が行は

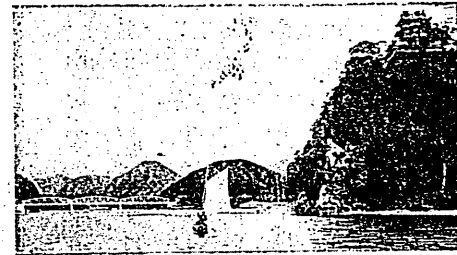


清水市附近の地形



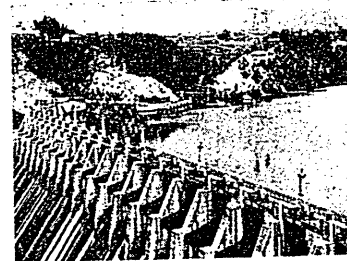
豊橋市と豊川

熱田神宮は草薙社である。
輪中 木曾・長良・揖斐の三大河川の多くは古來氾濫が多いため、住民は堤防を築いて土地と生命を保護した。その堤防は輪中を中を輪中と稱してゐる。
◆木曾川の大井発電所は巨費を投じて恵那峽に築堤を造り、発電せるもので、四萬三千キロワットと稱せられる。この築堤のために上流の峽谷は一大湖と化してゐる。



木曾川大井附近

軍事(第三師團司令部)交通商工業の要地である。紡織工業品(毛織物)を始め、陶器機械(飛行機)時計等の製造工業が盛である。なほ市には熱田神宮がある。一宮市は尾西の機業地で毛織物を産し、北東の山麓にある瀬戸市は製陶業を以て名高い。
岐阜縣 長良掛斐木曾三川の下流域は古來氾濫が多いので、住民は輪中を作つて農業を営んでゐる。縣政治の中心、岐阜市(舊城)は長良川に臨み、提灯淵市はモスリン綿絲を産し、また米の取引が盛である。近畿地方に通ずる關原の地は古戰場で知られ、不破の關址がある。岐阜市の東には各務原臺地があつて、陸軍飛行場となつてゐる。



大井發電所

◆善光寺平の千曲川と尾川との合流點には、川中島の古戰場がある。
◆菅平・松原湖などは冬季スキ・スケート場を利用される。



白馬岳

中央線に沿ふ多治見市・土岐津は製陶地で、中津は峽谷美で知られる恵那峽に近く、製絲業の中心である。飛騨高地の中心、高山市は春慶塗一位細工を産し、北方には神岡・鑛山(鉛・銅)がある。
長野縣 一般に高地をなしてゐるが、その中に小盆地谷底平野が分布してゐる。北部の諸盆地は、何れも養蠶製絲業が盛で、小諸・上田市はその中心をなしてゐる。碓氷峠近き輕井澤と山梨縣境の富士見とは高原避暑地として名高い。縣政治の中心、長野市は善光寺の門前町である。その東方にある須坂は養蠶製絲の一中心である。
松本 平西方の日本アルプス山麓の扇狀地には桑畑が多い。松本市(舊城)は繭の集散地で、製絲業が盛である。夏季には、大町・島島と共に日本アル



輕井澤より見た淺間山

◆岡谷の附近は繭の集散が盛んで、かつ水に恵まれてゐるので製絲業が發達した。

◆郡内地方と甲府盆地とを通ずる處に笹子峠がある。



水晶工場内部

プス登山の根據地となる。
諏訪盆地の岡谷市は我が國第一の製絲業地である。諏訪湖畔には冬季輸出向の寒天が製造される。
天龍川に沿ふ伊那谷は養蠶製絲が盛で、飯田はその中心である。木曾川流域の福島は木材の集散地で、その南方に寝覚床の勝地がある。



木曾谷

山梨縣 本縣の主要部は富士川上流の甲府盆地と桂川流域の郡内地方とである。縣政治の中心・甲府市(舊下町城)は甲府盆地に位し、製絲業が行はれ水晶細工葡萄酒の特産もある。盆地周縁の傾斜地には葡萄桑の栽培が多く、勝沼はその一中心である。葡萄は主として京濱地方に販路を有してゐる。七面山麓の身延は日蓮宗の本山・久遠寺に

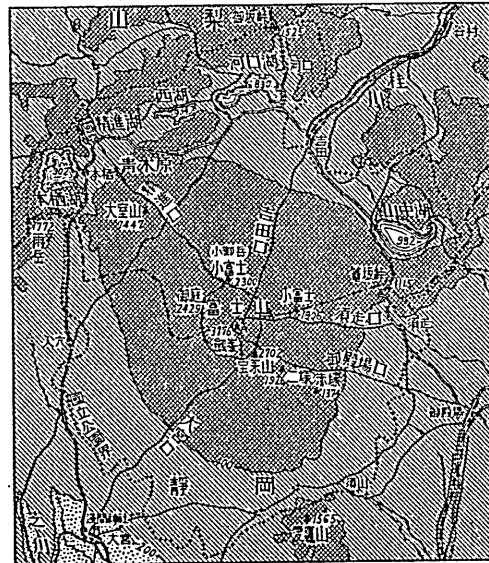
◆富士登山は主として大宮口、御殿場口、須走口、吉田口、精進口の登山路による。



寺遠久山延身

よつて發達した門前町である。
郡内地方、即ち桂川流域には處々に發電所があり、電力を京濱地方に供給してゐる。この地方は又、甲斐絹の産に名高く、谷村はその中心をなしてゐる。富士山麓の吉田は富士登山口の、一に當り、又富士五湖(河口・西湖・精進木橋)の勝地を控へて發達してゐる。

新潟縣 越後平野は名高い米産地として知られ、また丘陵地には油田が分布してゐる。縣政治の中



富士登山路

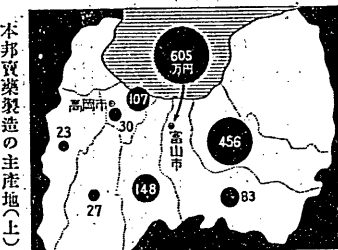


富山市より望む立山連峯

富山縣 神

通川・庄川などの河流によつてつくられた富山平野は耕地がよく開けてある。縣政治の中心富山市(舊城下町)は越中米の市場として知られ、また製薬を以て名高く、その賣薬は行商によつて廣く海外にまで販路をもつてゐる。高岡市は庄川と小矢部川との間に位し、東の富山と相對して米を集散し、また銅器漆器の産がある。その外港・伏木は港の設備もよく、北鮮三港と定期航路を結んでゐる。滑川・魚津・永見は漁港町として發達したものである。

(百万円)	0	5	10	15	20
大					
阪					
山					
長					
大					
富					
金					
奈					



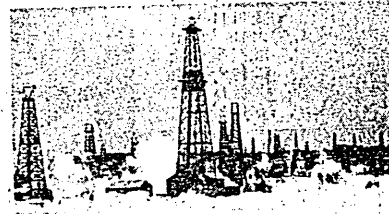
富山縣の賣薬製造高分布(市郡單位)



富山市の製薬工場内部



妙高のスキー場



越後油田

心新・潟市は古い開港場で佐渡の夷(兩津)を副港とし、北鮮三港との間に定期航路を開いてゐる。市はまた柏崎と共に製油地である。三條市・小千谷附近は山麓の機業地であり、長岡市は米の集散地である。直江津は海陸交通の要地として發達した町である。頸城平野の中心高岡市は舊城下町として發達した處で、妙高山麓の赤倉と共に深雪地で知られ、冬季にはスキーで賑ふ。佐渡島の相川は古來、金の産地として名高い。夷の良港は佐渡の東岸にある。

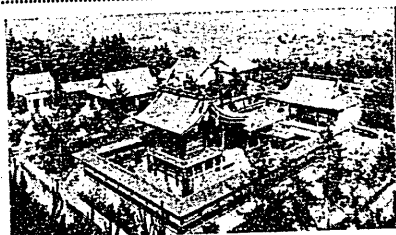


新潟港



新潟港

◆藤島神社は福井市にあり新田義貞を祀る別格官幣社である。



藤島神社

石川縣

丘陵性の能登半島には七尾(開港場)輪島の主邑がある。輪島は漆器の産で名高い。半島頸部の低地(巴知湖の地帯)には富士絹の産が多い。加賀平野に位する縣政治の中心、金澤市は前田氏の舊城下町で北陸第一の都市をなし學術軍事(第九師團司令部)の中心をなし、又羽



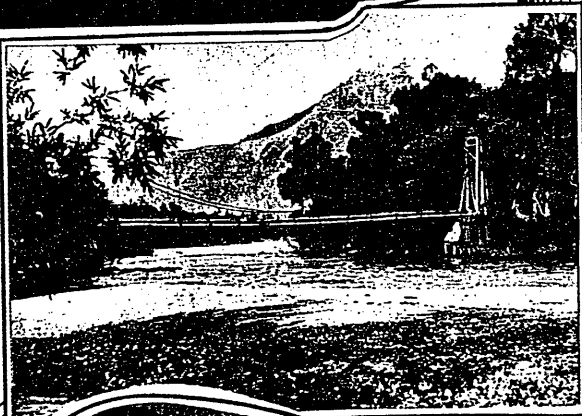
九谷焼加工場

二重九谷焼金澤塗の産がある。南西の小松・大聖寺は羽二重人絹織物等の機業が盛であつて、附近に山中山代などの温泉地がある。
福井縣 九頭龍川流域の福井平野は人絹織物絹紬羽二重等の機業地帯として著はれてゐる(之等の機物産額は福井縣が全國第一位)。縣政治の中心福井市(舊城下町)は大野・鯖江と共にそれ等機業の大中心である。市の内外には藤島神社・永平寺・東尋坊・芦原温泉などがある。西方の若狭灣岸はリヤス式の海岸をなし、敦賀・小濱等の良

日本アルプス(繪画)

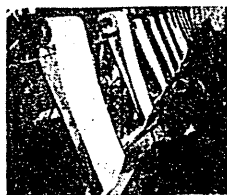


上高地の溪谷

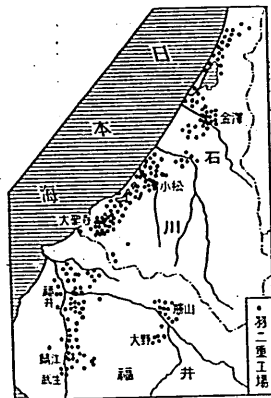


庄川發電所のダム





福井市にある輸出羽二重の検査所



羽二重工場の分布

らう。小濱は漁港として榮え、また若狭塗を産する。

〔福井石川の羽二重〕 福井縣の羽二重は殆ど輸出向のものである。石川縣で輸出向を専ら生産してゐるのは金澤市附近である。小松附近は輸出向内地向

とも産し大聖寺附近は内地向の高級品京羽二重をつくつて京都へ送つてゐる。近時羽二重の輸出が減少したので、此の地方の業者は人絹織物絹紬等の製織に轉じたものが多い。

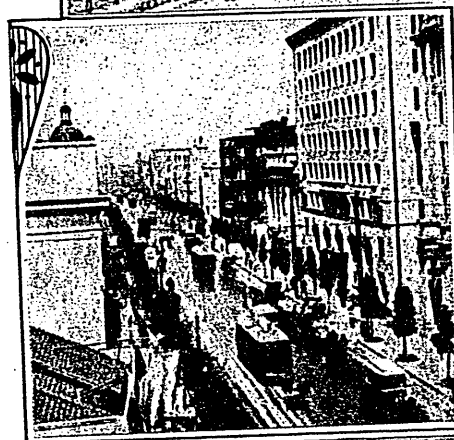
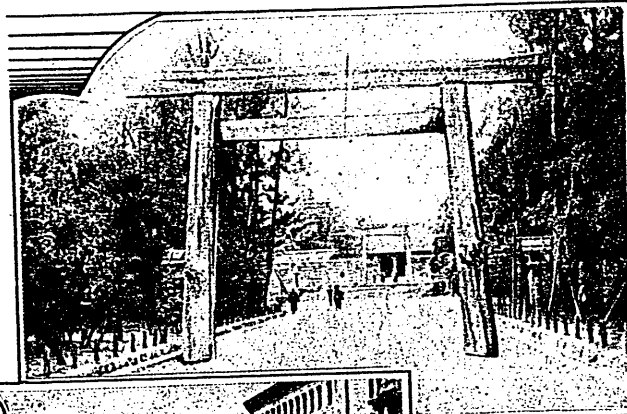


敦賀港

港が發達してゐる。敦賀(開港場)

は、北鮮とウラヂボストックに定期航路を出してゐる。なほ、この地は京阪神及び名古屋附近の工業地帯を後背地として、満洲との關係が深くなるであ

熱田神宮

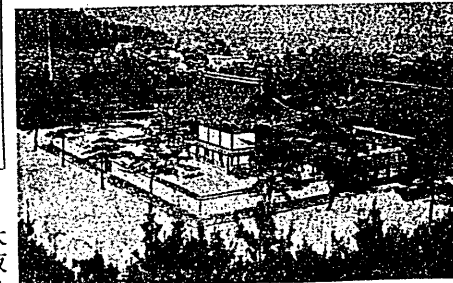


名古屋市街(廣小路通)

長良川の鵜飼



橿原神宮は、奈良縣高市郡高市町にあり神武天皇を祀る官幣大社である。



橿原神宮

第六章 近畿地方

密人面
度口積
二ガセ
三二九八六
二二九六六
七三三九八
八八八八

沿革 畏くも神武天皇が大和を御平定遊ばされ帝都を橿原の地にお奠めになつてから明治維新に至るまで帝都は本地方を出でず、永く政治文化の大中心であつた。都に鎮り給ひ、京都は舊都として今なほ御即位式を行はせられ給ふ所である。

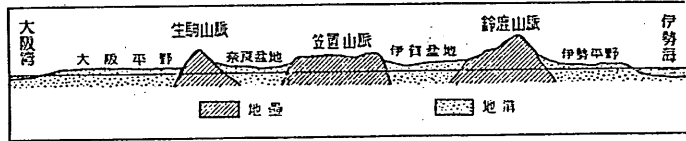
大阪は古來經濟の要都であつたがさらに神戸が開港場として發展をなすに至り、阪神地方は本邦商工業の大中心となつた。

一 地域・位置
本地方は京都・大阪の二府と、三



京都御所建禮門

(府縣名) 府所在地
三重縣 (津市) 伊賀・伊勢志摩紀伊一部
滋賀縣 (大津市) 近江
京都府 (京都市) 波丹後丹波大和
奈良縣 (奈良市) 紀伊大部
和歌山縣 (和歌山市) 河内・和泉攝津
大阪府 (大阪市) 播磨・但馬淡路丹波一部
兵庫縣 (神戸市)



山形断面圖

重滋賀兵庫奈良和歌山の五縣の占める地域であつて、我が國の略中央に位し、東は中部地方、西は中國地方に接し、北は日本海、南は太平洋に臨んでゐる。

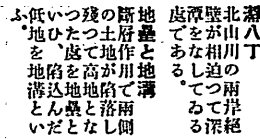
二 地形

本地方は地形上、北西部山地、中央低地、南部山地の三區域に分れる。

北西部山地 北西部山地は中國山脈を主軸となし、その東端が丹波高原である。この山地を由良川、朝來川等が北に流れて、處々に小盆地をつくつてゐる。なほ日本海岸には白山火山脈が通じ、玄武洞や城崎温泉がある。

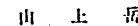
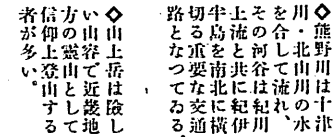
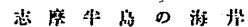


地形圖



比叡山上から見た琵琶湖

とは南北に和泉山脈は東西に走る地壘である。の間に近江京都伊賀奈良の諸盆地及び伊勢二平野が略東西に並列してゐる。近江盆地が國第一の琵琶湖があり、こゝに發源する淀都伊賀兩盆地の水(賀茂川桂川木津川)を集めて大阪平野に出て、奈良盆地より來る大和川と共に大阪灣に注いでゐる。伊勢平野は橿田川雲出川などの三角洲から成り、濃尾平野に連なつてゐる。



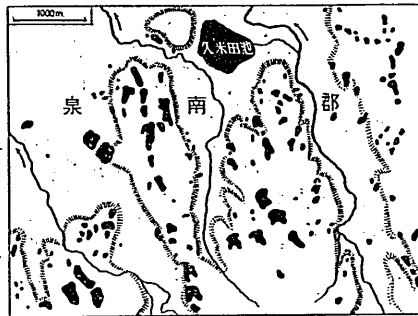
南部山地 紀伊山脈は伊勢海及び紀伊水道によつて赤石四國の兩山脈から切斷された山地で、中央低地とは紀川、櫛田川の縦谷によつて分れてゐる。脈中に彌山、山上岳、大臺原山等が聳え、深谷によつて峻險な山容を現はしてゐる。熊野川は横谷となつて南流し、瀨八丁の峽谷をつくつてゐる。

中央低地 中央部は瀬戸内海と伊勢海の陷没帶に挟まれた地方で、域内は斷層によつて數多の地壘と低地とから成つてゐる。鈴鹿比叡笠置、金剛等の諸山脈と、

中央部の高地と低地



府縣人口密度
(人口/平方km)
大阪府 三六
京都府 三六
兵庫県 三六
奈良県 二六
和歌山県 二六
三重県 二六

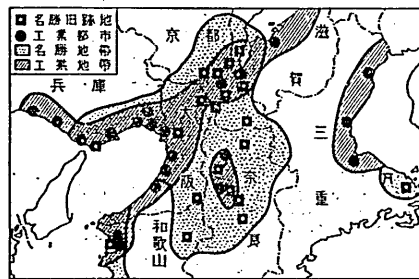


大阪府南部の溜池分布

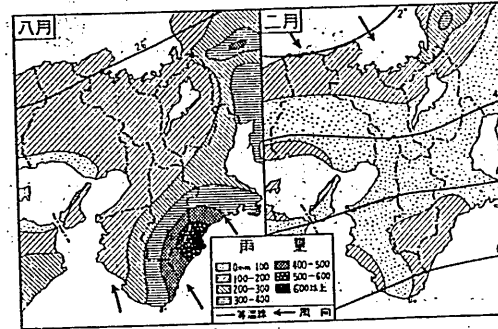
沿岸は、一般に降水量の少い瀬戸内海型の氣候である。内海斜面で灌漑用水を得るための溜池が多いのもこれによる。伊勢平野は、太平洋型の氣候を呈する。

四 住民・政治

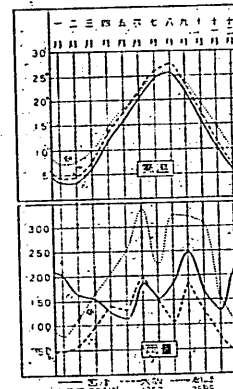
中央低地は永く我が國政治文化の中心であつた處であり、現在は大商工業が盛になつてゐるので、人口の密度が極めて大きい。殊に大阪灣沿岸の工業地帯は、京濱地方と共に我が國屈指の人口稠密地である。北西部山地の農牧地帯は地形氣候の關係で人口の密度は疎であり、且つ冬季、阪神地方へ酒造其の他の勞働に出稼する者が多い。南部山地は所謂山岳地方であるから、人口は極めて疎である。古來南部の地方民が海外に發展する特色を有してゐる。



中央部の名所舊跡地と工業都市



大阪府南部の溜池分布



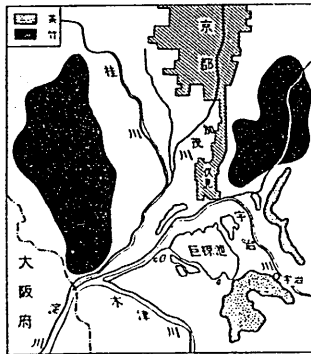
大阪の氣候

日本海斜面は、所謂日本海型の氣候で、冬には降雪が多い。南部の紀伊半島は、所謂太平洋型の氣候を呈し、夏には雨量が多く、冬も温暖である。故に沿岸には熱帯性の植物もあり、暖海性貝類の養殖も行はれる。中央低地の諸盆地は、稍大陸的の氣候が現れて、寒暑の差が大であり、瀬戸内海

海岸

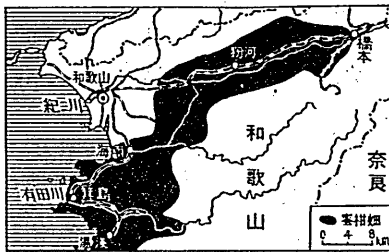
日本海岸には宮津灣、舞鶴灣及び與謝半島等の出入がある。太平洋岸(特に紀伊半島)には、リヤス式海岸がよく發達して岩濱がちである。が伊勢海、大阪灣及び播磨灘沿岸は砂濱つゞきである。大阪灣と播磨灘とは淡路島によつて分けられ、紀淡及び鳴門の兩海峡を以て外海に通じてゐる。

三 氣候



京都市附近の茶畑と竹林の分布

には蔬菜の栽培園藝も發達してゐる。茶は京都奈良の盆地及び伊勢平野の山麓臺地に多く、宇治茶は品質良好で知られてゐる。蜜柑は和歌山縣の有田川・紀川流域を主産地とし、大阪平野の南部丘陵地にも栽培



蜜柑の主産地帯

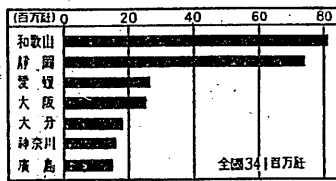
京都帝國大學
理・法・經・文・
七學部がある。
大阪帝國大學
理・工・農の三
學部がある。
◇蜜柑は温暖で
排水のよい傾斜
地に多く産する。

五 産 業

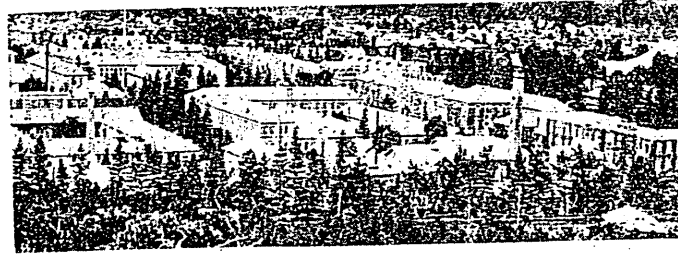
位置が良好で氣候も適當な上に、古くより文化地帯となつてゐるから各種の産業が盛で、我が國經濟の大中樞をなすに至つた。

農業

中央低地が主なる農業地帯である。この地帯では灌漑が行届き、良質の米を産する外に、裏作として麥・菜種も盛に栽培され、また都市の近郊



蜜柑の産額



京 都 帝 國 大 學

のは地形の關係によることが多い。行政上、二府五縣に分れる。軍事上、大阪（第四）、姫路（第十）、京都（第十一）には、各師團司令部があり、舞鶴には、海軍要港部が設けられ、また舞鶴附近及び紀淡鳴門の兩海峡附近は、要塞地帯となつてゐる。司法機關として大阪に控訴院がある。

教育 京都は學藝の都市として、東京と並び稱せられる。帝國大學は京都大阪にあり、又京都には府立醫科大學、大阪には市立商科大學、神戸には官立商業大學がある。其の他神宮皇學館（宇治）、女子高等師範（奈良）、高等工藝（京都）及び高等工業（神戸）、高等商業（山根和歌）、等農林（津）、高等蠶絲（京都）、高等商船（神戸）、外國語（大阪）、高等學校（京都、大阪）が設置されてゐる。以上の外、公私立の各種の大學専門學校及び高等學校が京阪神及びその附近にあつて西部日本の文化の中心地として重きをなしてゐる。



大阪帝國大學醫學部

大阪府の葡萄畑
金剛山脈の西斜
面の日照のよい
處に多い



大阪府の葡萄畑

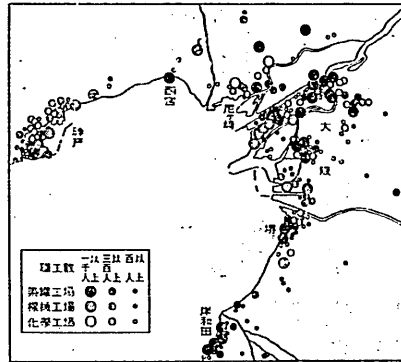
が盛である。葡萄は大阪府に盛である。養蠶は京都府兵庫
縣の北西部の山地に行はれる。
牧畜 北西部山地には牛の飼育が盛で、但馬牛の名が高
く、耕作用の外に附近の各都市へ肉食用として供給されるも
のが多い。

林業 南部山地の温暖多雨な地方は森林がよく繁茂し、吉
野熊野地方は杉檜等の良材を出し、紀川熊野川の筏によつて、
和歌山新宮に運ばれて、製材に供せられる。丹波山地には杉
材薪炭を出し、京都盆地には竹
材筍の産出がある。

水産業 太平洋沿岸は暖海性の魚
族に富み、熊野灘附近には鰺、鰯、鰹等が
獲れ、瀬戸内海には鯛、鰻が多い。志摩
半島の英虞灣五箇所灣には、真珠貝の



紀川上流の筏流

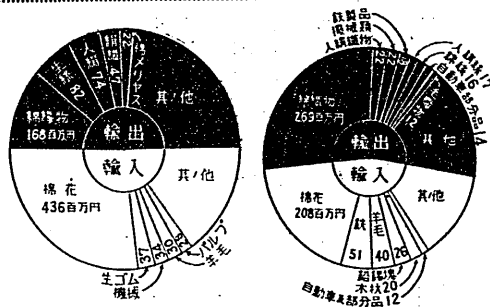


阪神地方の工場分布

養殖が行はれ、播磨灘沿岸には赤穂を中心と
して製鹽業が行はれる。琵琶湖には鯉、鮒、鮎
の淡水魚が養殖される。
鑛業 鑛業は他地方に比べて甚だ振はな
いが生野に金銀銅鑛を産し、瀬戸内海の直島
(香川縣)製鍊所に送る。明延には銅錫の産があ
り、その錫は我が内地産額の
過半を占めてゐる。
工業 京都を中心とする
古き工藝的工業と、阪神地方の新式大工業との二つ
に大別される。阪神工業地帯は、大阪神戸を中心に、
西は姫路より、南は和歌山に續く海岸地方である。
この地帯は位置が良好で交通が便利のため、原料動
力及び勞力が共に得易く、且つ住民が企業心に富ん



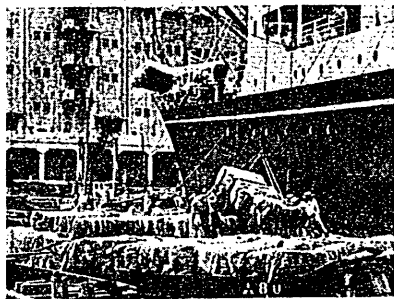
志摩半島英虞灣の真珠貝の採取



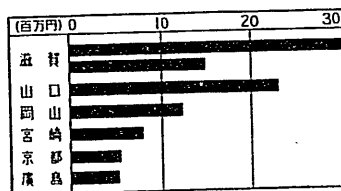
神戸港の貿易品比較

大阪港の貿易品比較

入し、大阪港は綿製品の輸出が多いのを特色とする。四日市港は名古屋工業地帯を後背地とし、綿布の輸出が盛である。宮津は日本海方面の開港場であるが、餘り振はない。



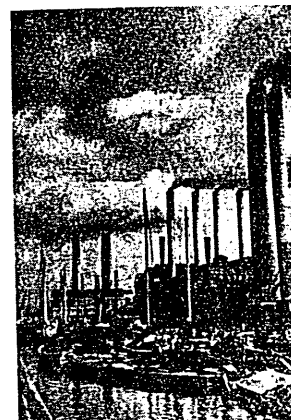
神戸港の棉花の陸揚げ



人造絹絲主産地

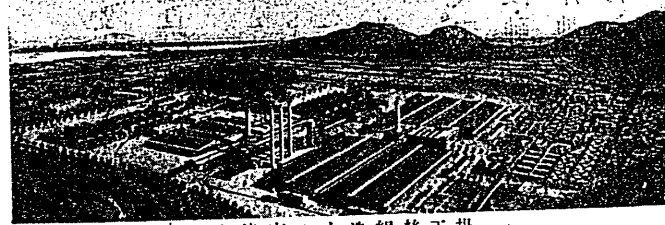
附近に生産され、メリヤス、毛織物等は大阪市の北部より尼崎附近に多い。其の他機械金屬船舶化學製品（肥料セルロイド硝子セメ）等の製造工業は大阪神戸兩市及びその附近に盛である。伊勢海沿岸地方には津、四日市、松阪の各市を中心に綿絲、綿織物の産出が多く、又、大津及びその附近には人造絹絲が生産される。京都は古來工藝的の工業が盛で、西陣織、友禪染をはじめ、陶器、漆器、佛具

大阪市附近は、瀬戸内海の水路によつて北九州と炭を廉價にもとめ得る。大津市附近は、湖の水を豊富に得られるから人造絹工業が発達した。

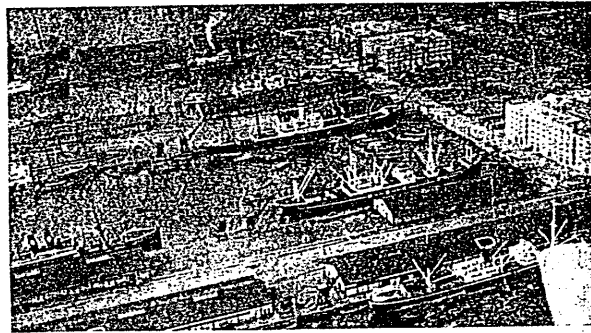


大阪市工業地帯の一部

てゐるから目覺しく發達したのである。特に紡織工業が著しく、綿絲紡績は大阪及びその附近に盛で、綿織物は岸和田、和歌山

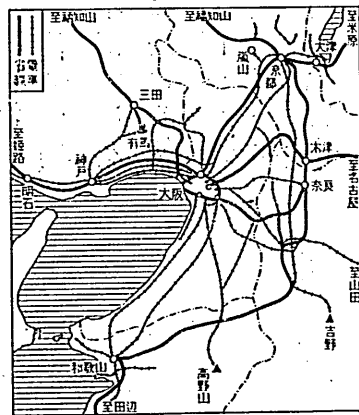


大津市の人造絹絲工場



神戸港（大船の岸壁横濱のさま）

ある。紀伊半島には沿岸航路が開けて陸上の不便を補つてゐる。伊勢海



阪神附近の鐵道網

大阪京都神戸などの都市附近には、高速度電車がよく發達し、都心と郊外の居住地及び名勝地とを連絡して著しい利便を與へてゐる。丹波山地には山間の盆地を連ねて交通線が通じてゐるが、南部山地は地形が高峻なため、陸運は未だ十分でない。

水上交通

琵琶湖には汽船の往來の便があり、淀川

は古くより利用された

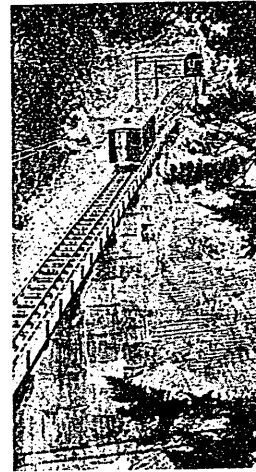
交通路である。海上交

通では瀬戸内海方面が

最も盛で、神戸大阪の二

大開港場を中心に内外

各地への航路が通じて



北叡山のケーブルカー

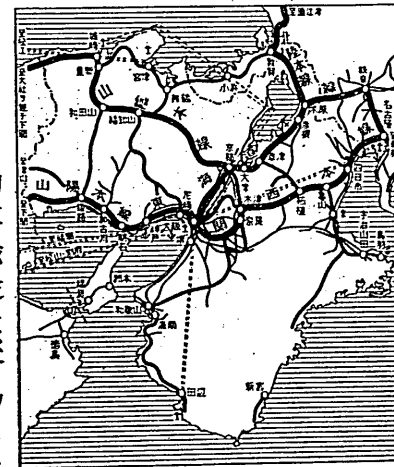
◆紀勢線が全通すれば和歌山縣沿岸地方の交通は便利となるであらう。
◆ケーブルカーの發達してゐることは全國に其の比を見ない。主なるケーブル登山地は朝熊山・北叡山・愛宕山・信貴山・生駒山・六甲山・摩耶山・高野山等である。

六 交通

陸上交通

中央部は交通網の密な地帯である。京都は、古來帝都として東海道・山陽道・北陸道・陰道など諸街道の集中點をなし陸上交通の中心であつた。然るに今日に於ては、大阪が經濟的發展によつて交通網の一大核心となつてゐる。殊に道路の完成によつて自動車輸送は、容易となり、

大阪を中心として名古屋・岡山方面へも頻繁に行はれてゐる。本地方の主なる鐵道は、東海道本線と山陽本線とであつて、之に北陸本線・關西本線・山陰本線・宮津線・播但線・奈良線と歌山線・紀勢線・參宮線等が相接續してゐる。



鐵道圖

◆大阪飛行場は
大阪市中の木津
川尻にある。

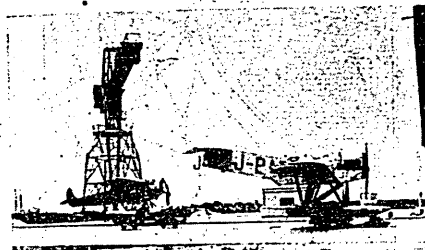


宇治橋
水清き五十鈴
川に架せられ
参道の入口であ
る。

沿岸では四日市が航路の中心である。日本海岸
では舞鶴・宮津の二灣以外は海岸の出入が少く、且
つ冬季風波が荒いたため、海上の交通は不便である。

航空通信

大阪は南西日本に於ける航
空路の中心で、東は東京へ、西は福岡への東
西航空路が通じ、朝鮮各地や、大連及び臺北
へは直通航空路の便もある。その他、富山・
城崎・松山・白濱などへも通じてゐる。また
大阪無線電信局は、滿洲との間に通信を交換してゐる。

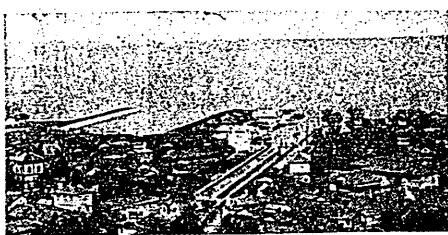


大阪飛行場

七 處 誌

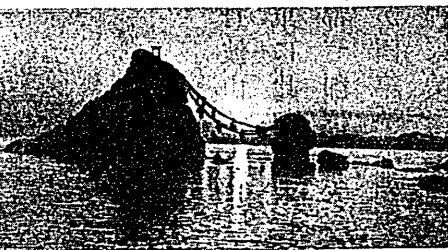
三重縣

伊勢海沿岸の低地は、雲出・櫛田・宮川などが作つた
三角洲で、米・菜種を産し、臺地には茶及び桑の栽培が行はれる。
桑名は木曾川河口に近く、米の取引が行はれ、四日市・市津市(縣政
市)は、何れも綿工業地で、名古屋工業地帯に接續してゐる。なほ四日



◆宇治山田市の
北方に明野原の
陸軍飛行場があ
る。熊野灘に面す
る尾鷲は漁港で
ある。
神宮
天皇大神宮は、
受大神を祀る。

市はこれ等の工業地帯を後背地として、棉花を輸
入し、綿絲・綿布を輸出してゐる。龜山は舊東海道
の一驛で、こゝから鈴鹿峠を越えたものであるが、
今は参宮線の分岐點となつてゐる。宇治山田市
には神宮があり、附近に二見浦・朝熊山の勝地があ
る。志摩半島は、沈降海岸で出入が多く、鳥
羽・波切等の漁港がある。伊賀盆地の中心
は上野で、伊賀焼を産する。

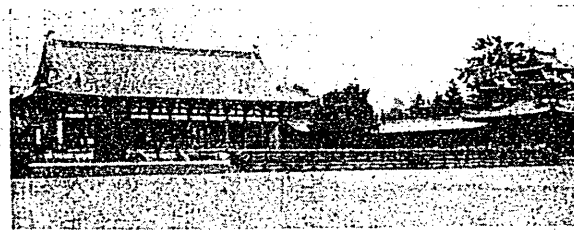


二 見 浦

滋賀縣

東に伊吹山、西に比良・比叡の連
山を繞らし、盆地の中央には琵琶湖がある。
湖北には養蠶が行はれ、その中心の長濱は縮緬を産し、米・原
は交通の要地である。湖東の平野は、愛知・野洲川などの作つ
た三角洲で、米・菜種の産が多い。彦根は舊城下町であつて、古
來江州米を集散する。近江商人の郷土たる日野や八幡は、蚊

◇八日市には陸軍飛行場がある



平安神宮

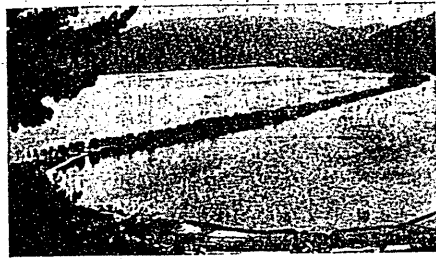
帳・麻織物の産地である。縣政治の中心大津市は、琵琶湖の湖尻に位し、湖上交通の起點であり、市の内外には人造絹絲工業が行はれ、全國第一の産額を有する。比叡山には天台宗の本山、延暦寺がある。

〔琵琶湖〕 周囲二百四十軒水面の高さ八十六米の處にあり、湖水溢れて瀬田川となり、さらに宇治川となつて、京都盆地に入る。琵琶湖からは別に京都へ疏水運河を通じてゐる。湖南の地方は風景がよく、近江八景の勝地として特に名高い。

京都府 南東部の京都盆地と北西部の丹波山地とに分れる。京都市(府政庁)は京都盆地の北部を占め、東に比叡山、西に愛宕山を望み、加茂川に跨がる山紫水明の古都で、即位の大禮は今もこゝで行はれる。名所史蹟に富み、我が國第一の觀光都市として内外人を聚めてゐる。市はまた古來美術工藝品の



長濱の絹織工場内部



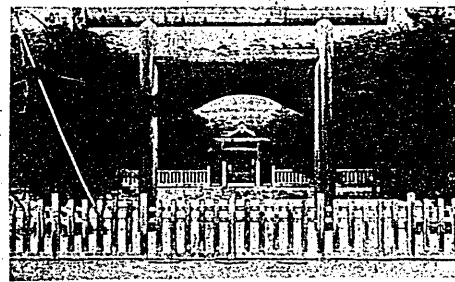
天の橋立

平安神宮 平安神宮は桓武天皇を祀る官幣大社である。◇盆地周縁の空地には茶畑・竹林があり、銘茶と竹・竹材とを産する。

産地として西陣織・友禪染・清水焼等を産する。また宗教學術の中心をなし、東本願寺・西本願寺・知恩院など、多くの本山があり、京都帝國大學をはじめ、數多の學校がある。市の南部の伏見には伏見桃山御陵がある。宇治は宇治川河谷の

出口にあり、茶の名産地で、大發電所・人造絹絲工場もあり、また木津川畔の笠置山と共に史蹟として世に聞えてゐる。丹波山地の山間盆地には、養蠶製絲が行はれ、綾部や福知山がその中心をなしてゐる。若狹灣岸の舞鶴は、日本海唯一の海軍要港であり、宮津は開港場である。景勝地、天の橋立は、宮津の北西にある。

奈良縣 南部は山地であるから人口密度は疎である。北西部の奈良盆地は古くより開けて人口が稠密である。



伏見桃山御陵

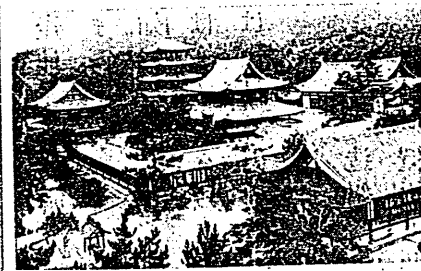
春日神社
天兒屋根命の
外三神を祀る官
幣大社である。
吉野及び大峰
山・大森原山は
国立公園である。

法隆寺の寫眞
には飛鳥時代の
様を聚めた金堂
五重塔・中門が
見えてゐる。

極原神社
神武天皇・五
十鈴媛命を祀る
官幣大社である。

多武峯に藤原
鎌足を祀る別格
官幣社談山神社
があり、關西日
光の稱がある。

眞言宗の總本
山は金剛峯寺で
ある。



法隆寺

奈良盆地の北東隅にある。縣政治の中心奈良市は奈良朝の帝都の地であつて、春日神社、東大寺などの古社寺があり、京都市と共に我が國に於ける主なる史蹟地である。古の平城京は今は市の南西郊となつてゐるが、藥師寺、唐招提寺、法隆寺などの堂塔は、一千年の姿をそのまゝに傳へてゐる。附近の郡山は金魚を産する。畝傍山麓には神武天皇の御陵及び極原神社がある。南部の紀伊山地は、杉の美林を以て蔽はれ、櫻の名所吉野山は、吉野朝の史蹟に著れ、南方には十津川流域の別天地がある。



春日神社

和歌山縣 紀伊半島の南西部を占め、紀川の流域以外は大部分山地である。眞言宗の本山

熊野三社
本宮・宮幣大社
新宮・宮幣大社
那智・宮幣中社



山濱湯崎

である高野山には四時を通じて參詣者が多く、平坦な山頂には金剛峯寺の門前町として發達した高野山がある。紀川下流の三角洲上に發達した和歌山市(縣政治の中心)は、徳川親藩の舊城下町で、古くから綿ネルを産し、また木材の集散地で、製材業も行はれてゐる。市の南部には和歌浦の勝地がある。海南市には黒江塗を産し、箕嶋湯淺は有田川流域の蜜柑の集散地である。白濱湯崎は新興の温泉地として發展してゐる。潮岬は本州の最南端にあり、串本は漁港である。熊野川河口に臨む新宮市は木材の集散地で、附

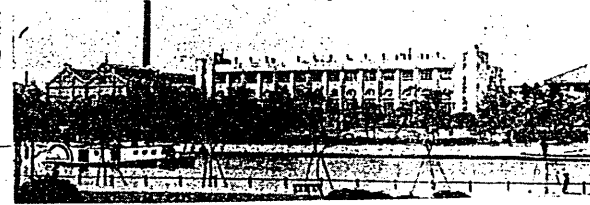


有田川の蜜柑畑



高野山町

造幣局
市内を貫流する淀川に沿うて建てられ、我が国唯一の貨幣製造場である。

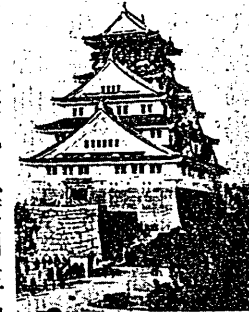


造幣局

近に熊野三社及び那智瀧がある。

大阪府

大阪平野の北部は淀川の三角洲から成り、南部の大和川



大阪城址

以南には臺地丘陵が横たはつてゐる。大阪市(府政庁)は大阪灣頭に位し、南から延びた

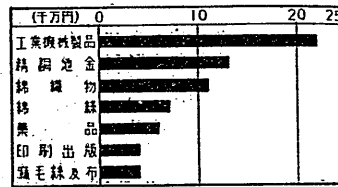
狭長な臺地と、淀川三角洲の低地の上に發達した市街で、古くより經濟都市として榮えて來たものである。今は人口三百萬を有する我が國の代表的商工都市であつて、世界に於ても重要な地位を占めてゐる。臺地上には大阪城趾、四天王寺、高津宮などの名所があり、住宅地をなし、淀川三角洲の低地は商工業地帯をなしてゐる。



大阪港

◆六甲山には平坦な山頂面があり、阪神兩市民の山の遊樂地として登山路がよく開けてゐる。
◆寶塚・有馬は阪神の休養遊覽地として賑はつてゐる。

◆郊外の箕面・濱寺は市民の遊覽地となつてゐる。



大阪市工業生産別



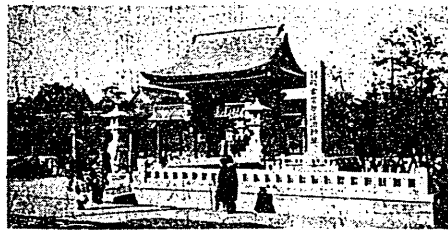
大阪の紡績工場

市の北部より西部にかけての低地には淀川の本支流が分流し、運河網が之と連絡して所謂水都の觀を呈する。この地域は大阪港とも水路が相通じ、理想的な工業地帯をなしてゐる。綿絲紡織及び各種の大工場を始めとして、造兵廠、造幣局等もあり、煙の都の名に背かない。大和川河口の堺

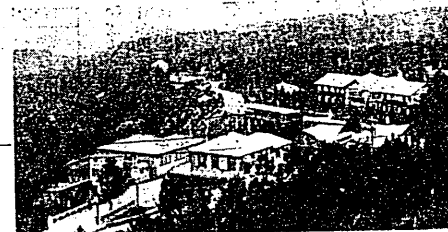
市は、古い貿易港であるが、近來工業都市として綿織物、足袋、叉物等を産出する。南部の和泉地方は綿織物の生産が多く、岸和田市は其の中心をなし、綿絲紡績も盛である。大阪平野の東部南部には四條、畷、赤坂、城址、千早、城址など楠公の史蹟が多い。

兵庫縣

阪神工業地帯には尼崎市、伊丹市、西宮市、御影、神戸市、明石市等の工業都市が並んでゐる。



湊川神社

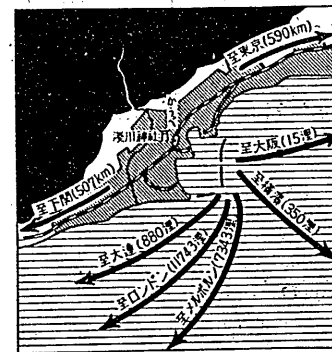


六甲山頂

六甲山頂
この写真は、ロ
1フウエイの終
點附近で、山上
ホテル及び下ラ
イヴエイ等が
見える。

市は紡績硝子等の工業が興り、西宮市御影は灘地方の中心で伊丹と共に造酒の盛なことは全國第一である。六甲山南麓の扇状地は、排水が良く氣候温暖であるから、阪神間の代表的住宅地帯として發展してゐる。神戸市は六甲山下の扇状地に發達した港市である。港灣の設備がよく整ひ、南西日本の大貿易港として棉花鐵などを輸入し、生絲絹布綿布などを輸出し、その貿易額は我が國第一位を占めてゐる。また船舶機械ゴムマツチ等の工業も勃興してゐる。市内に楠木正成を祀る湊川神社がある。市の西部を占める須磨は舞子と共に明石海峡に臨む景勝地で、阪神地方の保養地帯となつてゐる。

播磨灘沿岸は加古川市川等の下流低地で、東部の臺地には溜池が分布し、水田が開



神戸港



吉野山(上の千本附近)

那智滝

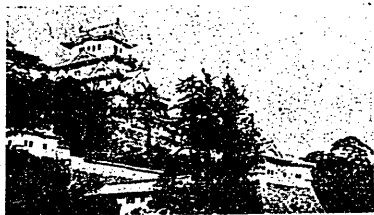


玄武洞



都市人口

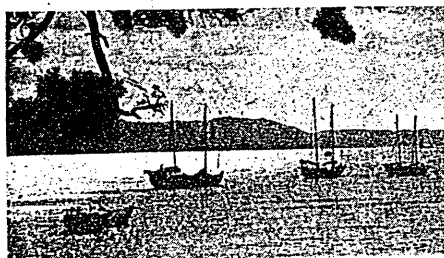
千人 二九〇 一〇八一 九一二 一八〇 一四一 一二六 九一 九〇 七二 六六 五八 五六 五二 四三 三九 三五 三三 三〇



姬 路 城

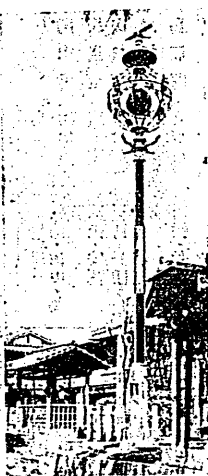
邑で、綿・絲・淡路焼を産する。

油を産し、赤穂は製鹽で知られてゐる。中國山地の北部には養蠶、牧牛が行はれ、また生野には銀銅を、明延には錫を産する。朝來川の流域には柳行李を産する。豊岡と、湯の町として發達した城崎とがある。洲本は淡路島の主



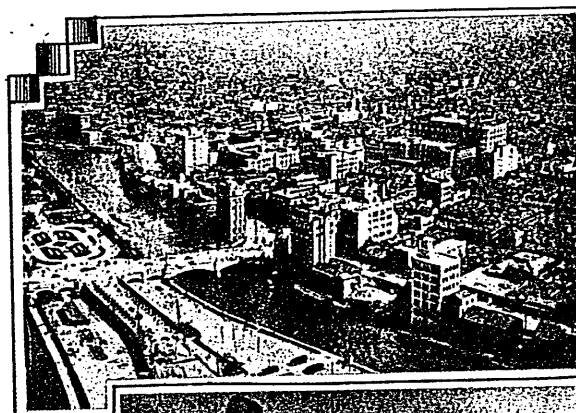
明石海峡の風光

工業が行はれ、また、綿絲毛絲の工業も盛である。高砂及び龍野は醬

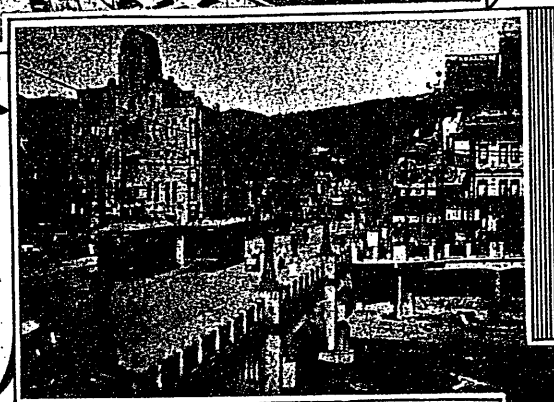


中央標準時標

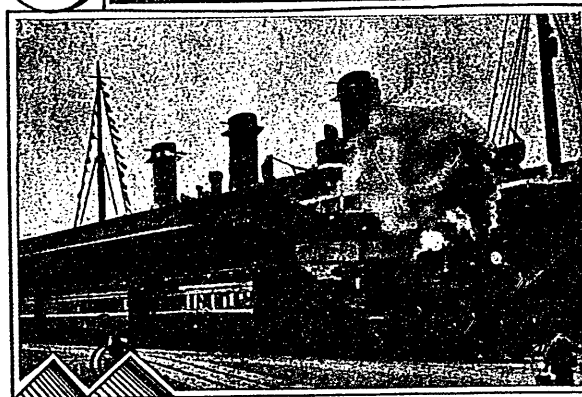
けてゐる。中央標準時の子午線が通ずる明石市は綿絲の産があり、加古川は毛織物業が行はれてゐる。姫路市は播磨平野の中心で、舊城下町として發達したもので、現在は皮革



大阪市街(中の島附近)



京都市街(四條大橋附近)



神戸港に於ける船車連絡

出雲大社
大國主命を祀る
官幣大社である
崇神天皇の御代には丹波道主命を山陰道に吉備津彦命を山陽道にお造はしにまつてこの地方を治めしめられた。

(府縣名) (廳所在地)
岡山縣 (岡山市) 備前 備中 備後 安藝
廣島縣 (廣島市) 周防 長門
山口縣 (山口市) 出雲 石見 隱岐
島根縣 (松江市) 因幡 伯耆
鳥取縣 (鳥取市)



社 大 雲 川

第七章 中國地方

人口 三一六七九方
面積 一五七六萬方
人口密度 二一七方

沿革 本地方は古への山陰道山陽道と稱せられた地である。山陰道は大國主命の御經營によつて出雲文化の開けた處で早くより朝鮮との交通が行はれてゐた。山陽道は瀬戸内海を控へてゐるので古來西國及び大陸方面と畿内との通路として重きをなしてゐた。特に長州はその要衝に當るので、我が國貿易の中心となつたこともあり幕末には尊王攘夷に活躍した。

一 地域・位置

本地方は本州の西端に突き出た半島部と、瀬戸内海の一部の島々及び日本海上に浮ぶ隠岐諸島とを含んで、岡山・廣島・山口・島根・鳥取の五縣の占める地域である。北は日本海に臨み、南は瀬戸内海を距てて四國地方と相對し、



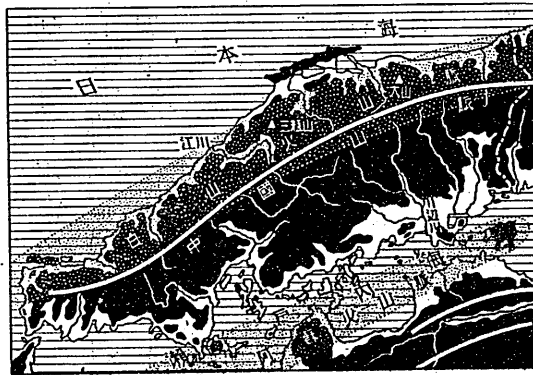
山 大

東は近畿地方に接し、西南端は呼べば應へん許りの下關海峡を距てて九州地方と相望んでゐる。

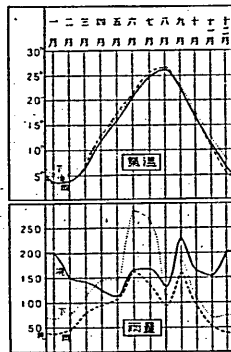
二 地形

山地 一般に高原狀の中國山脈は本地方の中軸をなし、その分水界は稍北に偏して東西に走り、山陽山陰の兩斜面を分つてゐる。白山火山脈はその北を通じて大山・三瓶山等を噴起し、脈中に三朝東郷などの温泉が湧出してゐる。

平地 山陽方面は山陰方面に比べて斜面が廣く、高原中に津山勝山及び三次の盆地があり、吉井川・旭川・川邊川の下流には岡山平野が開け、



地 形 圖



気 象 図

山陽方面は山陰方面より人口の密度が大きい。それは山陽が山陰に比べて平地が廣く、海岸線

四 住 民・政 治

の發達が妨げられることが多い。いので降雪が多く、そのため人文

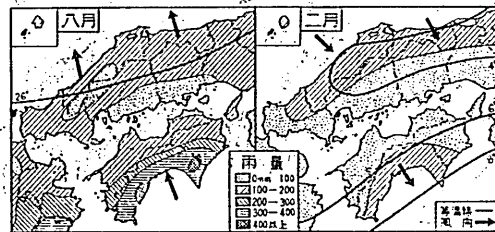
瀬戸内型氣候の特徴を示して、人文の發達に好影響を與へてゐる。山陰方面は溫暖であるが、冬季には北西季節風が強いので降雪が多く、そのため人文

三 氣 候

ある外は、一般に單調である。西部の海岸の如きは岩濱が多く、鳥取縣の海岸には砂丘が続いてゐる。鳥嶼には隱岐諸島のほかには著しいものがない。



鳥 取 海 岸 の 砂 丘



気 象 図

◆永年の風化侵蝕の結果、山頂には平坦面が多く、高原内には小盆地が發達してゐる。



中 國 山 地 の 高 原

海岸 瀬戸内海岸は兒島半島、兒島灣、廣島灣等を始め、極めて多くの出入に富み、海上には大小幾多の島嶼が散在する。之に反して日本海岸は、島根半島の内側に、夜見濱の砂嘴に包まれた中海が

又太田川の下流には廣島平野の三角洲が發達してゐる。三又盆地を流れる江川は、分水界を横切つて日本海へ注いでゐる。山陰方面には島根半島との間に、斐伊・神門・兩川の三角洲が横たはる。その東方には天神川流域の小平倉・吉平野、千代川流域の鳥取平野等の小平野が分布してゐる。本地方の河川は概ね短かく、且つ氾濫する憂が多く、又、一般に花崗岩の山地が多い上に、森林が少いから、降雨に由る土砂の崩壊とその流出が夥しい。瀬戸内海岸は兒島半島、兒島灣、廣島灣等を



宍 道 湖 附 近 の 地 形



大山山麓の牛馬市

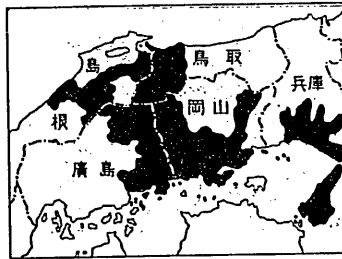
◇備前米・防長米は品質が良好である。
◇児島灣岸には多く干拓地を増加してゐる。

五 産 業

本地方の主産業は農業で、牧畜・水産工業が之に次いでゐる。

農業 各地に分散する小平野盆地を始め高原の谷・山腹の傾斜地まで農耕に利用されてゐる。中にも山陽方面には米産地が多く、麥の裏作も行はれ、岡山平野はその最も盛な處である。岡山縣の西部より廣島縣の東部に互る沿岸低地には、蕎麥を産する。なほ本地方には一般に果實の産が多く、特に岡山・廣島兩縣の桃・柿・蜜柑、山口縣の夏橙・鳥取縣の梨は世に名高い。

牧畜 中國山地は高原の平坦面に原野が多いので、内地に於ける主要牧牛地帯となつてゐる。殊に三次・津山の兩

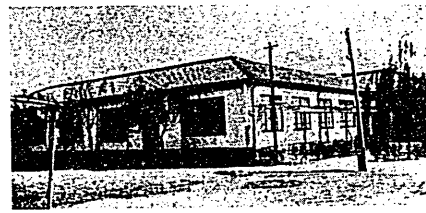


牛の主産地



児島灣の干拓地

縣別人口密度 (平方人)	廣島	岡山	山口	島根
二	三	一	二	三

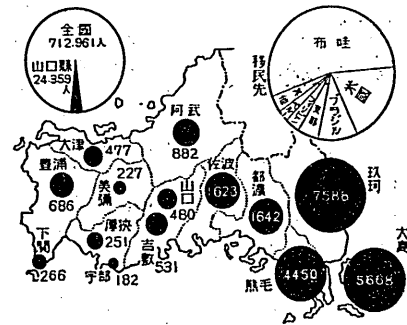


倉敷の農業研究所

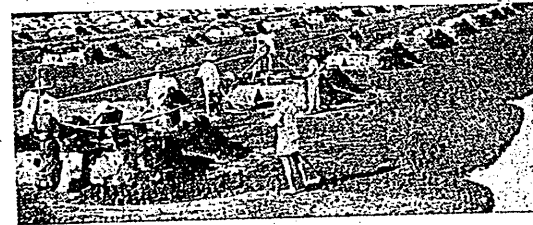
の出入も極めて多く、且つ氣候が良好で、交通も至便であり、産業もよく發達し、都邑が多いからである。殊に内海の沿岸には工業が勃興し、製鹽業も盛であるから、人口の密度が非常に大である。本地方中、廣島・山口の兩縣は、海外移民の多い地方として世に知られてゐる。

本地方は、行政上五縣に分れてゐる。また軍事上、廣島市に第五師團司令部が置かれ、吳軍港に第二海軍鎮守府があり、廣島灣附近及び下關海峽は要塞地帯となつてゐる。なほ司法上、控訴院が廣島市にある。

教育 文理科大學・高等師範學校が廣島市に、醫科大學が岡山市にある。其の他、高等工業學校・高等商業學校・高等農業學校・高等學校（岡山・廣島・山口・松江）海軍兵學校（江田島）等が各地に設けられてゐる。なほ倉敷市には農業及び科學の二研究所と天文臺とがある。



山口縣の海外移民

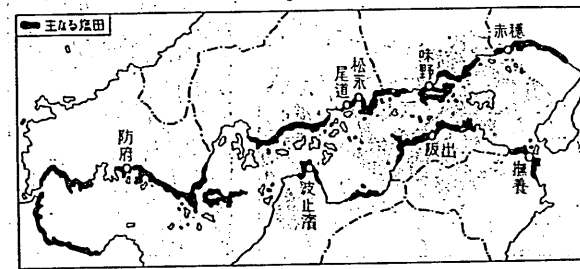


三 田 尻 の 鹽 田 (防府市)

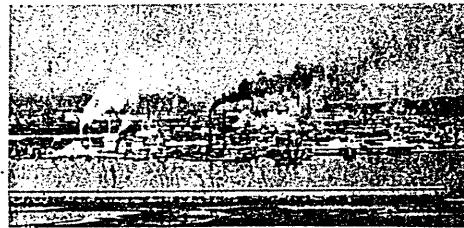
盆地及び大山山麓は牧牛の中心地帯である。多く肉用として他府縣へ移出され、また廣島では牛肉罐詰の製造も行はれる。

水産業

瀬戸内海は春夏の交産卵のため、外海から魚族が集まるので、鯛、鰻、鱈等の漁獲が多い。廣島灣には牡蠣、海苔の養殖も行はれる。日本海には鳥賊が獲れ、隠岐諸島はその主産地である。又、山口縣も盛で、朝鮮近海東支那海への出漁船が多い。そのため、下關港は我が國主要の漁港として榮え、鮮魚の大集散地となつてゐる。瀬戸内海沿岸は遠浅な上に、潮汐干満の差が大であり、加ふるに雨量が少く晴天が多いから本邦無比の製鹽地として、夙に十州鹽田の稱がある。こ



瀬戸内海沿岸の鹽田分布

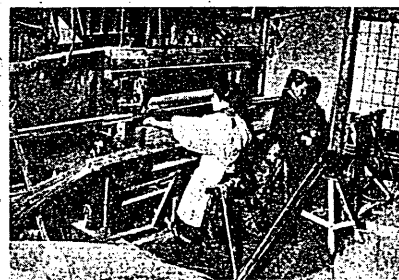


小野田のセメント工場

(万円)	0	2	3	4
山島分岡本川				
西廣入静島石				
内地總額			13	百万円

産 表 の 産 額

の地方では味野松永防府(三田尻)等が中心となつてゐる。
鑛業 山口縣の宇部大嶺には炭田があり、大嶺は徳山の海軍燃料廠に送られる。秋吉臺からは大理石及び石灰岩(セメントの原料)を産し、内海沿岸には至る所、石材として花崗岩を切出してゐる。



備後表(産表)の製織

工業

山陰方面の工業は餘り振はないが、山陽方面は交通の便があり、人口も多いので、近時大工業が興つて來た。岡山倉敷福山の三市には綿工業が盛であり、また廣島三原麻里布(附近)等には人造絹絲工業が勃興し、呉海田市の造兵工業、徳山宇部一帯の化學工業等は著しいものである。家内工業として

千人
三二〇
三三一
三六六
三三三
七七
五八
五五
四四
三七
三六
三五
三四
三三
三二

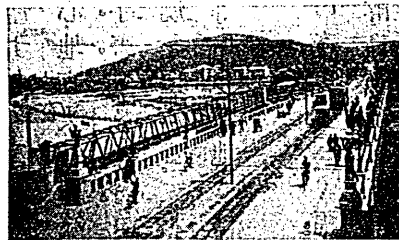


閩釜連絡船（下關要塞司令部檢閲済）

諸港間との交通が頻繁である。日本海方面は良港灣に乏しく、且つ冬季は風波に妨げられて一般に振はない。

七處誌

岡山縣 地形上、南部の岡山平野と北部の山地とに分れる。岡山平野は耕地よく開け、兒島灣岸の干潟（干潟）の如きも干拓されて美田となり、良米を産する。縣政治の中心、岡山市は旭川に跨がる舊城



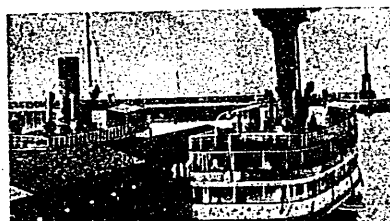
閩 山 市 街

の幹線に連絡してゐる。陰陽連絡は因美^{イビ}伯備山口美禰^{ミミ}の四横斷線によつて相通じてゐる。姫津作美三神の三線と藝備鐵道とは相連つて中國高原中を東西に走つてゐる。

水上交通 瀬戸内海は海波靜穩で、古來重要な水路となり内外諸航路の航路網が極めて密である。特に大阪神戸を起點として本地方及び四國地方の瀬戸内海沿岸並に北九州の

水上交通

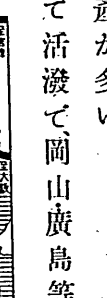
内外諸航路の航路網が極めて密である。特に大阪・神戸を起點として本地方及び四國地方の瀬戸内海沿岸並に北九州の



關門連絡船 (下関要塞司令部檢閲済)

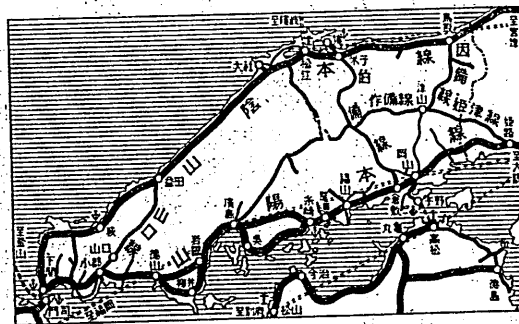
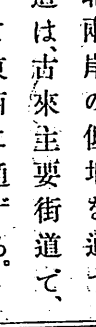
は岡山廣島の特産たる麥稈眞田疊表花筵の産が多い。

商業 山陽方面の商況は、山陰方面に比して活潑で岡山廣島等は地方商業の中心となつてゐるが、概して大阪の商圏に屬してゐる。外國貿易には宇野尾道系崎徳山下關萩濱田境の七開港場があるが、主に神戸港を経由する。下關は水産物の取引港として特殊の發達をしてゐる。



六交通

陸上交通 南北兩岸の低地を通ずる山陽山陰の兩道は、古來主要街道で、鐵道も略之に沿うて東西に通ずる。瀬戸内海沿岸を走る山陽本線は、その側線である柳井線吳線とともに我が鐵道幹線の一部をなし、鐵道連絡航路によつて四國・九州・朝鮮



鐵道



廣島の大本營

下町で米・蠶・表花・苧の集散地であり、綿・絲・綿織物を産する。西方の倉敷・市玉・島笠・岡も共に綿工業地帯で、川邊川流域の中心地。高梁は花・苧・麥稈・眞田の集散が盛である。兒島半島には宇野（開港場）・味野（製鹽地）等があり、東方の三石は煉瓦・伊部には備前焼を産する。北部山地の高原には牧牛が盛であり、津山・勝山等の小盆地には水田が開けてある。津山市は生絲を産する。

廣島縣 南東部の福山平野は蠶・表花・苧の産が多い。福山市尾道市はその中心市場である。鞆は仙醉島を控えて、風光に富んだ港町である。絲・崎は尾道と合して開港場をなし、肥料・蠶表の取引が多い。

太田川の三角洲に跨がる縣政治の中心、廣島市は舊城下町で、中國第一の大都として、軍事・學術の中心地であり、商工業の發達が著しく、罐詰・人造絹絲などを産する。その港宇



廣島市圖

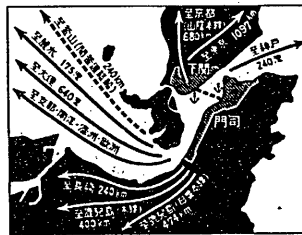


德山市街

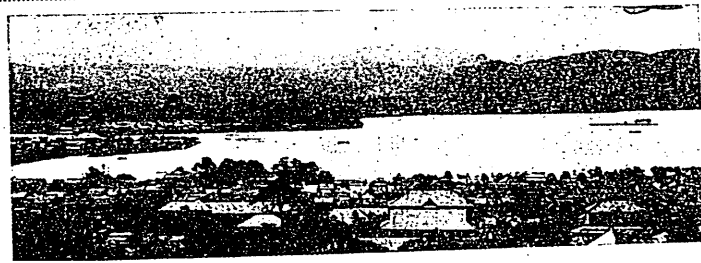
品（廣島港）は陸軍の川港として重要で、沖合の似島には大検疫所がある。吳市は軍港町として有名で、第二海軍鎮守府の外、大規模な海軍工廠や、海軍飛行機工場がある。海田市には軍需工業が行はれる。嚴島は古來勝地として知られ、附近の海岸は牡蠣の養殖が盛である。

北方の高原では牧牛が盛で、七塚原には縣營の種畜市場があり、三次は盆地の中心都市で、牛の集散がある。内海の藝・豫諸島には蜜柑の産が多く、造船所（崎上島・大崎上島）もある。

山口縣 内海斜面の狭長な海岸平野には、新興の工業都市が多く、岩國附近の麻里布には人造絹絲工場があり、徳山市は曹達の産が多く、又ここには海軍燃料廠がある。宇部市は炭坑都市であり、また紡績業も行はれ、附近の小野田はセメント及び硫酸肥料の製造で知られてゐる。下関市は内海の咽喉に位し、水陸交通の要地で、市の一部の産



交通の要地下関港



尖 道 湖 と 松 江 市

島には造船セメントの工業が行はれる。又大漁港で漁獲物の集散の大なることは本邦第一である。附近に埴浦の古戦場がある。縣政治の中心山口市は山口盆地にあり、毛利氏の舊城下町で教育の中心地である。西方の秋吉臺は石灰岩の臺地で、カルスト地形で知られてゐる。日本海岸の萩市は、長門峽の勝を以て知られる阿武川三角洲上の開港場で、維新前後の史蹟に富み、夏橙の産がある。

島根縣 縣政治の中心松江市は、尖道湖に臨む山陰第一の都會で湖上交通の中心をなし、景色がよいので水郷の名がある。また出雲燒の産がある。出雲平野の大部は尖道



松 下 村 塾 (萩市にある)



秋 吉 臺 地



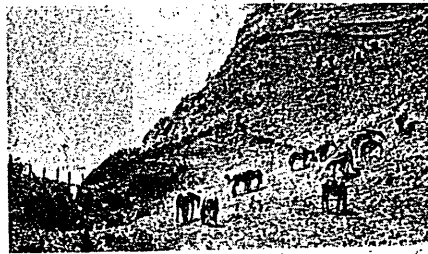
牧 烟
烟の排作と放
牧とを交互に
ふ烟をいふ
名和神社
名和長年を祀
る別格官幣社で
ある。

地溝帯とも呼ばれ、その西方にある大社は、出雲大社の門前町として名高い。

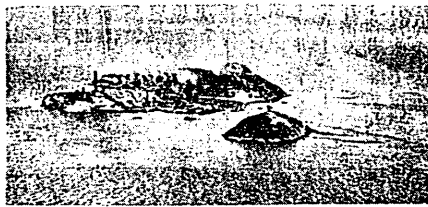
〔尖道地溝帯〕尖道湖中海を東西に連ねる低地は嘗て海であつたのが、斐伊川・神門川・日野川等の流出した土砂の堆積で埋められたのである。東の夜見濱の砂嘴は潮流と風とによつて出来て中海を抱くに至つたものである。島根半島の東端に美保關の勝地がある。

石見の海岸は山地が直ちに海に迫つて平地が少い。濱田(開港場)はこの地方の中心都市で、漁港として知られ、罐詰業が行はれ、また和紙・木炭を集散する。隠岐は島前島後から成り、牧烟があつて馬牛を産し、島後の西郷は水産物の集散地である。

鳥取縣 日野・天神千代の諸川の下流には、小平野が発達し、米子市・倉吉・鳥取市は、各、その中心をなしてゐる。縣政治



隠 岐 の 牧 烟



四阪島の製鹽所

鳴門下關及び來島の諸海峡は潮流が速いので知られてゐる。南北にある中國・四國兩山地の内側となつてゐるこの地域は、所謂瀬戸内型氣候を表して快晴の日が多く、南北の兩沿岸には花崗岩の風化による白砂の濱が續き、ために鹽田が開けてゐる。また島々には階段狀に畑地の耕作がよく行はれ、殊に蜜柑・桃などの果樹栽培が多い。なほ直島・四阪島に



多島海の風景



階段耕作



瀬戸内海中心の主な斷層線

瀬戸内海はもと中國と四國と陸つづきであつたのが、土地の陥没によつて内海となつたもので、東は敦賀灣琵琶湖・淀川より、西は八代海に及ぶ大地溝帶の一部である。陥没の際には主として北東—南西の方向に數多の斷層を生じたが、そのため取残された部分が大小の島嶼となつてゐる。殊に鹽飽・藝豫の諸島附近が著しく多島海をつくつ

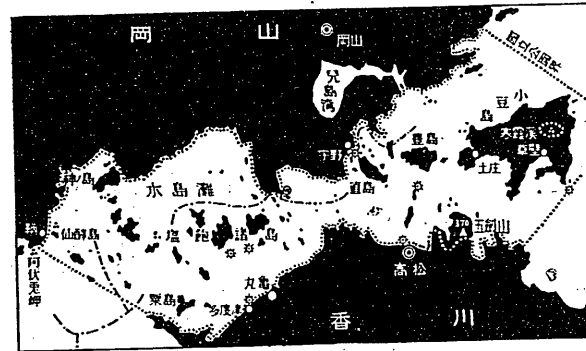
瀬戸内海

瀬戸内海はもと中國と四國と陸つづきであつたのが、土地の陥没によつて内海となつたもので、東は敦賀灣琵琶湖・淀川より、西は八代海に及ぶ大地溝帶の一部である。陥没の際には主として北東—南西の方向に數多の斷層を生じたが、そのため取残された部分が大小の島嶼となつてゐる。殊に鹽飽・藝豫の諸島附近が著しく多島海をつくつ



三朝温泉

瀬戸内海の主な民間連絡船航路
 大阪—別府
 廣島—瀬戸
 尾道—高松—長門
 下津井—九尾
 津品—高津—三
 下津井—坂田
 宮島—多度津
 宇品—今治

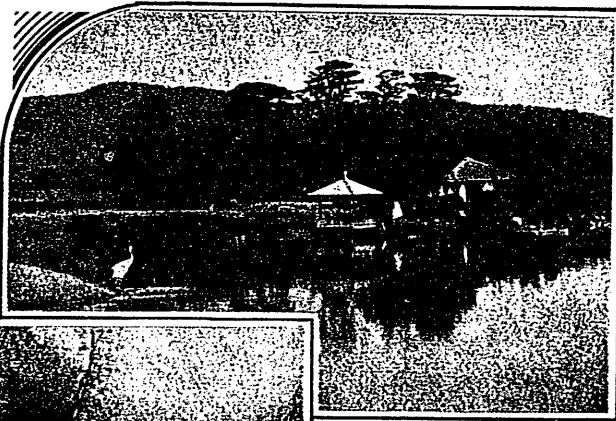


瀬戸内海国立公園

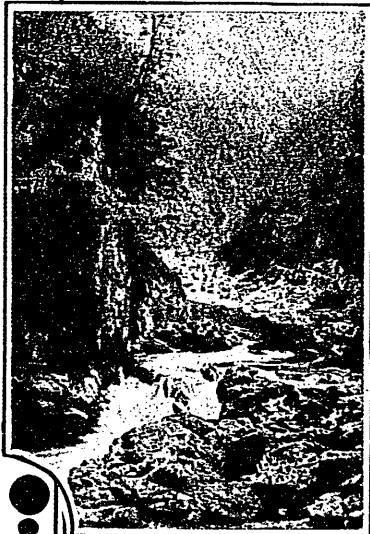
は製錬所があり、因島大崎上島等には造船工業が行はれて活氣を呈してゐる。海上には漁船の往來が多く、鯛、鱈の漁獲に富んでゐる。

内海は古來交通の要路に當り、東に神戸、大阪の兩港が發達し、西に下關門司の二港を控へて東西に主要な航路を通ずる外、宇野、高松間の鐵道連絡航路を始め、山陽方面と北四國方面との連絡も繁く、内外の船舶が縦横に航通してゐる。又、海波靜穩に島影之に映ずるの勝景に富み、屋島、壇浦、嚴島等の史蹟がある。特に、小豆島及び鹽飽諸島を中心とする區域は、我が國唯一の海上に於ける國立公園である。

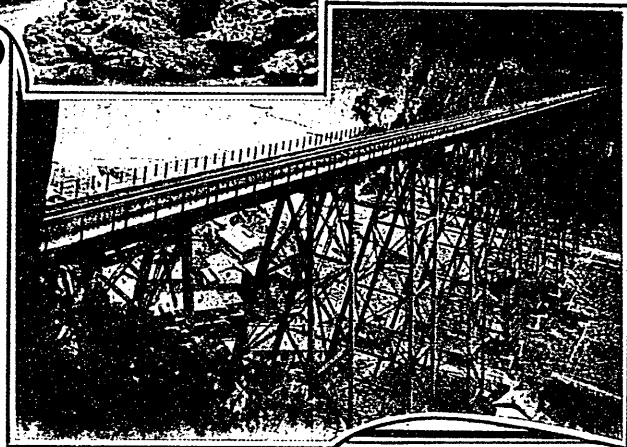
岡山後樂園



長門峽 (第二斷崖)



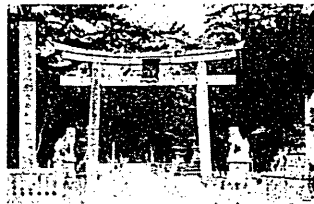
山陰線余部鐵橋



香川縣 (高松市)	讃岐
愛媛縣 (松山市)	伊豫
徳島縣 (徳島市)	阿波
高知縣 (高知市)	土佐

(県名) (縣所在地) (管轄國名)

大山祇神社
瀬戸内海の大三
島にあつて吉
野朝時代に勤王
の土が大三島の
大山祇神社を中
心に瀬戸内海の
海上権を掌つて
ゐた。大山祇神
を祀る國幣大社
である。



大 山 祇 神 社

第八章 四 國 地 方

面人口 一八七、七三、七九人
度(方) 三、三六、九方

沿革

本地方は古の南海道の大部分を占めた地である。文化の中心地とは離れてゐたが、瀬戸内海を控へてゐるので、之に面する北四國は瀬戸内海の大山祇神社を中心として、早くより開けてゐた。江戸末期に於ける土佐には早く尊王學派が起り、幕末維新の際勤王家輩出の源泉をなした。

一 地 域・位 置

本地方は徳島・香川・愛媛・高知の四縣の占める地域で、四國島及び瀬戸内海の一部の島々から成つてゐる。北は瀬戸内海を距てて中國地方と相對し、南は太平洋に臨み、東は鳴門海峡・紀伊水道によつて近畿地方の南部と、西は豊後海峡・豊後水道によつて九州地方と相對してゐる。

二 地 形

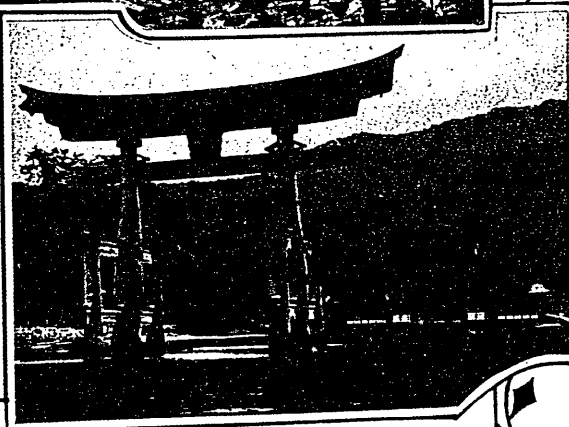
四國山脈は紀伊山脈の延長で、本島の中軸を東西に走り、九

山地

瀬戸内海
(尾道市附近)



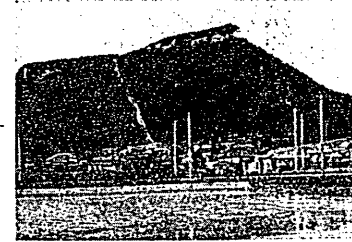
嚴島神社



瀬戸内海
(新附近)



○四萬十川・飯野川は扇曲して各、南北に流れてゐるが流域には平野が少い。

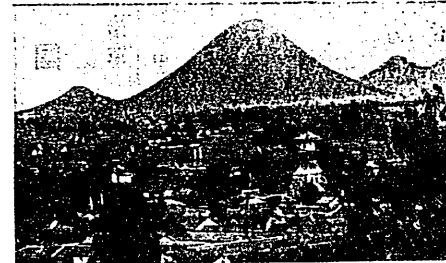


熔岩臺地の屋島

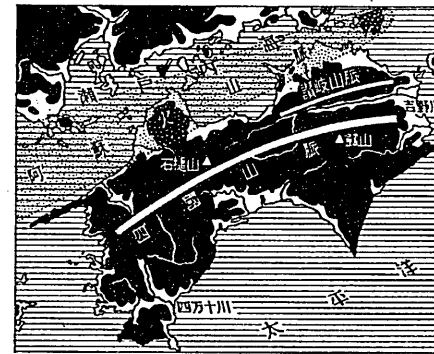
州山脈に斷續してゐる。一般に地形高峻で、飯野山、石槌山等が聳えてゐる。北東部には讃岐山脈が横たはり、北西部には高縄山地があり、その間に燧灘を挟んでゐる。瀬戸内には阿蘇火山帯が東西に走り、五穀山、飯野山、高縄山等の火山及び屋島の熔岩臺地をつくつてゐる。

平地 四

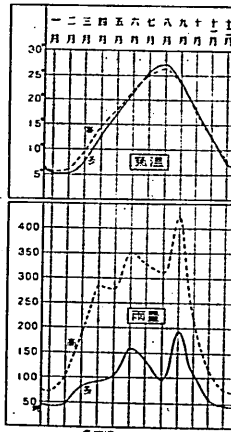
國讃岐兩山脈の間に徳島平野が開け、吉野川が之を貫流する。この川は本島第一の長流で、太平洋斜面の石槌山南麓に源を發し、四國山脈中に大歩危・小歩危の



飯野山と讃岐平野



地形圖



氣象圖

高峻な四國山脈は、本地方の氣候を瀬戸内型と太平洋型とに分けてゐる。内海斜面は山陽方面と同じく、溫和で雨量が少いが、太平洋斜面は黒潮の影響を受けて、高温で、殊に夏季には降雨が多く、我が國の多雨地の一となつてゐる。

三 氣候

横谷を穿ち、右折して縦谷となり、紀伊水道に注ぐ。また、淀川、物部川の下流には高知平野が開け、重信川の下流域は松山平野となつてゐる。

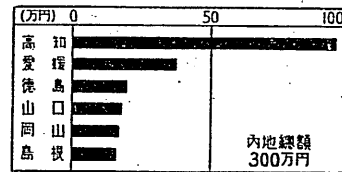
海岸

東西の兩水道には、リヤス式海岸が發達し、殊に豊後海峡には佐田岬が長く突出し、豊後水道の沿岸は小出入に富み、良港灣が多い。北部の瀬戸内海には讃岐高縄の二半島が燧灘を抱き、太平洋岸には室戸崎と足摺岬とが突出し、その間が、土佐灣の單調な弧狀の海岸である。

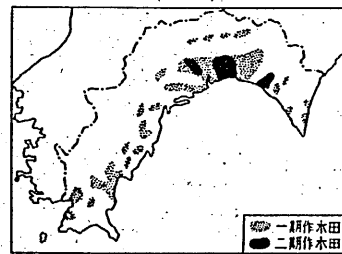


鯉 節 製 造

の二毛作が行はれ、副業として麦稈眞田を編んでゐる。暖濕な高知平野には、米の二期作や、野菜の促成栽培が盛になつて來た。また三極橘は高知愛媛の二縣に栽培せられ、養蠶は愛媛徳島



橘・三極主産地



高知縣の水田分布

愛媛縣には柑橘梨等の果樹及び檀を栽培してゐる。煙草は徳島縣の吉野川流域に産する。
林業 太平洋斜面は高温多雨なため、森林に富み、杉、樟の木材を出し、また木炭の製造に名高く、樟の天然林からは樟腦の副産物を産する。
水産業 一般に水産物は豊富で、瀬戸内海には鯛、鱈、鰯が多く、太平洋方面には鰹、鰯、鯨などが多く獲れ、鰹節は古來

各縣人口密度
(二方寸)
香川縣 四〇人
愛媛縣 三〇人
徳島縣 二五
高知縣 三〇

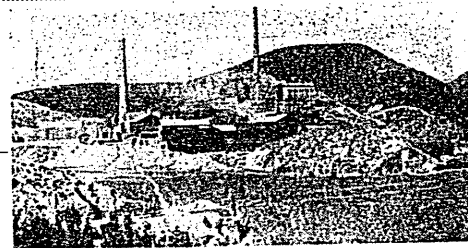


香川縣の溜池とその分布

沿岸には蒲葵、榕樹などの熱帶性植物が自生してゐる處がある。
四 住 民・政治
 内海斜面と太平洋斜面とにより人口の分布に著しい差異がある。即ち内海斜面は甚だ稠密で、讃岐平野の如きは、大阪府に次ぐ(内地)稠密地である。之に反して、太平洋斜面は稀薄である。一般に京阪神地方へ出稼ぐ者や、移住する者が多くなつて來てゐる。
 本地方は行政上、四縣に分れる。軍事上、善通寺に第十一師團司令部が置かれてあり、鳴門、豊豫の兩海峽は要塞地帯となつてゐる。

五 産 業

教育 本地方には、一の大學もなく、高等商業が高松と松山とに、高等工業が徳島に、高等學校が松山と高知とに在るに過ぎない。
農業 比較的廣い平野は、讃岐、徳島の二平野である。殊に讃岐平野は、灌溉溜池による耕地がよく發達し、米及び麥



直島製錬所

土佐節として知られてゐる。甲浦室戸須崎宿毛は漁港として發達し、遠洋漁業の根據地となつてゐる。内海沿岸の製鹽所業は、對岸の山陽沿岸と同じく頗る盛で、撫養坂出波止濱がその中心地である。

鑛業 四國山地には銅の埋藏が多い。別子是我が國有數の銅鑛山で、その鑛石は四阪島で製鍊される。直島の製鍊所では生野その他より送られた鑛石を製鍊してゐる。

工業 工業は近年著しく發達して來た。愛媛縣は大坂愛知岡山の諸府縣に次ぐ綿織物の産地であり、徳島縣には生絲綿織物を産する。



香川縣の麥稈眞田生産分布



伊豫の和紙工場



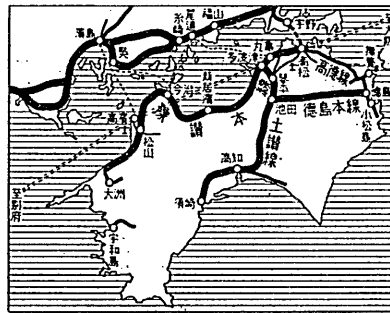
土讃線と大歩危

其の他、高知（伊野）愛媛二縣の和紙、香川縣の麥稈眞田、小豆島の醬油、愛媛縣の木蠟等は古くより知られてゐる。最近新居濱には人造肥料工業藥品、アルミニウムの等の製造工業が興つてゐる。

商業 松山高松徳島高知の各市は各地方に於ける商業の中心であるが、一般には大阪の南圏に屬する。外國貿易は今治港で行はれてゐる。

六 交 通

陸上交通 中央に高峻な四國山脈が連つてゐるので東西の交通よりは南北の交通が不便である。主なる鐵道には高德線、豫讃本線が内海沿岸を東西に走る、外土讃本線が南北を横斷し、また吉野川に沿うて徳島本線が通じてゐる。



鐵道圖

都市人口
高知市
徳島市
高松市
松山市
今治市
宇和島市
八幡濱市
九島市

千人
三三三三三三三三



琴 平 の 門 前 町

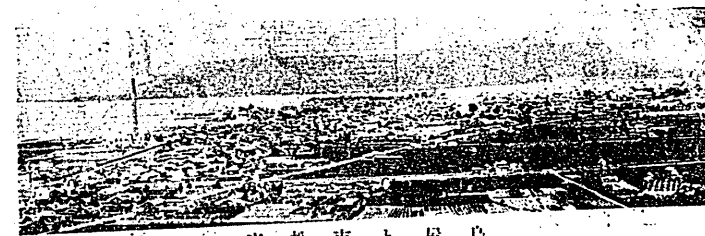
水上交通 本地方の沿岸には航路が発達してゐて、陸上交通の不便を補つてゐる。

殊に内海方面は阪神山陽方面との交通が繁く、高松・多度津・今治・高濱はその航路の中心となつてゐる。

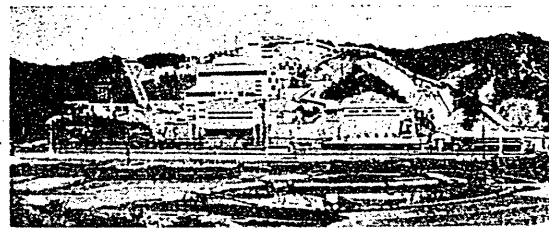
七 處 誌

香川縣 讃岐平野は人口稠密で、古來溜池による灌漑農業がよく行はれ、米麥の産

が多く、また麥稈眞田刈等の製造も副業として行はれてゐる。縣政治の中心高松市は舊城下町で、宇野との間に鐵道連絡航路が通じ、内海の良港である。市内に栗林公園があり、郊外の屋島(松島)は五穀山と對して景勝の地である。高松市の西方には坂出(製鹽地)・丸龜市(城下町・商)・多度津(港町)等の都邑が発

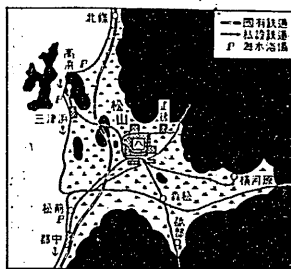


高 松 市 と 屋 島

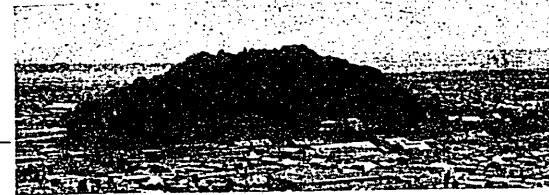


新 居 濱 の 製 鍊 所

達し、多度津の南方には門前町をなす善通寺(眞言宗)・琴平(金刀比)がある。また善通寺は軍事町としても重要地である。北東の小豆島には寒霞溪の勝地があり、また醬油の産で名高い。**愛媛縣** 燧灘に面する東豫地方には三煙の栽培が行はれ、川之江には和紙の産がある。別子銅山の外港新居濱は新興の工業都市で、製鍊業化學工業が行はれる。來島海峽に臨んで今治市(開港場)・波止濱(製鹽地)がある。今治市は綿織物工業の中心地である。重信川流域の松山平野の周縁は、瀬戸内の島嶼と共に柑橘桃等の栽培が盛である。縣政治の中心松山市は舊城下町で伊豫緋綿織物を産し、附近に有名な道後温泉がある。高濱はその外港で、三津濱は漁港として発達し、共に興居島を控へて風波が少く、良港をなす。豊後水道に面する八幡濱市・宇和島市は



松 山 平 野



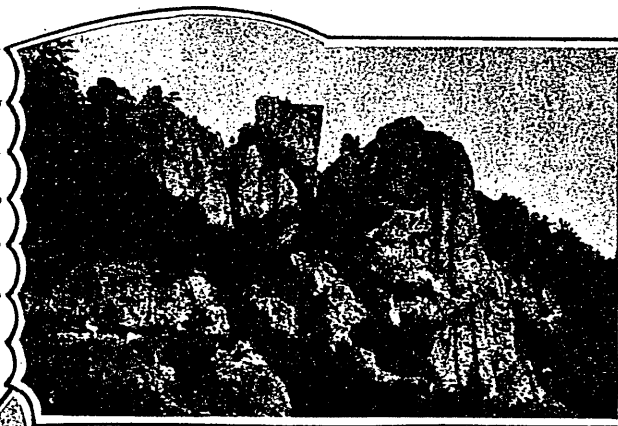
徳島市街（中央の丘は舊城址）

水産物を集散し、また綿織物の産も多い。肱川流域の大洲附近は木蠟和紙を産する。

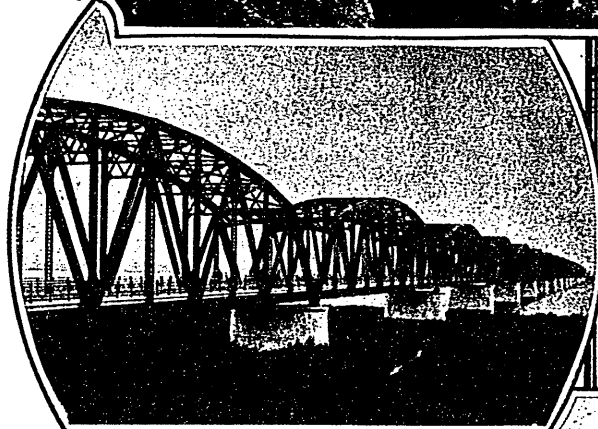
徳島縣は縣政治の中心徳島市は吉野川下流の三角洲に發達した舊城下町で、生絲綿絲綿織物煙草を産し、その外港小松島は阪神和歌山方面への門戸に當る。撫養は鳴門海峡に臨み、製鹽地として名高い。吉野川中流域は養蠶業が盛で、その中心は脇町である。なほ西部山地には煙草を産し、貞光池田はその集散地である。

高知縣は氣候溫暖で土地が肥えてゐるので米の二期作や野菜の促成栽培が行はれる。縣政治の中心高知市は高知平野の中心に位し、舊城下町として發達した四國第一の都市で、セメントを産する。また仁淀川の流域は和紙の産が多く、伊野はその中心地である。須崎は良港、清水宿毛は南西海岸の好漁港である。東部海岸の室戸岬浦は漁港として知られ、室戸岬は景勝地である。

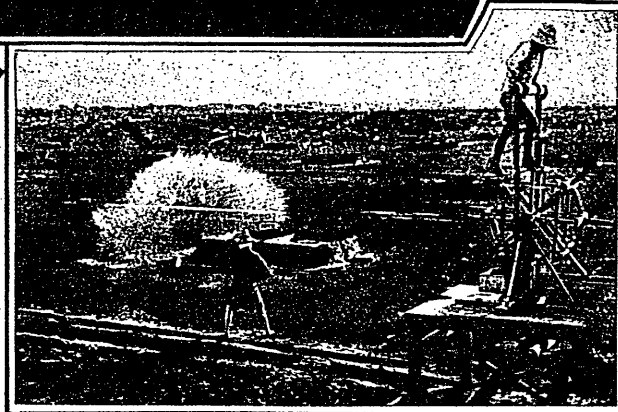
小豆島寒霞溪



吉野川の鐵橋（徳島市附近）



坂出鹽田



	(附縣名)	(縣所在地)	(管轄範圍)
福岡縣	(福岡市)	筑前・筑後・豐前・西半部	
佐賀縣	(佐賀市)	肥前東半部	
長崎縣	(長崎市)	肥前西半部 壱岐・對馬	
熊本縣	(熊本市)	肥後東半部	
大分縣	(大分市)	日向	
宮崎縣	(宮崎市)	大隅・薩摩	
鹿兒島縣	(鹿兒島市)	琉球	
沖繩縣	(那覇市)		

宮崎神宮
神武天皇を祀る
官幣大社である。



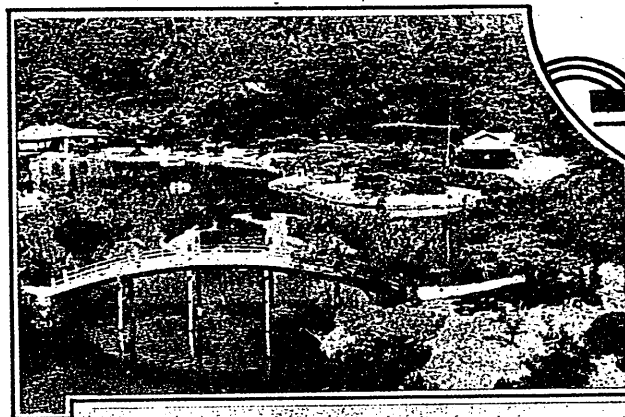
宮崎神宮

第九章 九州地方

沿革 本地方は古の西海道の地で上古は九州本島を筑紫島と稱してゐた。神代の昔天孫降臨の聖地として神武天皇御東遷まで所謂日向三代の皇居の在つた所である。土地は我が國の西邊にあるため大陸方面との交渉が早くより開け太宰府防人などを置いて治めてゐた。中世以後平戸長崎は貿易港として遠く西ヨーロッパ文化の流入門戸となつて重きをなした處である。幕末維新の際薩摩肥前の諸藩は特に王政復古に盡くした功績が著しい。

一 地域・位置

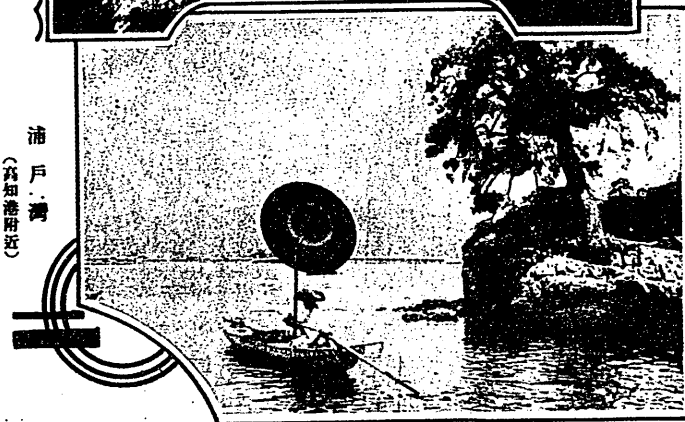
本地方は、九州島とその附近の島々及び琉球列島から成り、福岡・佐賀・長崎・熊本・鹿兒島・宮崎・大分・沖縄の八縣の占める地域である。東と南は太平洋に面し、西は東支那海に臨み、北西は朝鮮海峡を距てて、朝鮮半島と相對し、北東



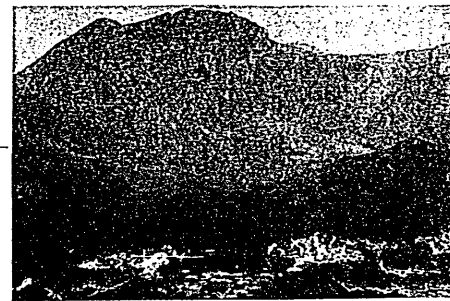
高松栗林公園



瀬戸内海(高瀬附近)



浦戸灣
(高知港附近)

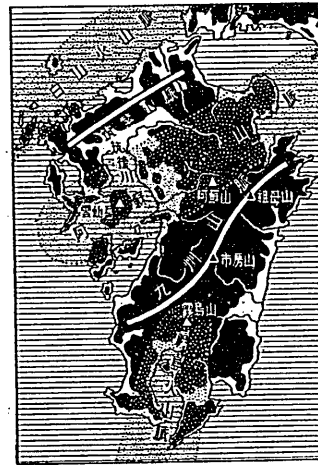


◆九住山の南麓は高原が開け、雄大な高原美は九州第一と稱せられる。

は下開海峡で本州に、豊後水道で四國と隣り合つてゐる。琉球列島は九州島の南から弧狀に長く西南にのびてゐる。

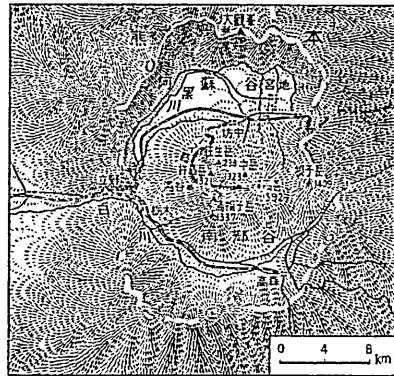
二 地形

山地 本島の中央部には四國山脈の續きである九州山脈が連なつて、祖母山市房山等の高峯を起し、餘脈が海中に入つて天草群島、甕島に及んでゐる。北部には中國山脈の續きの筑紫山脈が幾つもの山塊に分れながら五島列島に及んでゐる。以上の兩山脈間には阿蘇火山脈が通じ、双子山、布九住、阿蘇、雲仙等の諸岳が噴起し、また耶馬溪の勝地や、別府、雲仙等の有名な温泉も湧出てゐる。



地形圖

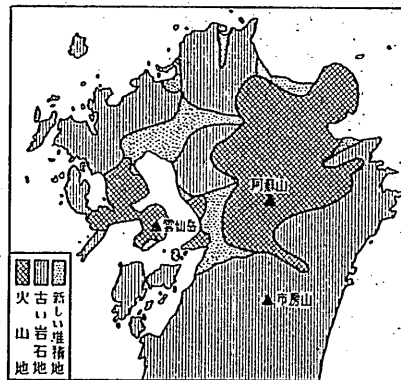
◆阿蘇火山帯は瀬戸内海の延長である低凹地に噴出したものである。
◆阿蘇、雲仙、霧島の三火山地帯は各、国立公園に指定されてゐる。



阿蘇山の地形

九州山脈の南部には霧島火山脈が、薩南の諸島及び琉球列島の内側を走つて臺灣の大屯火山脈に連なる。霧島山、櫻島、開岳及び川邊十島(吐噶喇列島)等は之に屬し、指宿等の温泉も湧出てゐる。

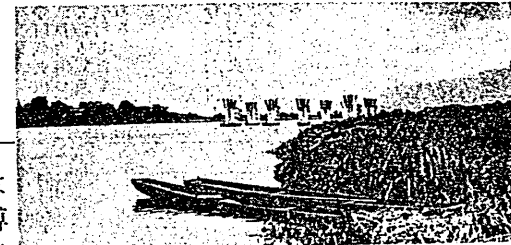
阿蘇山は複式火山で、その規模の大なることは



北九州の地體構造

世界第一といはれ、外輪山の直徑南北二十四軒、東西十六軒に及び、中央火口丘は所謂阿蘇五岳(根子岳、高岳、中岳、井島岳、烏帽子岳)で、中岳は現在盛に活動してゐる。火口原は、北は阿蘇谷、南は南郷谷といはれ、耕地、牧場があり、宮地町、高森町をはじめ、多くの聚落が發達し、五萬に近い人口がある。

平地 筑紫山脈に屬する山塊の間に



筑後川

は小平野が開けてゐるが、その中、遠賀川の流域及び福岡平野は稍、廣い。日田盆地の水をあつめて西流する筑後川の下流には九州第一の筑紫平野が開けてゐる。筑紫平野の南には熊本平野があり、阿蘇火口原に發源する白川が、その主流である。急流で知られた球磨川の上流には人吉盆地がある。南部の鹿兒島縣には臺地丘陵、小平野が散在してゐる。東海岸には山國川、大野川が各、下流に小平野を開き、五箇瀬川、大淀川等は下流に廣い日向平野を開いてゐる。

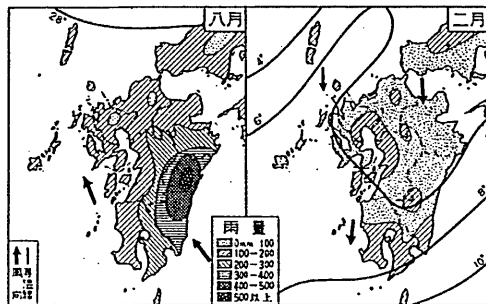
海岸

本島の海岸は屈曲に富み、北部には博多唐津の二灣があり、殊に北西部の肥前半島は岩がちの海岸で、伊萬里、大村、千々石等の灣入によつて、北松浦、西彼杵、野母島原の副半島が突出し、海岸線が極めて複雑である。有明海の南には宇土半島や



國東半島沿岸の海蝕

◆博多灣を抱く海中道は砂嘴で、志賀島はそれによつて陸繋島となつてゐる。

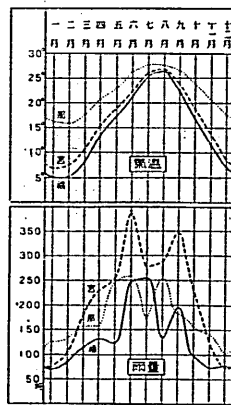


気象圖

天草島があつて八代海と天草灘とを分けてゐる。東部の海岸は北に國東半島、別府灣の出入があり、豊後水道に臨む處はリヤス式の海岸である。それより以南の日向灘沿岸は單調な海岸である。南部には大隅薩摩の二半島及び志布志灣、鹿兒島灣等の出入がある。薩摩半島の西岸は砂丘の多い吹上濱である。九州島の西海上には筑紫山脈に屬する平戸、五島の島々や九州山脈に屬する天草群島等が散在し、朝鮮との間には對馬、壹岐の島々が横たはつてゐる。又、西南海上には薩南諸島及び琉球列島が弓狀をなして臺灣島に及んでゐる。

三 氣 候

緯度が低く、暖流が沿岸を洗ふのて一般に溫暖多雨である。北九州の玄海灘沿岸は冬季、北西風の影



気象圖



青島の蒲葵林

響て日本海型氣候の特徴を現すが、降雪が少い。中部の熊本平野は稍大陸性で寒暑の差が比較的大きい。南九州は高温多雨の太平洋型の氣候で、蒲葵、蘇鐵などの熱帯性植物が繁茂してゐる處がある。南西の薩南諸島や琉球列島は、年中霜雪なく、榕樹、芭蕉等の熱帯樹がよく生育し、ハブの如き毒蛇も棲んでゐる。夏秋の交、颱風の中心が屢この附近を通過するので、災害を受けることがある。

四 住民・政治

◇日向灘の青島には蒲葵の樹林を始め熱帯性の植物が生育して南國の風景を思はせる。

◇沖縄では家庭の周囲に石垣を繞らして風害を防ぐ處がある。

古くより大陸方面との交通が開けて、比較的文化が進んでゐた上に、北九州には近代工業が勃興してゐるから、一般に人口密度が大である。殊に北九州の工業地帯及び筑後川下流の平野が稠密で、關東近畿の諸平野に次いで、我が國の人口稠密地域をつつてゐる。之に反して東部は位置産業交通に支配されて人口密度が小さく、宮崎縣の如きは、我が民族發祥の古き地にも拘らず、未開墾

縣別人口密度

福岡	五、八
長崎	三、六
佐賀	二、八
熊本	二、六
鹿兒島	一、五
宮崎	一、三

◇九州帝國大學は、農・理・工・農・法・文の五學部に分れる。



佐世保海軍鎮守府

(昭和五年四月二十四日佐世保要塞司令部檢閲済)

地が多く、内地移民さへ迎へる程である。また、長崎・沖繩二縣は海外への出稼者が多い。

本地方は行政上、八縣に分れる。また、この地方は大陸に接近し、日本海・瀬戸内海の入口を扼するが故に、軍事上重要な位置を占めてゐる。

熊本、及び久留米(第十三)には、各師團司令部、佐世保軍港には、第三海軍鎮守府があり、佐世保對

馬壺岐・長崎・奄美・大島・豊後・海峽・下關・海峽は、要塞地帯となつてゐる。なほ司法上、長崎には控訴院がある。

教育

福岡に帝國大學があり、長崎熊本に醫科大學、久留米に醫學專門、鹿兒島宮崎に高等農林、長崎大分に高等商業、戸畑熊本に高等工業、明治專門學校、熊本に藥學專門學校があり、福岡佐賀熊本鹿兒島に高等學校が置かれてゐる。

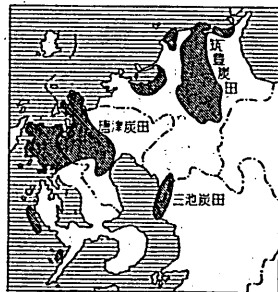
五 産業

農業

北西部の筑紫熊本の二平野には、耕地がよく開け、米麥の二

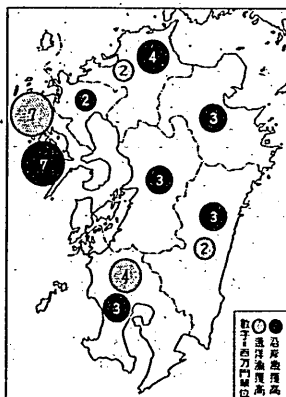
業が盛である。北部の沿海には、鰺、鰯、烏賊が多く獲れ、南海上には、鰺、鰯、鰹の漁獲が多い。殊に長崎縣は、本地方で最も漁獲高が多く、五島の鰺、平戸附近の鰹は、世に名高い。

本地方は鑛産が豊富である。石炭は北九州に埋藏量



北九州炭田分布

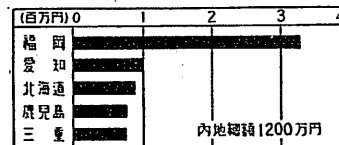
林業 溫暖多雨な九州山脈は森林がよく茂り、木材薪炭(日向炭は名高い)を盛に出し、椎茸の栽培もあり、また樟も生育し、樟腦の製造が行はれる。筑紫平野の東縁では檜を植ゑ、木蠟を製する。



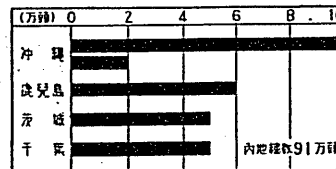
漁獲高分布

沿海は好漁場に恵まれ、水産

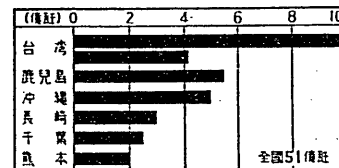
◆日向平野の南部では、温暖な氣候のため、早熟蔬菜を栽培して阪神・京濱地方へ送つてゐる



甘蔗の産額



豚の頭数



菜 種 の 産 額

毛作が行はれる。筑紫米肥後米は古くよりその名
が高い。南部には、臺地丘陵地が多いので畑作が行
はれ、甘藷粟の産が多く、また、煙草茶の産もある。
鹿兒島、沖縄二縣には、甘蔗の栽培が盛であり、國東半
島の沿岸では、^{アサ}蔦草の栽培が行はれる。
菜種は福岡、鹿兒島を始め各縣
下に産し、福岡縣の産額は全國
第一である。

牧畜 火山の裾野及び高原
には好牧畜地が多い。鹿兒島
及び熊本兩縣は馬の主産地で
ある。牛の飼養は鹿兒島に多
く、豚は沖縄、鹿兒島兩縣に多く
飼はれてゐる。



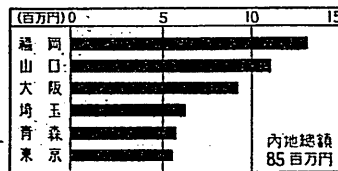
阿蘇山の放牧



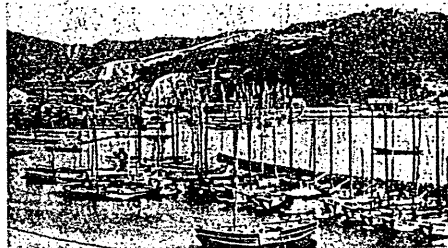
阿蘇山中の放牧

◆佐賀製鉄所は四國九州朝鮮の各鐵山より買鐵して製鍊する。筑後川下流の大川は清酒製造の中心である。

◆博多・防津・戸・長崎・大分などは對外貿易で榮えた時代があった。



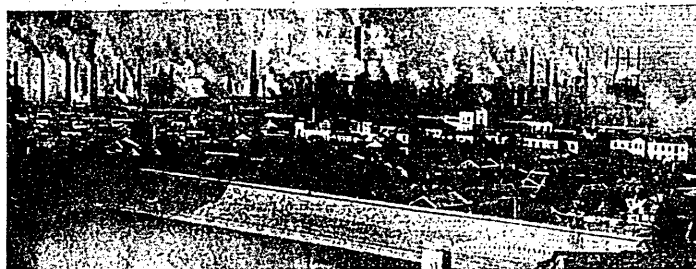
セメントの産額



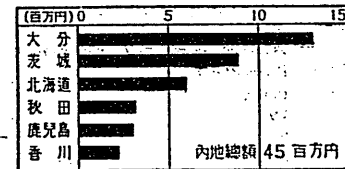
佐賀製鉄所

造肥料等の化學工業が盛なことは特色である。また佐賀關では金銀銅の製鍊が行はれる。其の他、長崎佐世保の造船業も名高。延岡、永保の人造絹絲、大牟田の紡織工業もまた盛で、久留米の足袋及び緋を始め、各地に博多織薩摩緋、大島紬琉球上布等を産する。また有田附近の陶磁器は古くより名高い。

商業 内地商業は福岡熊本鹿兒島が各地方的中心地として盛であるが、なほ大阪の商業



八幡製鐵所 (下圖製鐵所令部許可による)



金の産額



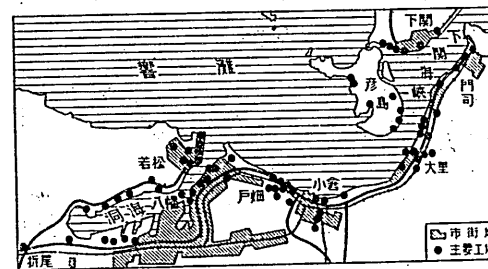
三池炭坑 (萬田坑)

が多く、内地總産額の約七割を産出し、筑豊炭田を始め、唐津三池の諸炭田が著しい。金屬礦物は九州山地に多く採掘され、大分縣の鯛生馬場、鹿兒島縣の串木野山、野は金山で著れ、宮崎縣の檜峯には銅、鹿兒島縣の谷山、宮崎縣の見立等の錫は何れも有名である。

工業

石炭と勞力と

の供給が豊富であり、交通の便があるため、各種工業の發展が目覺しい。殊に、炭田に近い下關海峽から洞海に至る沿岸は、我が國有數の工業地帯をなしてゐる。この地帯は、製鐵製鋼鐵器製造造船造船等の重工業を始めとし、セメント硝子精糖人



北九州の工場分布



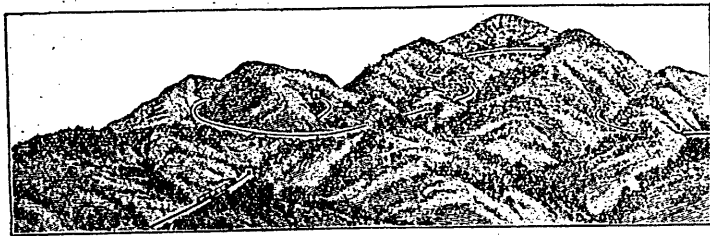
三池築港

長崎街道、大分宮崎を結ぶ日向街道等がある。鐵道は鹿兒島本線が西海岸を廻り、日豊本線が東海岸を廻り、相共に九州循環線をなしてゐる。筑豊線、長崎本線、肥薩線等は之と連絡し、久大線、豊肥線は横斷線となつて東西を連絡してゐる。

水上交通 海上交通は北西岸が盛で門司、若松、博多、長崎等は諸航路の中心をなしてゐる。殊に門司港は遠洋航行船が寄港し、長崎港は中部支那への連絡港として重きをなしてゐる。有明海の三池港は石炭の積出港として利用されるが、潮汐干満の差が大で船舶の出入に不便であるから、閘門式船渠の設備がある。

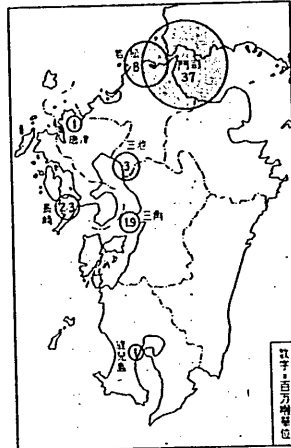
航空通信

本地方は我が國の西端にあるため



九州山脈を横斷する肥薩線のループ線

◆下關海峡には海底トンネルによつて本州との連絡を行はんとする計畫がある。



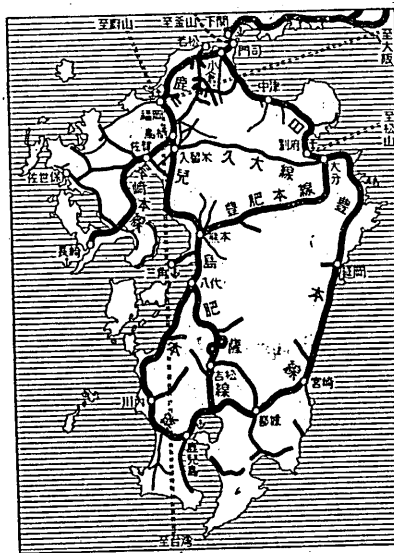
主要港入港船舶噸數

勢力はこゝまで延びてゐる。外國貿易は門司、長崎二港を中心に行はれ、門司港は綿織物、精糖、セメント、石炭の輸出、棉花、豆粕、小麥の輸入を主とし、長崎港は綿絲、石炭の輸出、棉花、金屬類の輸入を主としてゐる。その他、若松、三池、唐津、博多、住江、三角、口之津等の開港場は、主に石炭を積出

六 交 通

位置、地形、産業等の關係で概ね北西部に發達してゐる。

陸上交通 道路には九州島の北と南とをつなぐ鹿兒島街道、北九州と肥前半島とを結ぶ



鐵道圖

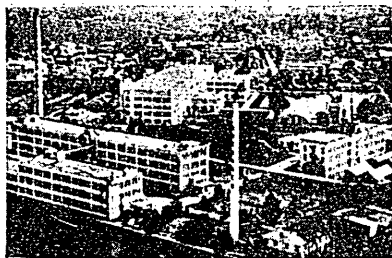
官幣中社であるる
太宰府を神はる
今尙遺つてはる
府正廳の礎石は
處でもある取外
防すもる取外
對すもる取外
又中朝の外・那
於ける心で交り
◆太宰府は古
に



太 宰 府 址

内外諸汽船の碇泊が繁く、若松市と共に石炭の積出港として賑ふ。舊城下町の小倉市は洞海の入口にある戸畑市と共に諸種の工業が行はれ、八幡市は我が國に於ける代表的製鐵業地である。遠賀川流域の筑豊炭田には直方市飯塚市後藤寺等の炭坑町が發達してゐる。縣政治の中心福岡市は舊城下町で、九州文化の中心をなし、附近には名勝史蹟が多く、商工業區の博多(開港場)には博多織の産がある。市は又、航空路の要衝に當り、水陸兩用の國際飛行場が設けられてゐる。福岡市の南東には太宰府神社の門前町太宰府がある。筑紫平野の中心、久留米市(第十二師司令部)は軍事上の要地で、地下足袋久留米絣などの産が多い。附近の太刀洗には陸軍飛行場がある。南部の三池炭田に近い大

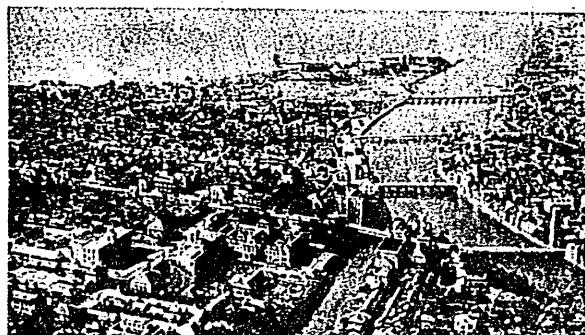
久留米の地下足袋工場



久留米の地下足袋工場

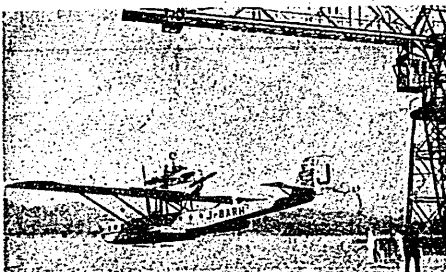
都市人口

千人
二九一
二二二
二〇九
一八七
一八三
一七三
一二三
一〇一
一〇五
九三
七三
六八
六五
六五
六二
六二
五六
五〇
四四
四四
四〇
三七
三二
三〇
一九

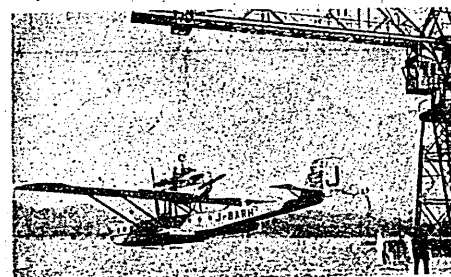


福 岡 市 街

福岡縣 位置が良好で、交通も便利であ
り、且つ豊富な炭田を有するので本地方中
最もよく開けた地域
となつてゐる。殊に
下關海峽から洞海に
至る沿岸一帯には門
司（開港場）・小倉・戸畑・若松
（開港場）・八幡等の諸都市
が連續して一大工業
都市の觀がある。門
司市は九州の咽喉で、



福岡飛行場



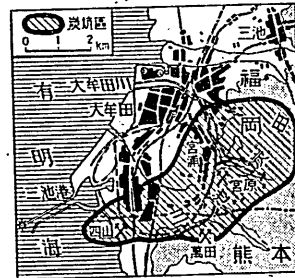
福岡飛行場

大陸及び臺灣との航空路の通路となり、福岡がその要地となつてゐる。海底電線は大陸及び附近の主要な島々に通じてゐる。

七處誌

◇伊萬里焼
古來有田を中心とする一帯から産出する陶磁器は伊萬里港から積出されたから伊萬里焼の名がある。

◇唐津炭田は長崎方面の炭田と合して肥前炭田ともいふ。



大牟田及び三池附近

牟田・市は、新興の都市で、化学工業綿絲工業が行はれる。市の一部には石炭積出しの三池港がある。

佐賀縣

筑紫平野の西半部は、灌漑用水路が発達し、米作が盛である。縣政治の中心佐賀市は舊城下町で、米の集

散が行はれる。西方には武雄嬉野の温泉町がある。有田附近は陶土に恵まれ製陶業が盛で、愛知縣の瀬戸附近と並び稱せられる窯業地帯である。北部の筑紫山脈中には唐津炭田があり、その積出港として唐津・住江が発達してゐる。また東松浦半島の北端には豊公外征の遺跡地として知られてゐる名護屋がある。

長崎縣

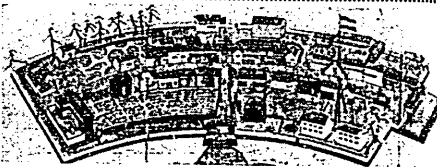
本地方は北西部にある山勝ちの肥前



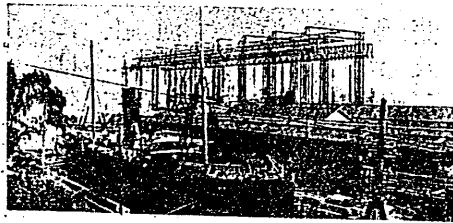
有田焼工場の内部

出島
鎖國時代に長崎港内に住んでゐたオランダ人の屋敷のあつた處である。

◇産米は縣民需の半ばにも達しないから佐賀・熊本兩縣より移入してゐる。



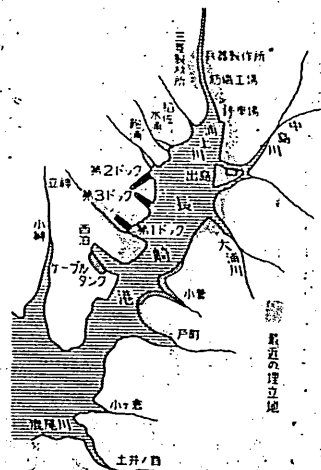
出島



半島部と、島嶼部を占め、海岸線の出入の極めて多い縣である。平地が少いから山地の斜面を利用し階段状に畑を作つて甘藷麥などの栽培を行つてゐる。附近の

海上は魚族に

所富み、沿岸及び島嶼には漁港が多く、内地に於ける水産業の盛な處である。縣政治の中心長崎・市は、天然の良港で、徳川時代には唯一最大の貿易港であつたが、今日は餘り振はない。現在では漁港として、また造船工業が行はれるので其の繁榮を保つてゐる。佐世保市(第三海軍)は軍港市として發展したものであるが、今日は商工業も活氣を呈して



長崎港の沿岸

◆佐世保は数十年前は一寒村に過ぎなかつたのが軍港となると共に明治二十五年一躍市となつたものである。

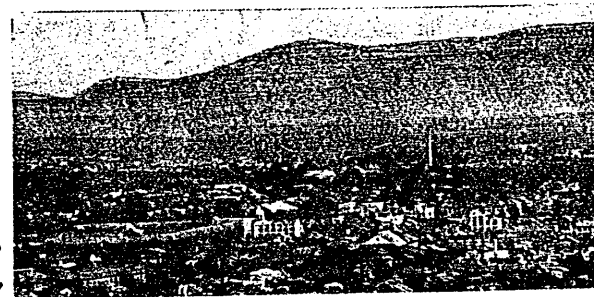
◆佐世保大村に海軍飛行隊がある。

る。島原半島の雲仙・岳には温泉が湧出し、且つ風景がよいので、夏季には外國人の來遊する者が多い。島原は史上に知られ、口津は開港場である。島嶼部は漁業が盛で、五島列島の福江・富江・壹岐の勝本・對馬の嚴原（開港場）竹敷・平戸島の平戸は何れも漁港である。

熊本縣

東部には阿蘇火山、南部には九州山脈が走り、北西部は熊本平野である。麥粟甘藷及び肥後米の産が多い。

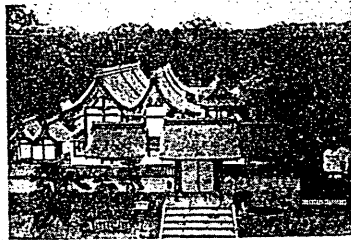
縣政治の中心熊本市は、白川に跨がり、舊城下町として發達した處で、交通の要地と共に肥後米の集散地として名高い。菊池川流域は、養蠶業が盛で、隈府が繭の集散地となつてゐる。球磨川河口の八代は、洋紙セメントを産し、南境に近い氷俣に



雲仙温泉

◆人吉盆地北方の五家荘は交通不便な別天地をなす僻村である。

◆宇佐神宮は磐田別尊・比賣神・大帯姫命を祀る官幣大社である。



宇佐神宮

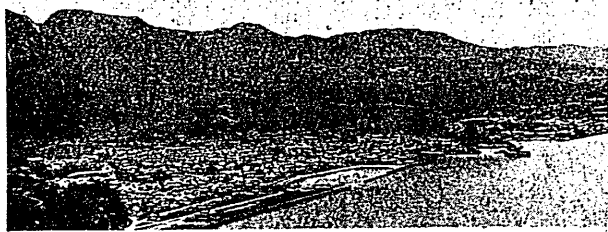
は人造肥料工業が興つてゐる。人吉盆地には人吉があり、木材の取引が多い。宇土半島には三角（開港場）の港町があり、天草群島には甘藷無煙炭の産がある。

大分縣

東に瀬戸内海を控へ、別府灣奥に泉都別府市があり、阪神との交通が頻繁である。

縣政治の中心大分市は、日豊本線と豊肥久大二横斷線との分岐點に當り、綿絲紡績が盛である。國東半島沿岸には、蔦草の栽培が行はれ、杵築は疊表の集散をなしてゐる。

半島頸部の宇佐には、和氣清麻呂で名高い宇佐神宮がある。山國川河口の中津市は、絹綿紡績工業が盛である。その上流にある耶馬溪は奇景を以て名高い。筑後川上流の日田盆地の中心日田は農



別府市



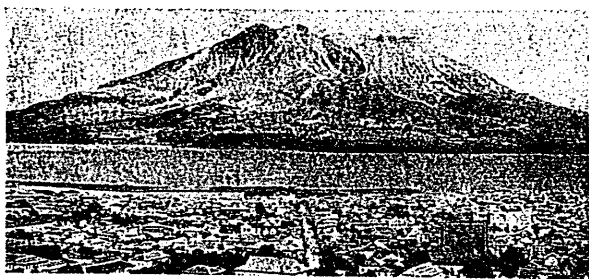
盛の墓

の臺地及び丘陵が多く、臺地には牧馬が盛で、甘藷、煙草、桑等の畑作も行はれてゐる。國分の附近は煙草の産で名高い。縣政治の中心鹿兒島市は、島津氏の舊城下町で、幕末維新には多くの人傑を出した處であり、薩摩・薩摩・薩摩焼を産する。薩摩半島沿海には鰹・鰯の漁獲が多く、枕崎・山川の漁港町が發達してゐる。坊津は古い貿易港であつたが、今は漁港である。

薩南諸島は氣候溫暖で丘陵がちの島々から成り、甘藷・甘蔗が栽培される。種子島は鐵砲傳來の歴史で名高く、屋久島は屋久杉の良材を出し、奄美・大島は大島紬を産し、名瀬は良港で、鰹節を産する。

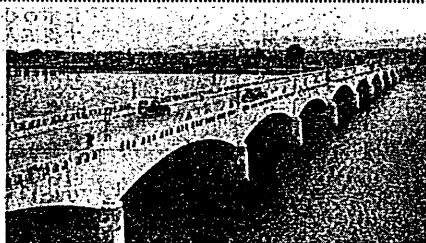
沖繩縣

沖繩・先島の諸島から成り、東支那海



鹿兒島市と櫻島の遠景

◆佐伯に海軍飛行隊がある。
◆妻町の西北にある西都原には無数の古墳がある。



大淀川と宮崎市

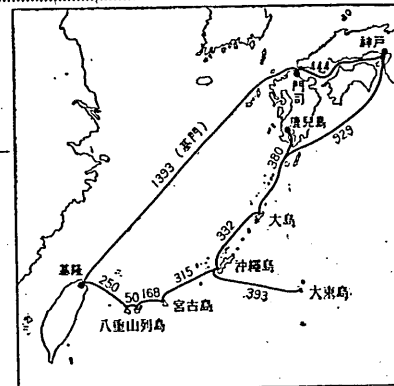
産物の集散地である。佐賀・關には大製鍊所、佐伯にはセメント工業が興り、共に活氣を呈してゐる。

宮崎縣 本縣は地形上、別天地をなしてゐるので、土地肥沃、氣候溫暖にも拘らず人口密度が小で、農林業が主な産業である。山地には木材、薪炭、椎茸の産があり、低地には米作が行はれてゐる。北部海岸は小出入に富み、延岡・細島の良港がある。延岡市は人造絹絲、人造肥料による新興の工業地である。背後の山地には檜・峯の銅山、見立の錫山がある。大淀川河口にある縣政治の中心宮崎市には神武天皇を祀る宮崎神宮がある。都城盆地の中心都城市は交通の要地を占め、養蠶製絲業が行はれる。南部の丘陵地方には杉の人工林があり、鉄肥杉の良材を出す。

鹿兒島縣 半島部と島嶼部とから成り、半島部には火山灰



耶馬溪の羅漢寺

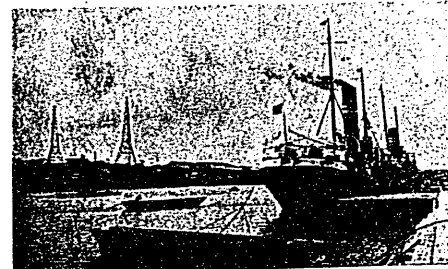


◆那覇港附近には珊瑚礁が分布してゐる。

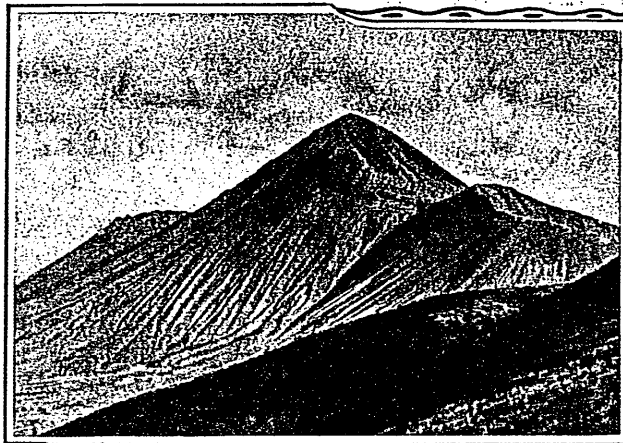
◆那覇及び石垣島の海候所は我が国氣象観測の最前哨線となつてゐる。

泡盛・バナマ・帽・芭蕉布・琉球上布等の産があり、砂糖を積出す。東方の首里市は珊瑚礁の臺地上に發達した舊王城の地である。先島諸島は宮古・八重山の二群島に分れ、八重山列島の石垣島は颱風の襲來が多いので名高い。東方海上の北・大・東・島には燐礦を産する。

の位置に連る弧狀列島である。熱帶性氣候で榕樹林・投樹・バナナ等が生育し、沿岸には珊瑚礁が發達してゐる。水田に乏しく、甘藷・甘蔗の畑作が多い。甘藷は島民の常食となり、甘蔗からは黒砂糖を製する。又養豚が盛である。人口が稠密で、海外移民が多く、古來支那大陸との關係が深く、習俗は内地と特異な點がある。縣政治の中心那覇市(開港場)は



那 覇 港



霧島山高千穂峰

耶馬溪
(昔の門前川)阿蘇山
(噴火口)

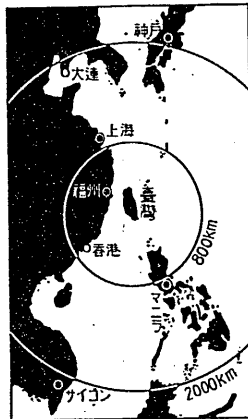
臺灣地方

◆我が國は支那と福建省の不割譲條約を結んでゐる。



臺灣御征討の北白川宮能久親王殿下

は琉球列島の西南端に横たはる大島で、東は洋々たる太平洋に臨み、西は臺灣海峡を距てて支那の福建省、廣東の二省に、南はバシー海峡によつてフィリピン群島と相對してゐる。



臺灣の位置

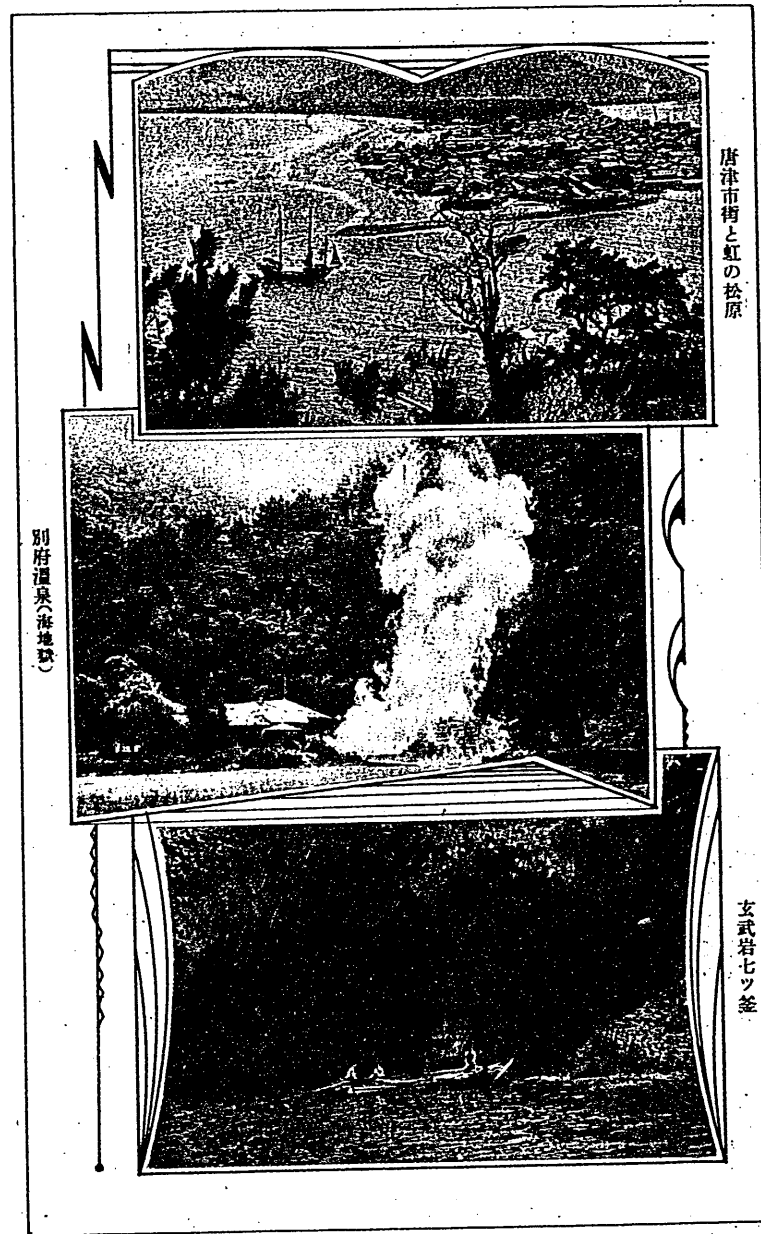
本地方は、臺灣島及び澎湖島を併せた地域である。臺灣島

一 地域・位置

沿革 臺灣島は古くは高砂と呼ばれてゐた。今から凡そ三百年以前は一時和蘭人に占領されたこともあつたが其の後（西紀一六八八年）清國の領土となつた。ついで明治二十七八年戦役の結果我が國へ譲渡された。併し島内にはなほ我が國に従はないものがあつたので、北白川宮能久親王が御征討遊された。爾來島民は皇恩に浴して本島開發のために努力を續けてゐる。

第十章 臺灣地方

面積 三、五九七、四平方
人口 五二一、五千人
密度 一四・五人



唐津市街と虹の松原

玄武岩七ツ釜

別府温泉(海地獄)

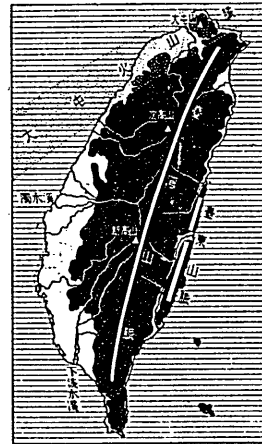


◆澎湖諸島は火山岩の臺地である。
 ◆濁水溪は山地間の諸盆地を流れて縱谷をつくり、蕃界嶺を出る處よりは著しく扇狀に亂流する好い例である。

二 地形

山地 臺灣山脈は本島の主軸となつて南北に縦走し、東西の分水界をなし、脈中に新高山、次高山の如き四千米に近い高峰を起してゐる。この山脈の東斜面には狭長な臺東平野を挟んで臺東山脈が東海岸に迫つて並走してゐる。また西斜面には埔里、日月潭等の諸盆地を隔てて低い蕃界嶺山脈が横たはり、脈中に阿里山がある。本島の北端には霧島火山脈の延長である大屯火山脈が走り、その餘脈は南西に延びて澎湖諸島に及んでゐる。大屯火山の麓には北投温泉の湧出がある。

平地 本地方の分水嶺が東に偏つてゐるので、西側には廣い臺灣平野が開けてゐる。この平野を灌漑する大甲溪、濁水溪、曾文溪、淡水溪



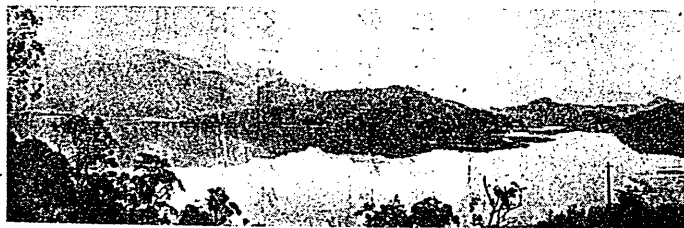
地形圖



◆本地方には濁水溪が二つあるから東部を特に宜蘭平野の濁水溪と稱すればよい。

等の河川は、山地の峽谷を出てからは著しく分流し、屢、洪水を起し、交通を妨げてゐる。北西部の淡水河流域には臺北盆地が開けてゐる。東斜面の北部には三角形の宜蘭平野があつて、濁水溪が分流し、南方の狭長な臺東平野には花蓮溪が北流し、卑南溪が南流して、中央の秀姑巒溪の流域と共に一の通谷をつくつてゐる。

海岸 沿岸は極めて單調な海岸線で、基隆高雄の外は、天然の良港に乏しく、西海岸には砂洲、砂嘴、潟湖の多い砂濱が續き、遠浅である。東海岸は、山體がたゞちに海に接して斷崖をなし、海底は急に深くなつてゐる。屬島は少く、

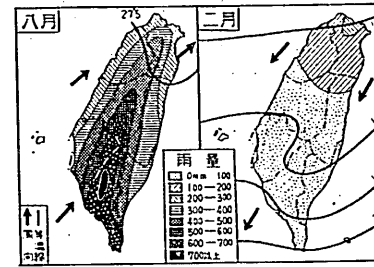


日月潭

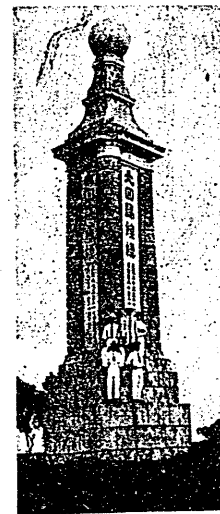
臺灣海峡の澎湖諸島、南東海上の火燒島、紅頭嶼などが主なものである。

三 氣 候

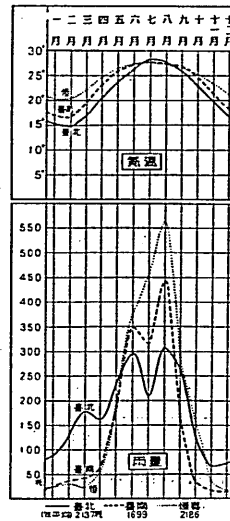
本島は、略中央を通る北回歸線から南北に二度を出てない處にあり、平均氣溫も一般に二十度を降らない。故に、氣候は概ね熱帶性で、四季の氣溫の差が少く、暑熱の期間は内地よりは長くて、山地の外は霜雪を見ることがない。



雨量は一般に多く、季節風の影響により乾季雨季が北部と南部とによつて異なり、冬は北東季節風によつて、北部は雨季で陰鬱な日が続き、基隆附近は我が國最多雨地の一に數へられる。夏は南西季節風によつて、南部が



北回歸線標



雨季となり、又雷雨と颱風とが屢襲來する。八、九月の頃には、その颱風が豪雨を齎らし、災害を及ぼすことがある。

生物

類は内地と趣を異にしてゐる。植物分布は高地に至るに随つて變化し、低地には榕樹、檳榔、樹林、投樹、竹類の熱帶性植物が茂り、バナナ、パイナップル等も栽培され、密林には籐などの蔓生植物があり、海濱には紅樹林が見られる。山麓の丘陵地には樟が多く、山腹には溫帶性の扁柏、紅檜などの美林があり、山頂に近づくと隨つて寒帶性植物に移化する。動物には穿山甲、毒蛇などが棲み、内地に見られぬ水牛が飼養されてゐる。

林投樹

住民

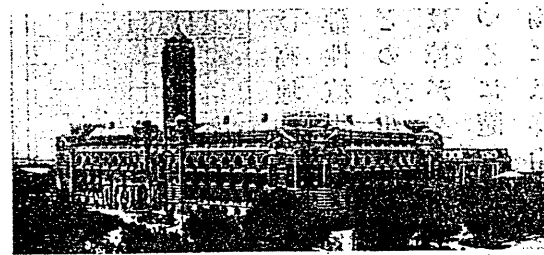
住民の大部分は、對岸の支那から

四 住民・政治

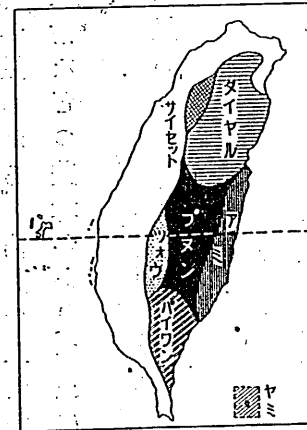


種族別人口	本島人	内地人	外国人	(第2支那人)
約40万人	35万人	5万人	6万人	

州廳別人口密度	新竹	苗栗	台中	彰化	南投	雲林	嘉義	台南	高雄	基隆	台北	花蓮	台東
(平方人)	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55



移住した漢族(本島人)で、主として福建人、廣東人の子孫であり西部平野に住し、農耕や商業に従事する。原住民を高砂族(マレー)と稱し、漢族に逐はれて山地に入り、原始的生活を営み、原始的な生活を営み、狩獵をこととする。平地に住んで内地人及び本島人に同化してゐるものを熟蕃といひ、農耕を営んでゐる。内地人は領有以後に移住したもので、主として都市に居住し、本島の政治經濟上、指導的の立場にある。近來は漢族及び高砂族も教育の普及により、齊しく皇化に霑ほふに至り、漸次その風習も内地化して來た。



高砂族の各種族分布

◆臺北帝國大學は文政・理農・醫の三學部に分れてゐる。

州廳別人口密度	新竹	苗栗	台中	彰化	南投	雲林	嘉義	台南	高雄	基隆	台北	花蓮	台東
(平方人)	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55



教育所

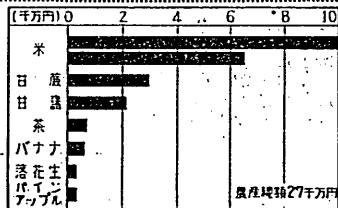
行政上、臺北市に臺灣總督府があつて全島を統べ、其の下に五州三廳があつて各地方の政務を司る。軍事上、臺北に臺灣軍司令部、馬公に海軍要港部が置かれ、澎湖諸島は殆ど要塞地帯となつてゐる。司法上、臺北に高等法院、臺北、臺中、臺南に地方法院がある。

熱帯病について特別の研究が進められてゐる。その他、臺北に高等商業と帝大附屬農林専門部があり、臺南に高等工業、臺北に高等學校がある。一般に内地人のために小学校、本島人のために公學校、高砂人のために蕃童教育所が設けられて、普通教育は漸次普及してゐる。

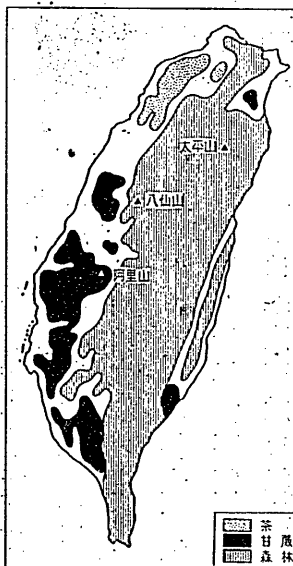
五 産 業

熱帯性氣候に恵まれて、農業は主要な産業となり、之に附隨した工

◆森林の廣さと
運材の便利な點
で太平山は將來
最も有望である。



臺灣主要農産物



茶・甘藷・森林の分布

家禽の飼養が盛である。

茶と共に本島の四大農産物の一に數へられる。その他落花生麻類をも産し、バナナ、パイナップル等の果實があつて、盛に内地へ移出される。

牧畜 家畜は内地と比較して遙かに多く飼はれ、農耕用の水牛、黄牛の外、豚



パイナップル畑



水牛の群

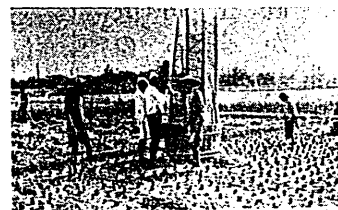
〔家畜〕本島の家畜を内地と比較するに牛は農家一戸當り約一頭(内地の三倍)、豚は四頭半(内地の二倍)、家禽は約二十五羽(内地の二倍半)を飼養してゐる。水牛は熱帯特有の家畜で暑さに堪え粗食に甘んじ、水浴を好む習性を有してゐるから水利の便ある所で飼育される。多



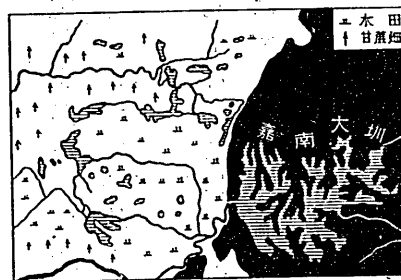
收穫期に於ける甘蔗畑

◆臺灣の耕地面積は總面積に對して二割四分に當り、内地の總面積に對する比(一割五分)に比べて遙かに多い。

地を主産地とし、烏龍茶、包種茶、紅茶として海外に輸出される。甘藷は至る所に栽培され、住民の常食とする外、酒精、澱粉の原料及び豚の飼料となり、米、甘蔗



米の收穫



嘉南大圳(坤圳の一例)

業が發達してゐる。

農業 高温多雨の上に耕地が廣く、殊に近年埤圳(灌漑水路)の工事完備し、農産品質の改良が行はれてゐるため、米、甘蔗の産額は増加した。米は中部以北の平野に多く、年二回の收穫があり、蓬萊米として内地へ移出する額は、年々増加の傾向にある。甘蔗は中部以南の平野に多く、隨つて製糖業は臺南、高雄二州に盛に行はれてゐる。



阿里山の木材運搬

濕な水田耕作には缺くべからざる家畜である。

林業

中部山地の阿里山、八仙山、太平山等には大森林があり、扁柏、紅檜の良材を出してゐる。中北部の丘陵には樟が多く、本島特産の樟腦を採取して、内地及び海外に移輸出し、世界需要額の大半を供給してゐる。

水産業

近來は基隆、高雄を根據地として、南支那海及び南洋の海上に出漁するものが多く、遠洋漁業が漸次盛となり、鯷、鮪、旗魚などの漁獲が多い。又北部には鯉節の製造も盛である。西海岸一帯には鹽水養魚が行はれ、天日製鹽も盛に行はれてゐる。

◆錦水には天然瓦斯の噴出があり、ガソリンを採取してゐる。

鑛業 北部の瑞芳、金瓜石に金銅、基隆附近に石炭を産する。西部の丘陵地には油田が多く、將來有望である。殊に苗栗附近の出礦坑は知られてゐる。



樟腦製造（原木をきざむ）

工業

農業の附隨工業として興つてゐる。西南部の製糖業、バインアップルの罐詰業及び北部の製茶業を始め、臺北には樟腦の精製が行はれる。各地に林投樹の纖維等で作る帽子、蓆や竹紙、籐細工等の家内工業も行はれてゐる。近時、日月潭の水力が供給せらるゝに至つて近代工業は漸次有望となつて來た。

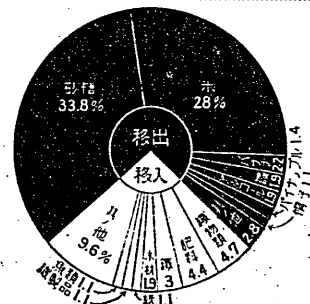
商業

近年、本島産業の發展に伴ひ、商業は活潑となり、移輸出超過を示してゐる。内地との取引が主で、砂糖、米、バナナ、バインアップルの罐詰等移出し、織物類、肥料、鐵木、材紙、乾魚等を移入する。外國貿易は主に茶、樟腦、水産物を輸出し、豆粕、石油等を輸入する。

六 交 通

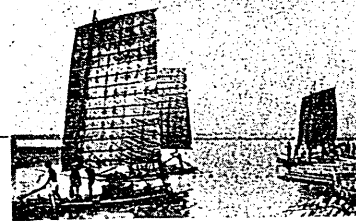
陸上交通

道路は漸次改善されて來たが、河川の氾濫が多くて未だ不充分なるを免れない。舊來の轎臺車は、漸次自動車及び鐵道に變りつゝある。鐵道は西部平野によく發達し、基隆より高雄に至る。



臺灣の移出入額比較

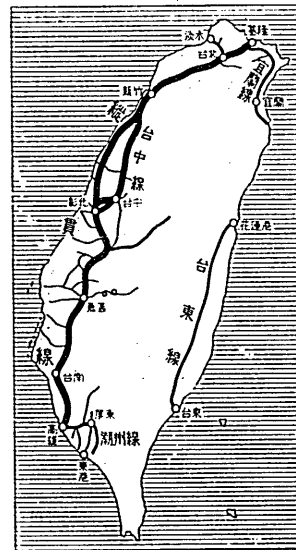
未だ臺車（内地のトロ）は田舎の交通機關としてよく利用されてゐる。



縦貫線を幹線として、各地に支線を出し、特に製糖地及び林業地へは多くの輕便線を出してゐる。東部の臺東平野には臺東線が南北に通じ、北東部には宜蘭線が海岸に沿うて走り、唯克一の横斷線となつてゐる。

水上交通 航路は基隆・高雄の二開港場を本島の二大關門として内地支那及び南洋方面に通じてゐる。淡水・安平（共に開港場）は支那との交通を主としてゐるが、港内の水が浅くて大船を入れることが出来ない。別に對支貿易のために戎克船の出入を許す特別開港場がある。

航空通信 臺北は内地との定期航空路の發着地となつてゐるが、將來本島は南支・南洋への航空路の重要な地點として利用さ



鐵道圖

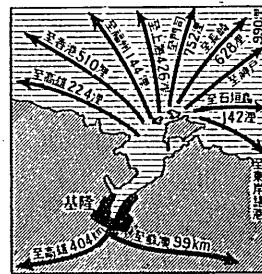
都市別人口
臺北市 二五〇、〇〇〇人
基隆市 一〇〇、〇〇〇人
嘉義市 五〇、〇〇〇人
新竹市 四〇、〇〇〇人
屏東市 三〇、〇〇〇人
臺中市 二〇、〇〇〇人
彰化市 一〇、〇〇〇人
臺南市 五、〇〇〇人
高雄市 四、〇〇〇人
屏東市 三、〇〇〇人
臺南市 二、〇〇〇人
高雄市 一、〇〇〇人
屏東市 五〇〇人
臺南市 四〇〇人
高雄市 三〇〇人
屏東市 二〇〇人
臺南市 一〇〇人
高雄市 五〇人
屏東市 四〇人
臺南市 三〇人
高雄市 二〇人
屏東市 一〇人



七 處 誌

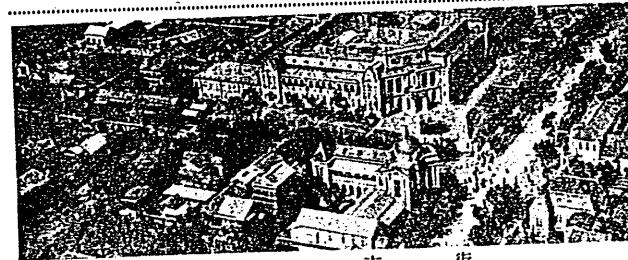
れるであらう。海底電線は九州に通じ、對岸の支那とも連絡してゐる。又内地との間に無線電話が通じてゐる。

聚落は多く西部の臺灣平野に分布してゐる。主要都市は舊城下町が政治の中心として發達し、之に次いで港市が發展して來たものである。



交通の要地基隆

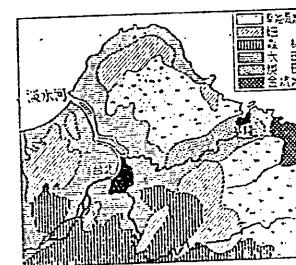
北部（臺北州） 本島の北門戸に當る基隆市（開港場）は、天然の良港をなし、設備がよく整ひ、内地との交通が頻繁である。米・茶・樟腦・砂糖・バナナの積出が多く、全島移輸出額の半以上を占めてゐる。臺北・臺北市は臺北盆地の中央に位し、淡水河に臨む近代的城市で、本島文化の中心をなし、政治・經濟・軍事の諸機關が備つてゐる。市内には製茶業も行はれる。



臺中市街

淡水は淡水河口を利用した開港場で、支那との取引が行はれる。宜蘭は宜蘭平野の中心地であり、木材農産物の取引が盛である。南方の蘇澳は漁港で、鰹の集散が多い。桃園は茶の栽培の盛な桃園臺地の中心をなし、新竹市は柑橘樟腦を集散し、苗栗には石油の精製が行はれる。

中部（臺中市）臺中盆地には米バナナの栽培が多く、盆地の中心をなす臺中市は、それらの集散が盛で、近時急速に發展した新興都市である。豐原は八仙山森林地帯の入口をなし、製材が行はれる。海岸に近き大甲はバナナ帽の産地であり、南方の彰化市は中部臺灣の古都で、純本島人の商業都市である。鹿港は彰化の外港であり、また製鹽の中心でもある。山間の埔里は同名の盆地の中心地で、理蕃の要地であり、南方に風光



北部の産業分布



臺南神社

◆臺南市内に北白川宮能久親王殿下御終焉の地、オランダ人の築造にかゝる赤崁樓及び鄭成功の廟などの史蹟がある。
◆臺南神社は能久親王を祀る官幣中社である。

の美しい日月潭（水力發電に利用）がある。

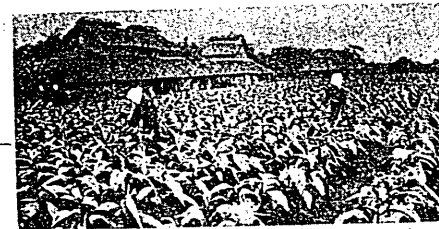
南部（臺南州）

臺南州は本島最古の開発地であるから、人口は本島中最も密な地方である。平地には甘蔗及びパイナップルの栽培が盛であり、また海岸一帯には、天日製鹽が行はれる。嘉義市は阿里山線の分岐點で、壯大な製材所がある。臺南市は本島南部の都會で、舊臺灣の政治の中心地であつたため、史蹟に富んでゐる。製糖製鹽業が盛で、その製品は市の一部をなす。安平（開港場）より積出される。高雄市開港場は本島の南門で、大船の碇泊に適し、砂糖の積出しが多い。鳳山屏東市は共に製糖業の中心地である。なほ鳳山はパイナップルの罐詰で知られ、屏東には陸軍飛行場があり、軍事上の要地である。恒春は我が

の美しい日月潭（水力發電に利用）がある。



臺南市街



花蓮港附近の内地人部落と煙草畑

國最南の都邑で、その南東の**鶯・巒・鼻**には無線電信局がある。

東部（花蓮港廳）

狭長な臺東平野が南北に連なり、域内は中央山地の爲に西部との交渉が絶たれ、一別天地をなしてゐる。平野には温順なアミ族が住み、農牧を營んでゐる。この地方の北門で、附近に内地人の居住が多い。臺東は南部の中心で、附近に甘蔗の栽培が行はれ、製糖工業が興つてゐる。南東海上の紅頭嶼には文化の低いヤミ族が住んでゐる。

〔臺東線に沿うて〕臺東線の沿道には、アミ族の蕃社や内地人の移民村が並んでゐる。内地人の多い花蓮港には、附近の吉野村（移民村）から出て来る野菜賣の呼聲もあつて、内地情趣が特に深い。牛車を二頭の水牛に引かせてアミの蕃人が威勢のよい聲で蕃歌を高吟しながら往來してゐる。水牛の首につけた小鈴が之に和してカラ／＼と鳴つて東部の樂土に平和な趣をそへてゐる。

澎湖諸島

澎湖漁翁白沙の島々を始め、六十餘の小諸島から成り、低平な熔岩臺地である。沿岸には珊瑚礁が多い。この諸島は、軍事上、重要な位置を占めるため、馬公には海軍要港がある。

◆鶯巒鼻南方の海上には七星岩がある。



蕃人部落（角板山）

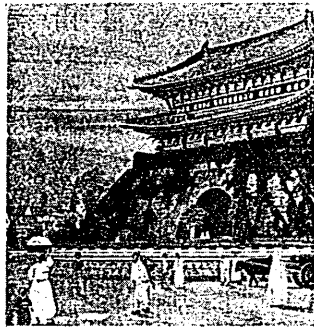


椰子樹と實

支那と交通するジャンク



◇日韓併合は韓
國皇帝が國民の
將來を幸福にせ
んとする御意に
基くものである



日韓併合

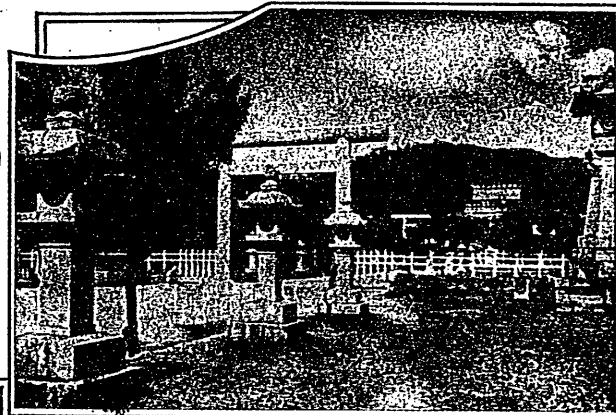
沿革 朝鮮半島は昔から幾度かの盛衰興亡を重ねて來たが我が國とは古くから密接な關係を有し殊に大陸文化の東漸には我が國への橋渡となつた。明治時代に至り朝鮮と支那及びロシアとの關係が複雑となり遂に日清日露の二大戦役が起つた。其の後明治四十三年日韓併合となり半島も普く皇化に浴するを得て今日の繁榮を見るに至つた。

第十一章 朝鮮地方

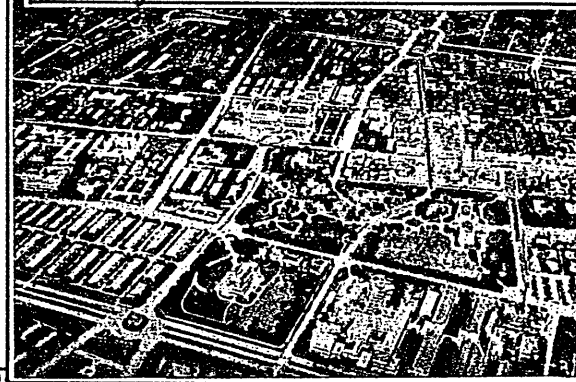
面積 二二〇七六八六平方
人口 二二八九四八八

一 地域・位置

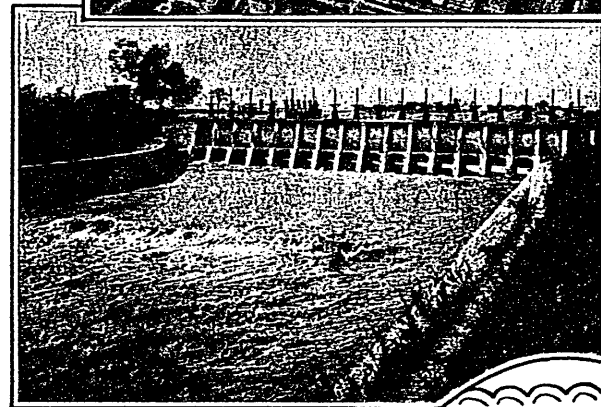
本地方は、日本海と黄海との間に突出した南北の延長約一千軒の一大半島と、近海の屬島とより成る地域である。北は鴨綠江及び豆滿江によつて滿洲及びロシア領シベリヤと境し南は朝鮮海峽を隔てて九州地方と相對してゐる。



臺灣神社



空中より見たる臺北市街



臺南大壩の灌漑工事
(第一制水門)

◇大白山脈には竹窟嶺、小白山脈には秋風嶺などの峠がある。



白頭山頂の龍玉潭

二 地形

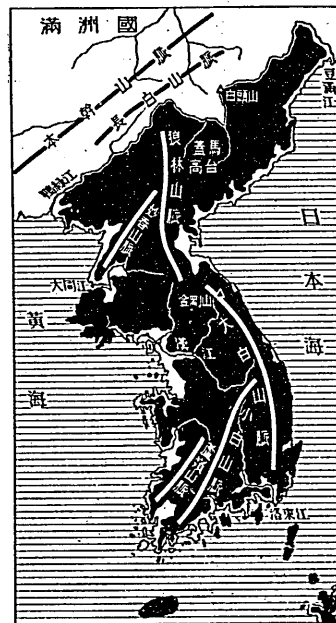
山地

北部は高原性の山地で國境には高峻な長白山脈が連なり、白頭山(休火山)が噴起してゐる。その南方一帯は火山岩から成る蓋馬高臺が廣く横たはり、西南方へ妙香山脈が延びてゐる。

中南部の山地は北部よりも低山性である。大白山脈は東方に偏して南北に走り、半島部の分水嶺となつて、東西兩斜面を分けてゐる。山中には奇景を以て知られる金剛山の勝地がある。この山脈より小白山脈、車嶺山脈等が分岐して南西の海岸にまで達し、島嶼となつて海上にあらはれてゐる。

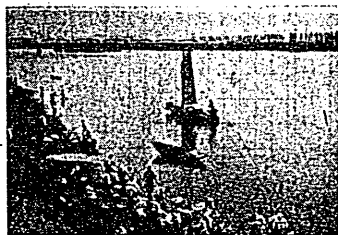
平地

北部は一般に高原性であつて平地が少い。白頭山よ



地形圖

◇金剛山は大白山脈中にある勝地で、永年の風化侵蝕によつて花崗岩の奇景を現してゐる。金剛は金剛山の一部で、東の海に沈み、西の海に現れ、その奇観を呈してゐる。



平壤附近の大同江

り流れる鴨綠江(黄海へ)や、豆滿江(日本海へ)の如き大河でさへその流域には廣い平野をもたない。中南部では分水嶺山地が東に迫つてゐるので、日本海斜面には平地は少いが、黄海及び朝鮮海峡斜面には緩かな起伏のある平野が開けてゐる。随つてこの斜面には清川江、大同江、漢江、錦江、蟾津江、洛東江等の長流があり、何れも舟運、灌漑の便がある。併し之等の河川は夏季屢豪雨のため氾濫し、農作物に被害を與へることがある。

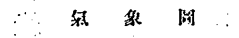
海岸

東海岸は山脈が海岸に沿うてゐるので一般に出入が少く、僅に永興灣、迎日灣があるに過ぎない。西岸及び南岸は之に反して極めて屈曲に富み、西朝鮮灣、江華灣の大灣入を始め、幾多の小海湾、半島、島嶼が分布し、殊に南西部には濟州島を始め、大小無數の島々が散在して朝鮮多島海の稱



海金剛

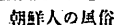
◆冬の三寒四温とは、寒冷な北西風が三日も降り続いて気温が降ると、その後には風力が衰へて気温が上昇する日が来る、この寒暖の目を繰返すことをいふ。大陸高気圧の一進一退の影響によるもので日本海地方にはかゝる特色がある。



一般に寒暑の差が著しく、殊に中北部は冬季北西季節風が強く、河川が凍結して、大陸的氣候の特性を現すが、南部は比較的海

三氣候

九州と大差がない。雨量は内地より少く、殊に北東部は我が國の最も雨量の少い地帯に屬する。季節風によつて雨季乾季に分れ、夏は南東の濕風を受けて雨季となり、冬は北西よりの乾



風によつて乾季となる。

四 住 民 政 治

人口は二千一百餘萬で、その密度は内地の六割に過ぎない。また、その分布は南西部が密で北東部が疎である。住民は、人種的には内地人と相似て容貌は

殆ど變りはない。近年内地へ出稼ぎする者が大いに増加してゐる。また從來隣接の滿洲への移住も多く、今日は、その數約七十餘萬に達するに至つた。

行政上、總督府を京城に置き、地方を十三道に分けて治めてゐる。軍事上、京城に朝鮮軍司令部、羅南^(第十五師團)、京城^(第二十師團)には各師團司令部が置かれてゐる。又、鎮海に要港部





京城帝國大學

があり、鎮海、釜山、元山、羅津の各附近は要塞地帯となつてゐる。司法上、京城に高等法院、京城平壤、大邱に覆審法院がある。

教育

初等教育には普通學校、中等教育には男女の高等普通學校があり、内地人のためには小學校及び中學校、高等女學校がある。專門學校以上は内鮮共學である。京城に帝國大學や法學醫學の兩專門學校、高等工業、高等商業學校があり、水原に高等農林學校、大邱と平壤とに醫學專門學校がある。

五 産 業

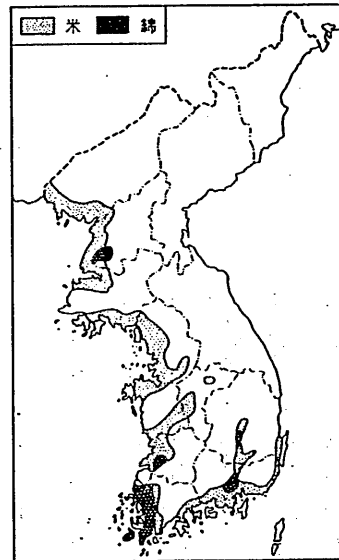
◇京城帝國大學は法文・醫の二學部に分れる。
◇耕地には、烟地が多く、水田は過ぎない。
◇西海沿岸には漁業が盛んで、水産物と農産物の貿易が盛んである。

農業の首位を占めるのは農業である。併合以來、土地の開拓に意を用ひ、河川の修築、貯水池の築造などの灌漑法及び農産品種の改良に力を致したので、耕地面積は全面積の二割餘に及び、農産額は漸次増加してゐる。住民の八割は農業に従事し、北鮮の高原には、火田民と稱する焼畑の耕作者



米田の灌漑貯水池

牛の頭數
千頭
一六四
一六七
朝鮮地方



米・綿の産地

が多い。

農産は米を第一とし、棉花と共に西部南部の高温多雨の平野に多く産する。

麥、粟、馬鈴薯は低温

少雨の北部に多い。

大豆は殆ど到る處に

良質のものを産し、米

小麥と共に多く内地へ移出される。其の他各地の麻類、開城附近の人蔘、平壤平野の苹果、甜菜などは主なるものである。養蠶も廣く農家の副業として行はれる。

牧畜

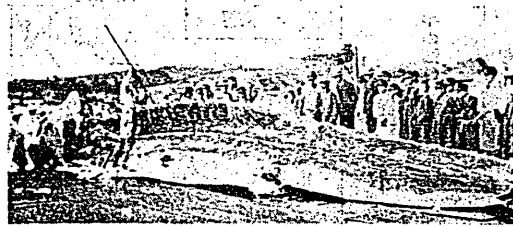
一般に牧牛が盛で、内地より頭數が多く、肉牛として内地へも移出される。鶏豚の飼育も亦盛である。

林業

森林地の面積は全域の七割に及ぶが、古來濫伐のために不



開城附近の人蔘乾燥場



捕鯨の浦生長

振て、殊に中南部は甚だしい。近年、官民の努力によつて殖林經營が着々成功して殆ど面目を改めた。北部の鴨綠江、豆滿江上流には朝鮮松、落葉松、唐檜などの寒地性樹林が多く、冬季に伐採し、夏季に筏として主に新義州に送る。

水産業

沿岸には魚族が豊かで、東岸の明太魚、西岸の石首魚は主なるものである。なほ東岸及び南岸には鰻、鯖、鯛の漁獲も多く、釜山は水産物の大集散地となつてゐる。西海岸には天日製鹽が行はれ、廣梁、灣朱、安等はその中心である。

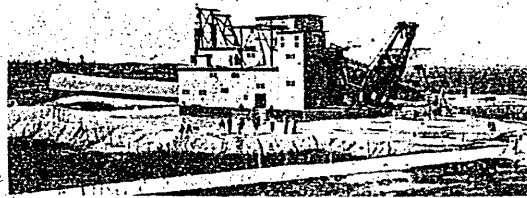
鑛業 本地方は鑛産物の埋藏が豊富で、金、鐵、石炭及び黒鉛などの産が多い。金は雲山、大楡洞、等平安北道を主産地とし、鐵鑛



鴨綠江の筏流し



咸鏡江流域の發電所分布



金堤の砂金採集

は黃海道、咸鏡南道の利原、栗及び咸鏡南道の利原の各地に採掘され、又金堤では盛に砂金の採取が行はれてゐる。鐵鑛はこの地の兼二浦で製鍊される外に八幡の製鐵所へも供給される。石炭は平壤附近に多く、寺洞の無煙炭は徳山海軍燃料廠へ送られる。

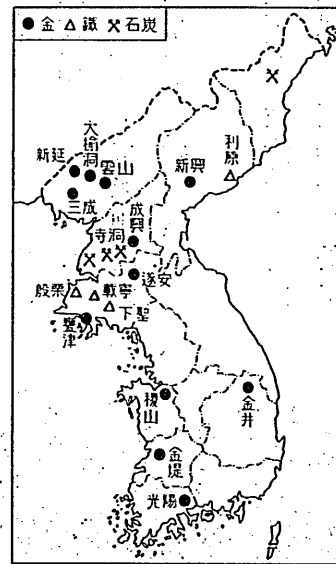
工業

在來の織

物、製紙、陶磁器等の家内工業は餘り振はない。併し、近時石炭と鐵鑛産地とに近接した平壤附近には、製鐵、セメント、製糖の近代



赴戰江の發電所



金・鐵・石炭の分布

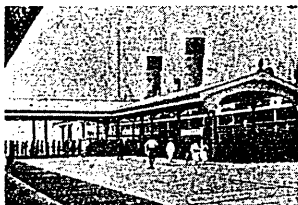


◆北鮮線と羅津港とは満鐵の經營に屬する。

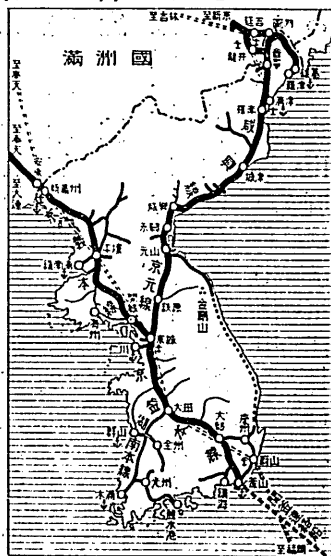
豆満江を渡る北鮮線の國際列車

釜京義の兩線が半島縦貫の幹線となり、内地と滿洲とを連絡する國際上の重要線となつてゐる。この幹線に連絡して京元線は咸鏡線及び北鮮線と結んで滿洲の鐵道に連なる。釜山下關間には關釜鐵道連絡航路を通じてゐる。

水上交通 河川の大なるものは流が緩やかで、冬季結氷の期間以外は舟運の便がある。



釜山港の關釜連絡船
(順安商會委託船)



鐵道圖

行はれる。

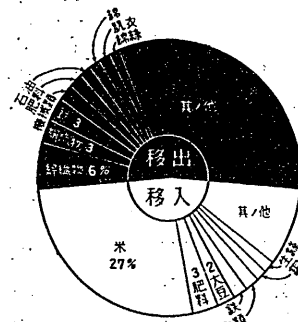
六 交通

陸上交通 道路の改善に鋭意力を注いだから、昔の道路は面目を一新し、自動車の利用が漸次盛になつてゐる。鐵道は京

◆定期市場には農産物及び日用品の取引が行はれ、大邱の外に平壤、江界、開城等は名高い。



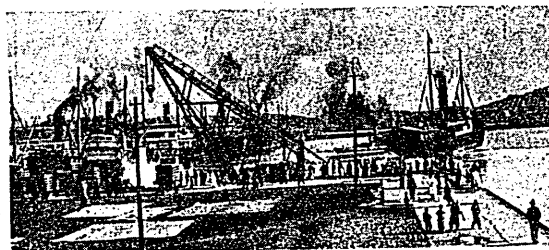
大邱の定期市場



朝鮮の主要貿易品の移出入

工業が興り、京城附近では皮革紡織醸造等の諸工業が盛になつた。其の他、水力に恵まれた興南には人造肥料、新義州には製材、ハルプ工業が行はれてゐる。

商業 古來定期市場が盛に開かれ、大邱の市場はその代表的なものである。内地及び外國に對する商業は漸次盛となつてゐる。内地との取引に於ては主として米、肥料、大豆、鐵礦等の食料品、原料品を移出し、織物、機械類、貿易は仁川を始め、雄基、羅津、清津、城津、元山、釜山、木浦、群山、鎮南浦、新義州、龍巖浦等の開港場に於て



仁川港

都市人口
京城府 三〇五、〇〇〇
釜山府 一五〇、〇〇〇
平壤府 一〇〇、〇〇〇
大邱府 八〇、〇〇〇
仁川府 七〇、〇〇〇
元山府 六〇、〇〇〇
開城府 五〇、〇〇〇
新義州府 四〇、〇〇〇
咸興府 三〇、〇〇〇
清津府 二〇、〇〇〇
全州府 一〇、〇〇〇
光州府 八、〇〇〇
群山府 六、〇〇〇
太田府 四、〇〇〇
馬山府 三、〇〇〇

千人 五百 三百 二百 一百 五十 三十 二十 十 五 三 二 一



釜山府 (鎮海警察署司令部前)

海上には開釜連絡航路の外に釜山仁川元山の三開港場を中心とする内外の航路を通じ、羅津港(開港場)は將來滿洲北部地方と内地諸港との間の連絡港として注目せられてゐる。

航空通信

本地方は内地滿洲間の定期航空路に

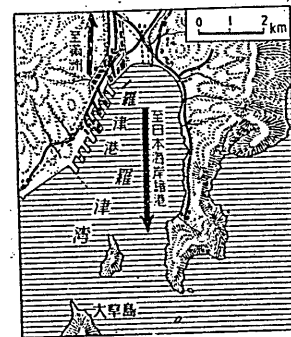
當り、蔚山・京城・平壤・新義州は着陸地となつてゐる。

海底電線は元山・釜山より内地へ通じ、無線電信局

は京城・木浦・釜山・清津等に設けられてゐる。

七處誌

南部 洛東江流域に當る慶尙南北道は、平野が多く、氣候も良好で各種の農産物が豊であり、又近海は漁利に富んでゐるから、半島中人口の最も稠密な地方である。釜山府は洛東江口に近く、絶影



羅津港

◇鎮海に海軍航空隊がある。



群山港の米の積出

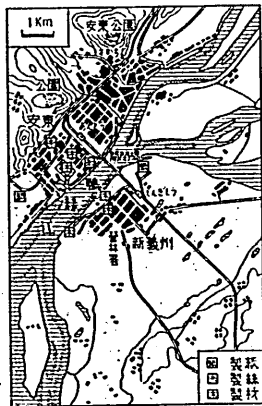
島を前に控へた港市で、半島の南門をなし、下關との間に鐵道連絡航路が通じ、市街は内地風を帯びてゐる。港は半島第一の開港場として、米・大豆・肉牛の移出が多く、なほ漁港としても重要な位置を占め、また近時紡績業も興つてゐる。西方の鎮海灣頭に、清酒醸造に名高い馬山府があり、鎮海は海軍要港である。蔚山は内地との航空路の要地に當り、長生浦(蔚山港)は浦項(通川)と共

に漁業の根據地である。慶州は新羅の舊都で、史蹟に富み、大邱府は附近の農産物の大集散地で、定期市を以て著れてゐる。

錦江・榮山江流域の湖南平野は、主に全羅南北道の地域を占め、半島に於ける主要な農業地で、米・綿



京城府



新義州附近

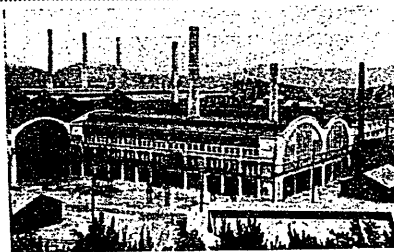
京釜京義京元三線の集中點である。仁川府は京城の外港として榮え、水原には總督府農事試驗場があり、農事改良の中心地となつてゐる。開城府は高麗の舊都て人蔘の特産がある。黄海道はその半島部に、金鐵鑛の採掘地が多く、大同江畔の兼二浦には製鐵所が設けられてゐる。

北部 黄海斜面の平安南北兩道の地は大同江流域の平壤平野が最も廣く開け、その中心都市は平壤府で、大同江に臨み北鮮第一の發達をなしてゐる。附近は甜菜糖セメント製造等が盛である。大同江口の鎮、南浦府はこの地方の門戸をなし米の集散地である。鴨綠江の下流に臨む新義州府は滿洲に對する要地で、木材の集散が盛であり、製材製紙工業が行はれる。

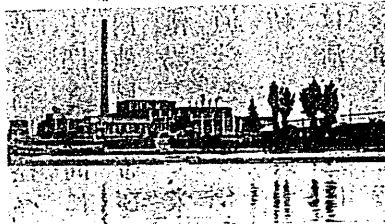
日本海斜面の咸鏡南北道は山勝ちな地方で、高



元山港



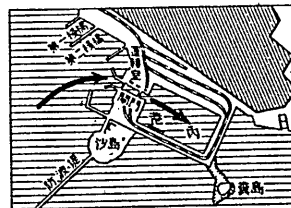
兼二浦製鐵所



平壤の甜菜糖製造工場

の産が多く、太田府全州府光州は共に農産物の集散地である。西岸の群山府(開港場)は米、木浦府(開港場)は綿の移出港として榮え、南海岸の麗水もまた湖南地方の門戸をなし、下關港との間に連絡航路が通じてゐる。濟州島は漁業の中心である。

中部 京畿、黄海、江原三道を含み主として漢江の流域となつてゐる地方である。京城府は漢江に沿ふ小盆地内に在り、古くより政治文化交通の中心地である。總督府朝鮮軍司令部及び第二十師團司令部、京城帝國大學、李王家の舊王宮等がある。また

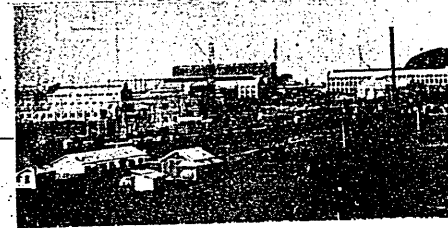


仁川港



木浦港の綿の積出し

朝鮮神宮、天照大神、明治天皇の二柱を祀る官幣大社である。平壤附近には漢の四郡を置いた當時の榮浪遺跡がある。仁川港は潮汐干満の差が大であるから開門式船渠を用ひてゐる。

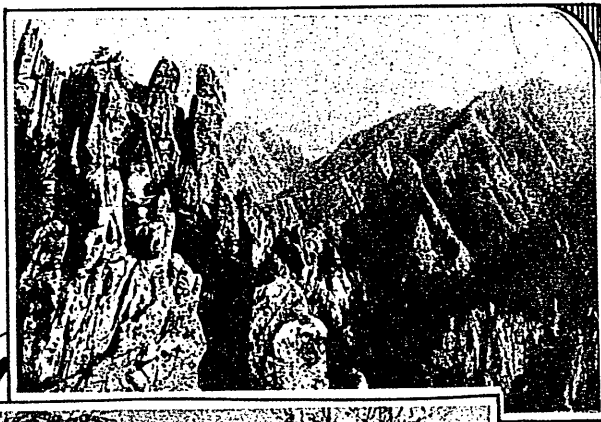


興南の窒素肥料工場

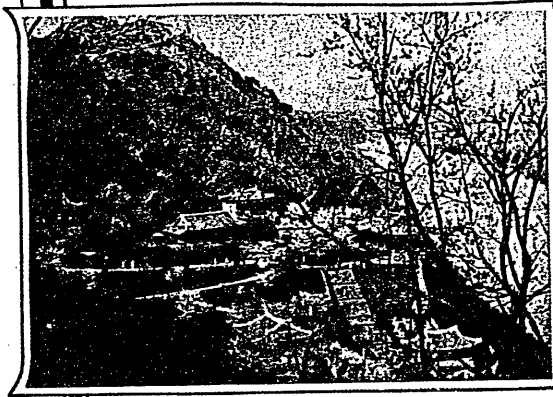
原上では火田民が住み、畑作が多い。永興灣に臨む元山府は、日本海方面の開港場として黄海斜面との連絡上唯一の要地となつてゐる。咸興は咸鏡線に沿ふ要地で、その附近の興南には水力電氣を利用して窒素肥料工業が行はれてゐる。咸鏡北道の沿岸には城津清津羅津雄基の開港場が並び、北満洲の開發に伴つて重要な門戸をなしてゐる。殊に羅津は日満連絡の最適港として注目されてゐる。羅南(第十九圖)は會寧と共に國境警備の要地として發展してゐる。

〔火田民〕 火田民は北朝鮮の高原に住居してゐる農民である。彼等は自由に國有林に侵入してその樹木を焼拂ひ、焼拂つた土地は全く肥料を施さずに耕作し、燕麥などを栽培する。數年耕作して土地に肥料分が盡きると、放置し、草生地となつた頃再び焼いて開墾する。其の間他の新しい地域を探し求めては移動する。この方法を繰返して漂泊の旅をつゞけてゐる。火田民の總數は百二十萬人と稱せられてゐる。

金剛山奥萬物相



平壤牡丹臺と大同江



大同江(鐵橋附近)



◇關東州の面積は略々奈良縣に等しい。

◇最初ロシアが支那から租借した時は一八九八年より二十五ヶ年の約束であつた。



營 師 水

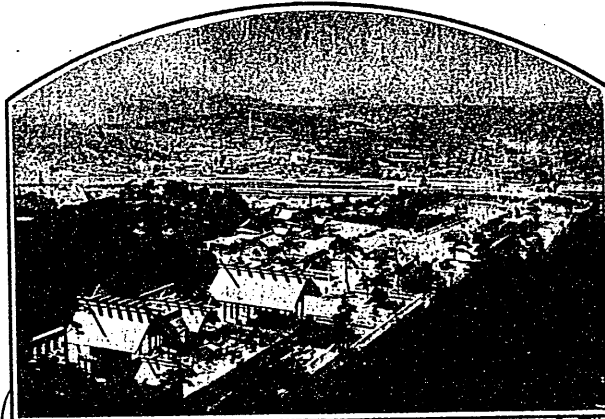
沿革 我が國は明治二十七八年戰役の結果遼東半島を支那より領有したが三國干涉によつて之を支那に還附した。其の後ロシアは半島南西端にあたる關東州の地を極東經營の根據とするために支那から租借してゐた。明治三十七八年戰役の結果我が國はロシアよりその租借權を譲り受け大正十四年の日支條約で租借期限を九十九ヶ年（一八九八年より）とした。其の後本地方は滿洲の領土となつたので我が國は引續き滿洲から租借してゐる。

第十二章 (一) 關 東 州

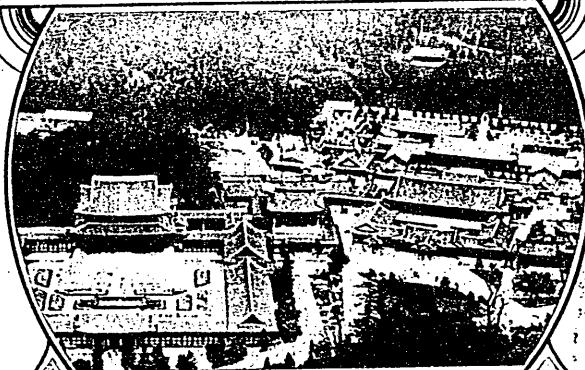
面積 三四六二平方
人口 一三三萬七
密度 二方毎

一 地 域・位 置

本地方は遼東半島の南西端を占め、東は直隸海峽を距てて支那の山東半島と相對し、西に渤海灣を抱き、滿洲の門戸をなす主要な位置を占め、我が大陸發展の策源地となつてゐる。



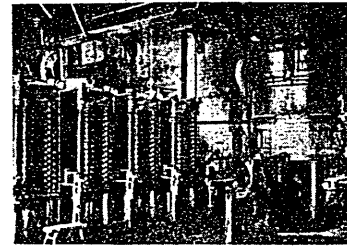
朝鮮神宮



昌德宮全景



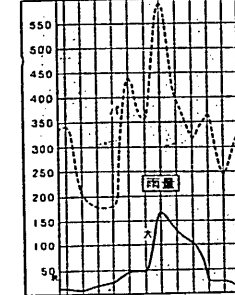
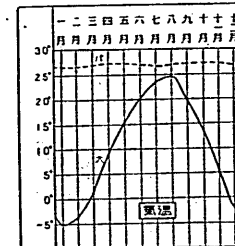
漢江に於ける氷上の魚釣り



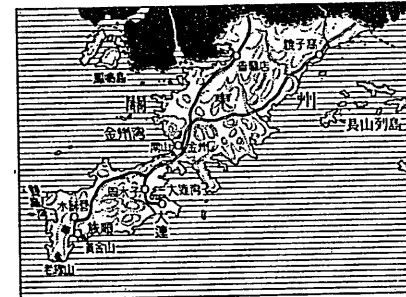
搾油工場

季に多いが、其の他の季節には概ね乾燥してゐる。

住民の多數は漢



氣象圖



關東州地圖

二 地 文

本幹山脈が延びて本地方の骨格をつくり、域内は丘陵がちである。また大連・金州兩灣の彎入によつて、金州地峽があり、南端に旅順の彎入もあり、海岸線は比較的長い。屬島は東に長山列島西に五島が散在する。

氣候は大陸の影響を受けて寒暑の差が我が本州の同緯度の地方よりも甚だしく、冬季港灣の結氷することがある。雨量は夏

三 人 文

主要都市人口
大連市 一四二千人
普蘭店 一六千人
旅順市 二五千人
金州 二五千人
旅順工務局は、日本全權大使の指揮監督をうけて州内の行政事務を管理する。
旅順工務局には旅順工科大学がある。
搾油工場は油房といはれてゐる。



大連港地圖

族であるが、内地人は三十一萬を超え、概ね商業又は交通業に従事し、都市に居住してゐる。我が國は旅順に關東州廳を置き、全域を旅順・大連・金州・普蘭店・貔子窩の五民政署に分けてゐる。軍事上、旅順附近は要塞地帯となつてゐる。司法上、旅順に高等法院がある。

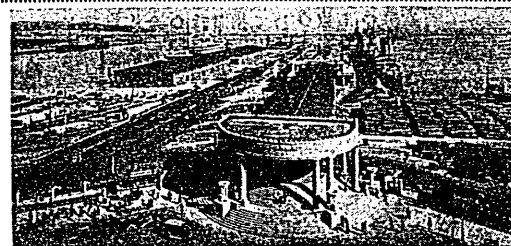


苦力の豆粕運搬

農耕地は全面積に比して割合に多く、住民の常食とする玉蜀黍高粱の外に落花生・大豆などの産がある。工業は位置の良好、滿洲炭供給の容易、勞力の豊富等によつて本地方の重要産業となつてゐる。大連を中心とする搾油業が最も盛で、豆油・豆粕の製造が多い。其の他綿絲用材・人造肥料・窯業等の工業も興つてゐる。沿岸の貔子窩・普蘭店・双頭灣附近には天日製鹽業が盛で、鹽は我が國へも多く輸出される。

大連市は本地方の開港場として滿洲國の門戸をなし、近代

◆大連港には満洲國の税關が設けられ、當國への輸入品には課税してゐる。

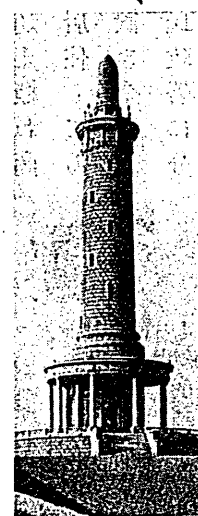


大 連 港 (旅順要塞司令部許可状による)

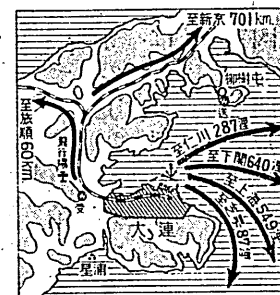
的都市として街區も整ひ、港灣の設備は完備し、海陸の連絡も至便で、東洋屈指の港市である。貿易は主に我が國と滿洲及び支那との間の仲繼で、大豆、豆粕、豆油、石炭、落花生等を輸出し、小麥、粉綿布、金屬製品、車輛及び諸機械の輸入が多い。また南滿洲鐵道

連京線の起點である。

旅順市は丘陵を繞らして天然の要害をなし、日露戰役の戰蹟に名高い。なほ市は貿易港を兼ねた海軍の要港で、軍事上の重要地である。又、政治教育上の中心地で、關東州廳高等法院、工科大学がある。金州は金州地峽の要衝に在り、古い城市で附近に南山の戰跡地がある。

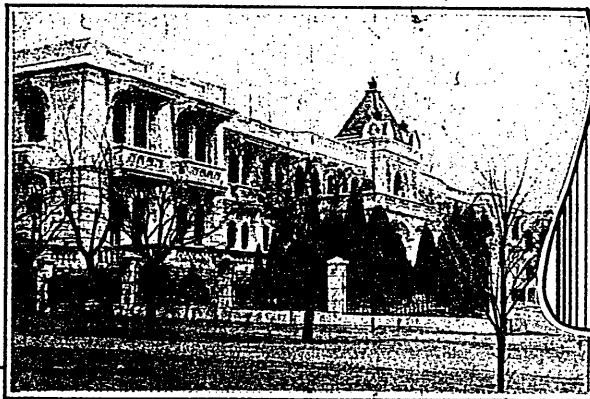


白玉山の表忠塔

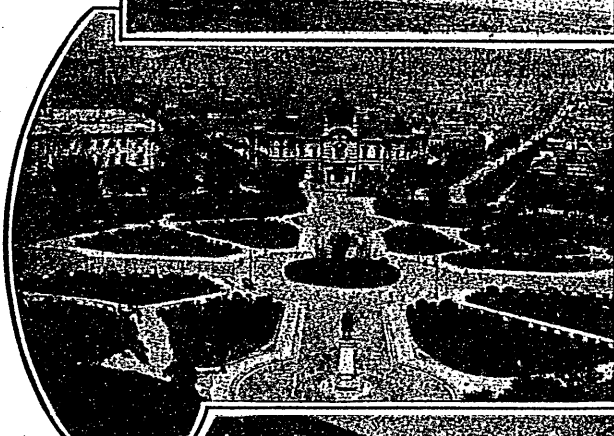


交通の要地大連

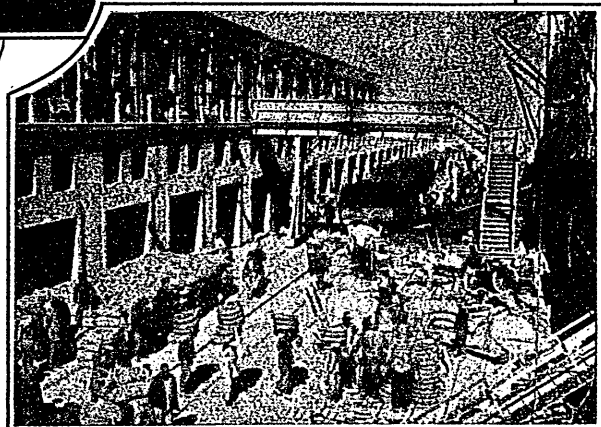
關 東 廳



大連市街(中央廣場附近)



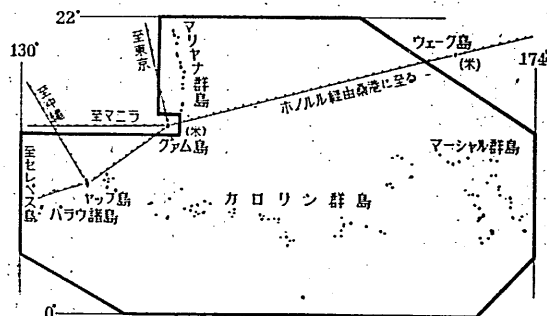
大連港(大豆・豆粕の積込)



南洋群島

◆面積は東京府に略し等しい。
六支廳
(支廳名)
サイパン
バラボ
ヤップ
トラック
ボナペ
ヤルート
委任統治地の種類
獨逸の海外領土は世界大戰の結果、委任統治された。而して統治地には文化の程度により委任の形式にもA、B、Cの三様式がある。我が南洋委任統治地はC式のみに屬し、その住民が近き將來獨立の見込みなきため、全然我が國の一部として統治するものである。

全群島は殆ど火山島又は珊瑚島から成る。マリヤナ群島は富士



南洋委任統治地

(二) 南洋群島 (我が委任統治地)

面積 二、四九〇平方
人口 一〇八八八
密度 二方

沿革 本地方はカロリン群島、マーシャル群島、マリヤナ群島から成る地方でもドイツ領であつたが、大正三年世界大戰の際我が國はこれを占領し、戦後委任統治を行ふこととなつた。我が國はパラオ諸島(カロリン群島の中)のコーロール島に南洋廳を置き、全島域を六支廳に分けて治めてゐる。

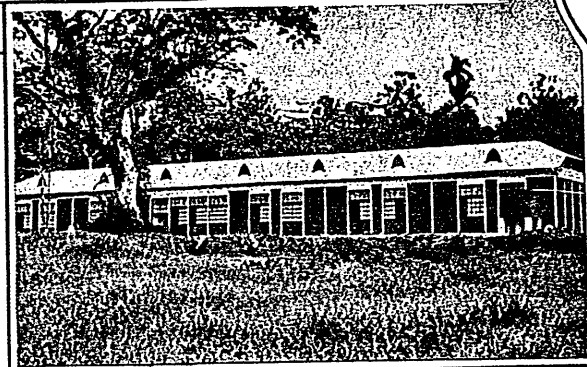
一 地域・位置

本地方は赤道以北約二十度(緯度)、東西約四十度(經度)間に散在する六百二十有餘の島々よりなる。之等の島嶼はマリヤナ、カロリン、マーシャルの三群島に分れる。

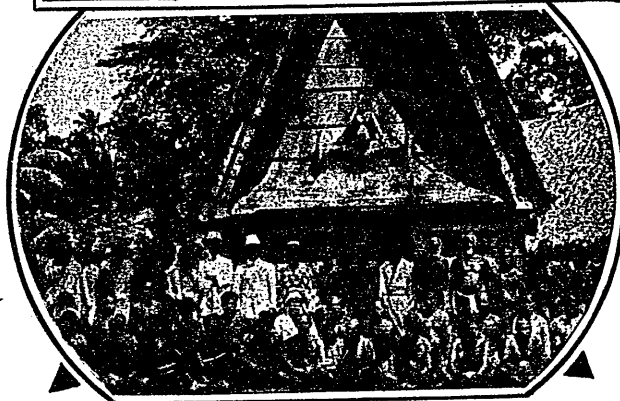
二 地文



南洋廳正門



パラウ島公學校



土人集會所(パラウ島)

◆マリヤナ海溝は最深九六三六米に達する。

◆ボナペ島には高さ九百米の火山がある。

◆邦人居住者は沖繩縣人が多く、約半数を占めてゐる。



土人の風俗(チャモロ族)

火山脈に連なる火山列島で、東側はマリヤナ海溝の深海に臨み、弧状をなしてゐる。中には活火山を有してゐるものもある。カロリン群島は東西約二十度の間に散在し、その西部のバラオ諸島は、マレー群島と地形上連絡がある。コロール島は南洋廳の所在地である。中部には本地方最大のボナペ島(島位)がある。トラック島は珊瑚礁で圍まれた大きな礁湖の中にあつて好碇泊地をなしてゐる。

マーシャル群島は、低い珊瑚礁から成り、ヤルト島には良港がある。

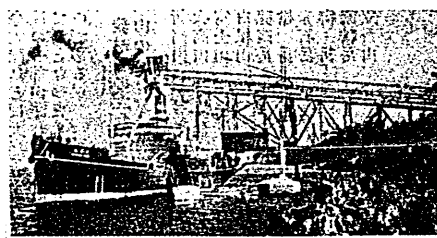
以上の三群島は熱帯海洋性の氣候で、四季の變化はないが、海風と驟雨とで凌ぎ易い。なほ雨量も多く、年二千乃至四千耗に達する。

三人文

住民はマレー人種に屬するミクロネシア族で、カナカ人(カノ)とチャモロ人(カモ)とに分れ

◆無線電信の装置を有する島はサイパン・デニアン・ロタ・バラオ・ヤップ・トラツク・ボナペ・ヤルト・アンガウルの諸島である。

◆高瀬貝は貝鈎の原料となる。



アンガウル島の糖鐵樹込

性質は一般に柔順であるが、文化の程度が低く、殊にカナカ人は今尚、原始的生活を行つてゐる。土人の教育は漸次普及し、次第に我が國風に同化しつつある。在住の内地人は約四萬人を算し、その大部分はマリヤナ群島にあり、主に甘蔗の栽培や製糖業に従事してゐる。

島民は甘蔗及び椰子の栽培を行ひ、砂糖とコブラとは本地方の主なる産物である。又沿岸には鰹鮪高瀬貝の産もある。

アンガウル島の燐礦は本地方唯一の燐産物である。

交通貿易は主として内地との間に行はれ、サイパン・バラオ・

アンガウル・トラツク・ヤルト・ボナペの六港を開港場としてゐる。輸移出品は砂糖、鰹節、燐礦、コブラ、輸移入品は米、織物及び船舶機械類である。

通信上、ヤップ島は海底電線の中継地として重要な地位にあり、また、主要諸島には無線電信所があつて内地との通信を行つてゐる。

◇大陸島とは大陸の一部が離れて島となつたものである。

我が國の主な山の高さ

新高山	三、五〇〇
次高山	三、四八四
白根山	三、三九三
穂高岳	三、三六〇
赤石岳	三、三〇〇
御岳	三、二八三
立乗山	三、二五五

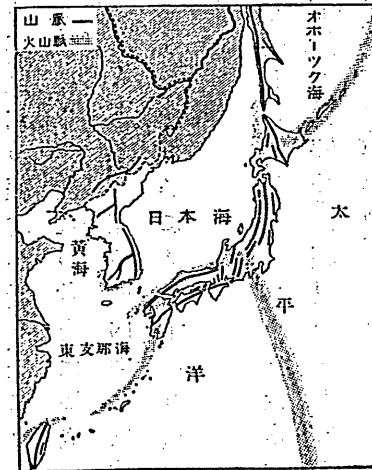
第二編 總 論

第一章 地 文

一 地 形

山系 日本列島は南北に狭長な列島で、アジア大陸の東縁に沿ふ大陸島である。この列島の中軸をなすものは北彎と南彎の二大山系である。

(一)北彎山系は樺太から北海道の諸山脈を経て奥羽の山脈に南下し、關東に至つて三國關東の兩山脈に及ぶもので、主として北東日本の地帯を構成してゐる。



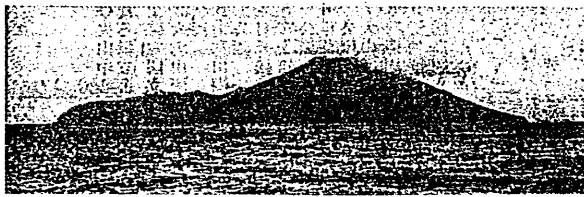
地形圖

(二)南彎山系は赤石紀伊四國九州の諸山脈より琉球を経て臺灣に連なり、地形は概ね高峻である。その内側に木曾飛彈の山脈より中國筑紫の山地に延びたものがあつて、その東部は高峻な地貌を表すが、西に延びるに隨つて比較的低山性で、處々に地壘や盆地を挟んでゐる。

(三)朝鮮半島は列島部と山系を異にし、概ね低山性で滿洲の國境に沿うて長白山脈があり、大白山脈が南北に走つて半島の主軸となり、これより南西に妙高小白等の支脈が派出してゐる。

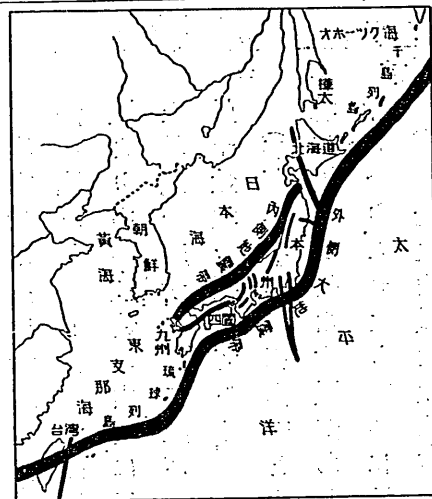
(四)富士火山脈は北彎、南彎の兩山系の出會ふ中部地方の地溝帯に噴出したもので、北東日本には那須火山脈が走り、その内側に鳥海火山脈が並走してゐる。更にその北東には千島火山脈が弧狀の千島列島を造つてゐる。

南西日本には乗鞍火山脈が略南北に飛彈山脈と重つてゐる外に、白山阿蘇の兩火山脈が東西に通じ、霧島火山脈が南西海中



富士山

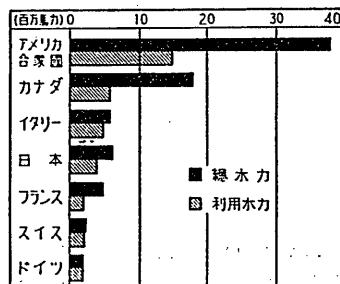
- ◆火山中心の主な国立公園
- 1 阿蘇国立公園
 - 2 大雪山国立公園
 - 3 十和田国立公園
 - 4 日光国立公園
 - 5 富士箱根国立公園
 - 6 中部山岳国立公園
 - 7 大山国立公園
 - 8 阿蘇国立公園
 - 9 雲仙国立公園
 - 10 霧島国立公園



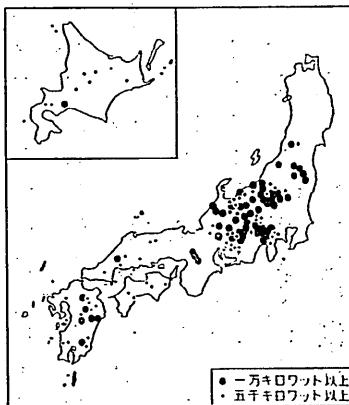
分布の地震帯

（五）以上のやうに我が國の地形は非常に複雑であるから處々に地震帯が通じ、その活動によつて屢々災害を起してゐる。之等の地震帯は環太平洋地震帯の一部をなしてゐる。

（六）列島は細長く延びてゐる上に、山脈は一般に島列の主軸となつてゐるので長大な河川が



世界の水力比較



我が國の水力発電所

の水力発電國となつてゐる。中でも本州の中央部九州の諸河川はその利用が盛である。又米産國としての我が國は河水を水田灌漑に利用

- 本邦の主な河川の長さ
- | 河川名 | 長さ (km) |
|-----|---------|
| 利根川 | 330 |
| 信濃川 | 330 |
| 石狩川 | 330 |
| 利根川 | 330 |
| 信濃川 | 330 |
| 石狩川 | 330 |
| 利根川 | 330 |
| 信濃川 | 330 |
| 石狩川 | 330 |

少い。内地に於ては信濃石狩利根などの諸河川が著しいが、何れも四百軒の長さに満たない。半島部では鴨綠江、豆満江、洛東江、漢江などが著しく内地の河川よりも長い流路をもつてゐる。かく短少で、しかも急流であるから、船運の便に乏しいが、落差が大であり、水量の多いのと相俟つて水力発電に利用せらるゝことが多く、本邦は世界有数の水力



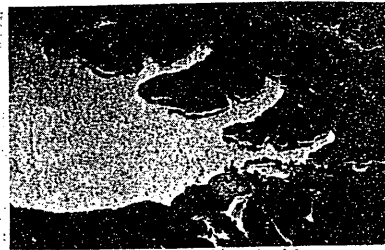
天龍峽



琵琶湖の捕魚設備

してゐる外、大都市では市民の飲料水としてゐる。然し、多雨の季節には時々氾濫して、人畜に被害を及ぼすことがある。湖沼には琵琶湖を除いては大なるもの少く、八郎潟霞ヶ浦、猿瀬湖、猪苗代湖などは、何れも百乃至二百万平方呎の湖面を有してゐるにすぎない。内地地方では断層陷没又は火山作用によつて生じたものが多く、海岸低地には潟湖が多い。何れも天然の貯水池となつて、灌漑水力利用の源となり、運輸養魚に利用せられ、風景の美を添へてゐる。寡雨地帯の瀬戸内海の沿岸平野（特に大阪）には、人工的に貯水した灌漑用溜池が密に分布してゐる。

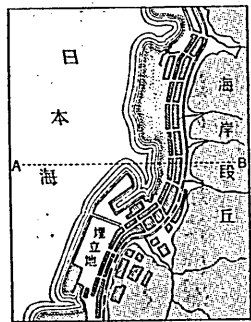
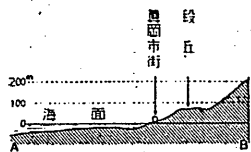
平野 我が國は面積が狭い上に、山がちであるから随つて平地に乏しい。本州の關東濃尾越後、大阪などの諸平野、九州の筑紫平野、臺灣の西部平



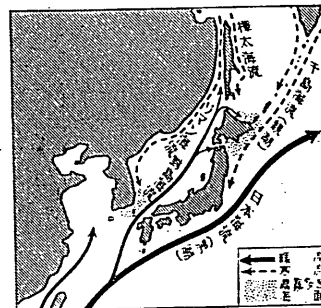
讃岐平野の灌溉池

野、北海道の石狩平野、朝鮮の湖南平野などは比較的廣い。海岸平野の多くは、河川の齎した土砂の堆積によつて三角洲となつたものであるが、他に盆地の如く湖底の乾涸したものや、山麓の扇狀地が合したものがあり、關東平野の臺地の如く海底の隆起したものもある。これ等の平野は概ね地味肥沃で、農耕に適し、産業交通が発達して、人口の密度も亦大で文化地域をなしてゐる。

海岸 我が國の大部は、四面環海の島國であつて、併も屈曲の多い海岸線であることは世界無比と稱せられる。殊に本州の太平洋岸、朝鮮の西及び南海岸、九州の北及び西岸などは出入が著しく、良港灣が発達してゐる。三陸海岸、志摩半島、豊後海峡沿岸などの如く、山脚が直ちに海に迫



関東の海岸段丘



日本近海の海流

る處には鋸齒狀のリヤス式海岸が発達し、多くは漁港として利用されてゐる。日本海沿岸は一般に出入に乏しく、單調な砂濱若しくは斷層による岩濱の海岸をつくつてゐるので良港灣が少い。樺太北海道の沿岸には、海岸段丘が発達して小屈曲に乏しい。

二 海 洋

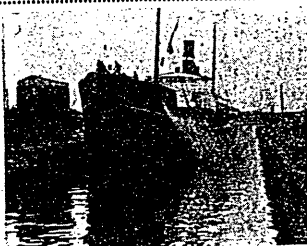
沿海 我が列島は、アジア大陸の東縁部の山脈が其の

◆陸棚とは水深二百米以下の浅海をいふ。
◆我が國の主な海溝
マリアナ海溝 六、四〇〇米
日本海溝 六、三〇〇米
パラオ海溝 八、三〇〇米
ヤップ海溝 八、二〇〇米
琉球海溝 七、六〇〇米

山頂を海上に現じたもので、内側は黄海、東支那海、日本海、オホーツク海などの浅い海の陸棚となつてアジア大陸につゞいてゐる。之に反して外側は急に深く、日本海溝、琉球海溝は島列に沿うて六千米以上の深海となつてゐる。陸棚は良好な漁場となるから、我が國が世界第一の大海産國となつたのも一は之に依るものである。

海 流

我が近海には、寒暖二種の海流がある。暖流は日本海流といひ、赤道附近から流れ來り、臺灣、琉球の沿岸より、九州、四國、本州の南



仁川港の開門

岸を洗つて犬吠崎(多季)、又は金華山沖(夏季)から北東に轉向するもので、濃い藍色を呈する爲に黒潮の別稱がある。その分流の對馬海流は、九州の南西海上から對馬海峡を過ぎ、日本海に入り、本州沿岸を北上して北海道、樺太の西岸に及ぶ。

北方から南下する寒流の千島海流は、カムチャツカ近海から千島列島に沿うて北海道南岸に達し、奥羽の東岸から犬吠崎附近まで迫るもので、一名親潮といはれる。この他に樺太の東岸を南下する樺太海流及び間宮海峡から朝鮮の東岸を洗ふリマン海流の二寒流がある。これ等の海流は我が國の氣候に影響を與へ、水産業交通上にも密接な關係があり、寒暖二流の會合する地方は屢濃霧を發生して海上航行を妨げ、農作物の生育を害する。**潮汐** 海面には一日に二回づつ、潮汐干満の現象を見るが、海岸の地形または海底の深淺によつて、干満の差に大小がある。太平洋沿岸は干満の差が普通二米内外であるが、日本海

◆我が國の氣候は一般に西にアジヤ大陸、東に太平洋が存在する海洋の分布に依つて左右される。

岸は小さく、佐渡島では三十種に過ぎない。差の最も大きい處は、朝鮮の西海岸で十米を超え、有明海岸も五米半に及び、仁川三池の如きは特殊の築港設備を施してある。

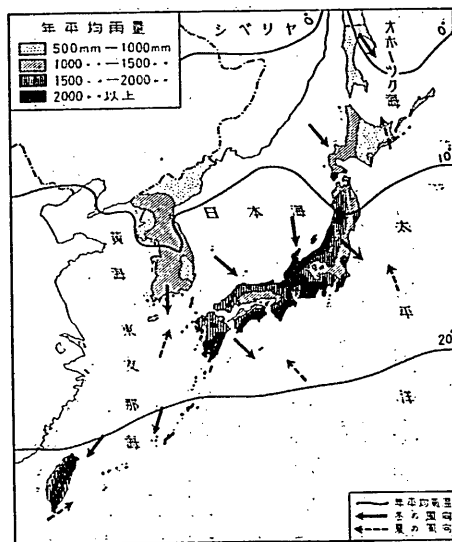
三 氣 候

我が國の大部分が溫帶にあり、周圍は殆ど海を環らしてゐるから、一般に海洋性氣候であるが、南北は緯度約五十度にも跨がり、且つ地形が複雑であるから、各地によつて多少氣候の差異は認められる。

氣溫 内地の大部分は年平均氣溫攝氏四度から十八度までを示し、溫帶的氣溫であるが、臺灣沖繩小笠原諸島は二十度以上の熱帶的氣溫を呈し、樺太は零度に近く寒帶性に近い。朝鮮



北海道 各地に於ける二月の氣候



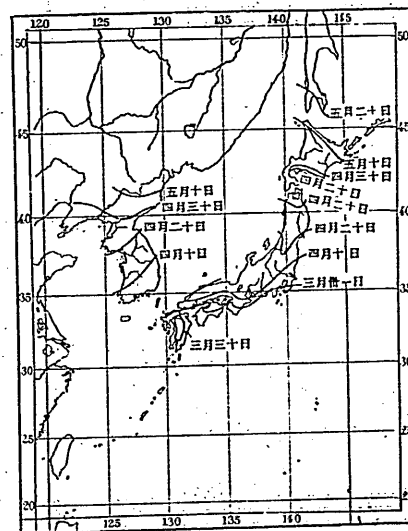
半島は大陸の影響で、北に向ふ程寒暑の差が著しく、列島部でも内陸に入るに従つて比較的その差が多い。

風 向

我が國はアジヤの季

節 風 帶 に

氣 象 圖



櫻の開花期

あつて、夏季、アジヤ大陸内に低氣壓が生じ、太平洋上に高氣壓があるから、南東風が多く吹き、冬季は之に反してアジヤ大陸に高氣壓が發達し、太平洋上が低氣壓となつて北西風が吹くが、風力は夏より



我が國颱風の進路

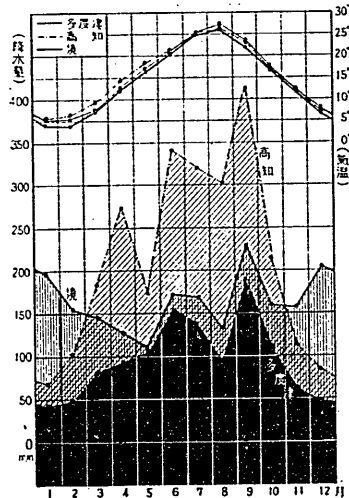
も強い。この季節風が交代する春秋の候には、小低氣壓が各地に發達して一定の風がない。なほ八九月頃には西南海上から熱帶暴風(颱風)が北上して人畜に被害を及ぼすことが多い。

雨量

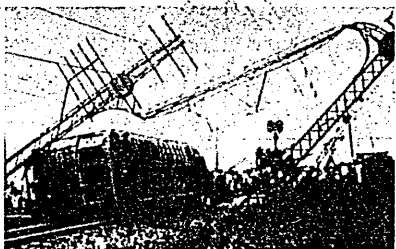
地形と風向及び海流との影響を受けて、各地に異なつた雨量を示してゐるが、概して低緯度の南西

各地雨量型
高知・太平洋型
多度津・瀬戸内型
徳島・日本海型

日本に多く、高緯度の北東日本にいたるに随つて少い。殊に季節風によつて降雨の時季を異にし、太平洋方面は夏季、多雨となり、日本海方面は冬季、雨量が多く、瀬戸内海方面は夏季に多いが、一般に寡雨地帯をなしてゐる。かく季節的に變化のある状態を太平洋型、日本海型及び瀬戸内型とに大別



各地の雨量型

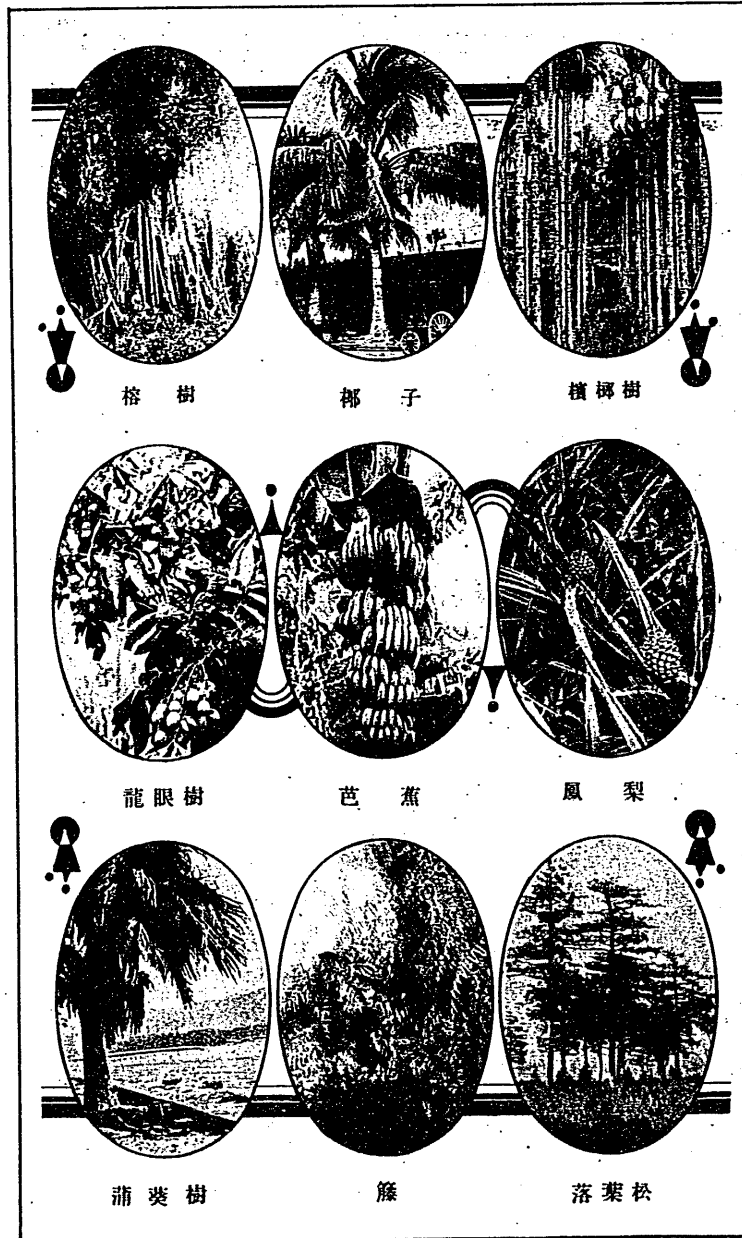


關西大風水害の慘狀

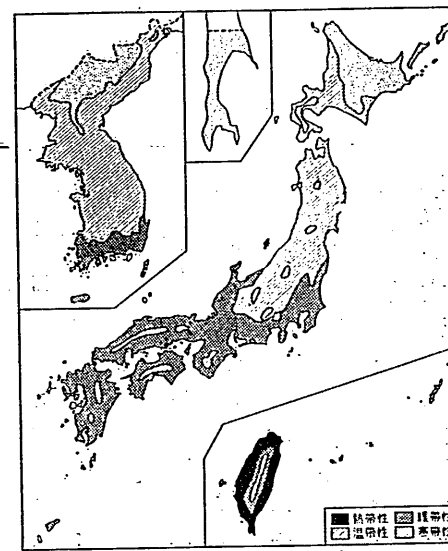
することが出来る。朝鮮では夏季雨量が多く冬季少雨となり、臺灣では北部が冬に、南部が夏に多雨となり、乾季雨季は南北各異なつた季節に生ずる。又、六月には内地に霖雨(霖雨)の現象があり、九月頃には熱帶暴風に伴つて、豪雨があるために、特に降水量が多い。氣温や雨量は地方の産業、交通に種々の影響を及ぼし、土地の開發の上に密接な關係を有する。

四 生 物

植物 植物は地形及び氣候によつてその分布は複雑である。即ち熱帶に屬する臺灣、沖縄、小笠原諸島には林投、樹榕、蒲葵等が繁茂し、栽培植物には甘蔗、バナナ、パイナップルを多く産する。九州、四國、本州の南西部、朝鮮南部は暖帶性の黒松、杉、檜等の森林が多く、また蜜柑、葡萄などの果樹栽培が行はれる。奥羽地方、北海道、西半及び朝鮮の大部分は溫帶性の赤松、檜等が多い。本州北東部の高地、北海



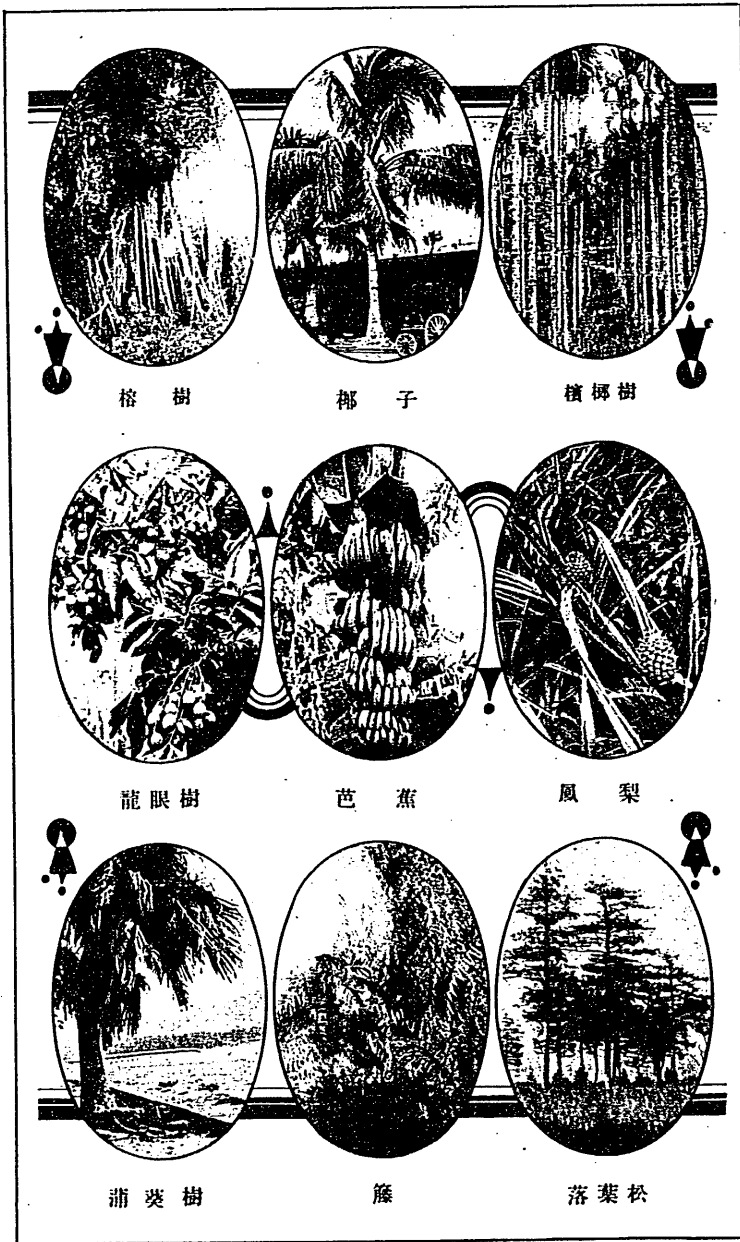
◆津輕海峡を動物分布の著しき境界線とし、發見者の名に因んでアラツキネン線といふ。



道ノ東半、千島樺太朝鮮北部などでは、椴松蝦夷松白樺などの寒帯性のものが繁茂してゐる。

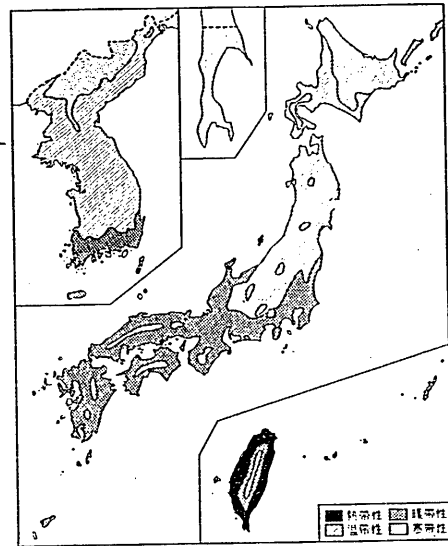
これらの植物分布は又、垂直的に變化があり、臺灣の中央山地では、山麓に樟の熱帯林、中腹に檜の温帯林が繁り、山頂には寒帯植物を見る。

動物 分布は植物の如く著しくなく、牛馬豚鶏等の有用動物は、普く各地に飼はれてゐる。特殊なものとしては朝鮮に虎、獐等の大陸的なものが棲み、臺灣には水牛、穿山甲、琉球にはハブの如き熱帯性のものが多い。列島部では津輕海峡によつて其の分布は大いに趣きを異にし、海峡以南には猿以北には熊に限られ、樺太には麝香鹿、馴鹿などが棲んでゐる。



總 論

◆津輕海峽を動物分布の著しき境界線とし、發見者の名に因んでブラウキストン線といふ。



はれてゐる。特殊なものとしては朝鮮に虎、獐等の大陸的なものが棲み、臺灣には水牛、穿山甲、琉球にはハブの如き熱帯性のものが多い。列島部では津輕海峽によつて其の分布は大いに趣きを異にし、海峽以南には猿以北には熊に限られ、樺太には麝香鹿、馴鹿などが棲んでゐる。

植 物 帯

道の東半、千島、樺太、朝鮮北部などでは、椴、松、蝦夷松、白樺などの寒帯性のものが繁茂してゐる。これらの植物分布は、又、垂直的に變化があり、臺灣の中央山地では、山麓に樟の熱帯林、中腹に檜の温帯林が繁り、山頂にては寒帯植物を見る。

動物

分布は植物の如く著しくなく、牛馬、豚、鶏等の有用動物は普く各地に飼

總 論

世界に於ける人口密度の大なる		一平方
ベルギー	三三	方
オランダ	三三	方
イギリス	二五	方
日本	一五	方
ドイツ	一三	方
イタリア	一三	方

第二章 人 文

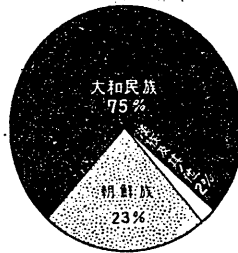
一 住 民

種族

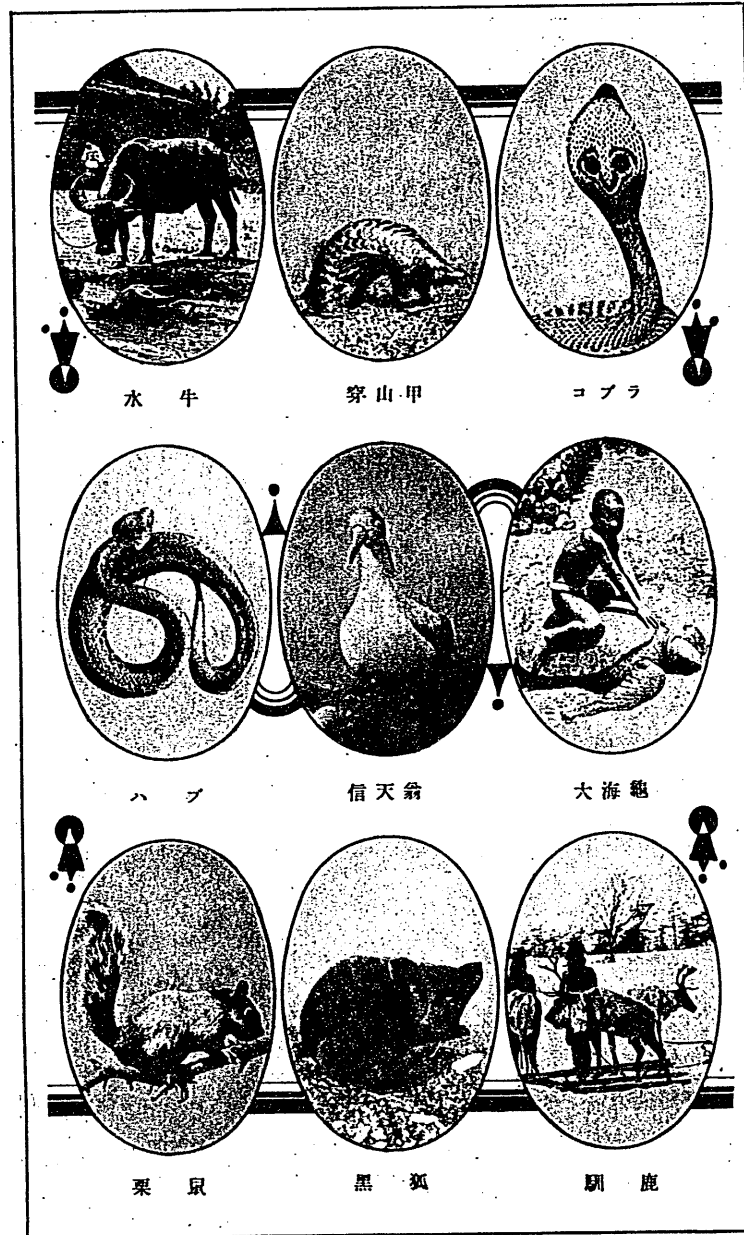
國民の大部分は、内地に居住する大和族で、國民の中堅となつて、我が國運の進展に努力してゐる。半島部に朝鮮族、臺灣の平地に漢族、山地には高砂族が住み、樺太、北海道にはアイヌ族の外に少數のニクブン（イグヤ）オロツコ等の種族があり、南洋委任統治地にはカナカ・チャモロの土人が居る。何れも大和族と同化結合し、日本人としての資格を築き上げつゝある。

人口

我が國の人口總數は九千八百萬人、そのうち内地人は六千九百萬人で、年々百萬に近い増加を見る。一方、人口密度は、外地を含むと百四十五人、内地は百八十一人に及び、世界第四位にある。國內に於ける人口の移動分布



民族の割合



總 論

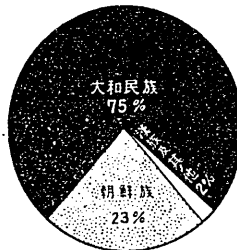
イタリー	ドイツ	日本	イギリス	オランダ	ベルギー	世界に於ける人口密度の大なる國
三	一	二	二	二	二	一方村

第二章 人 文

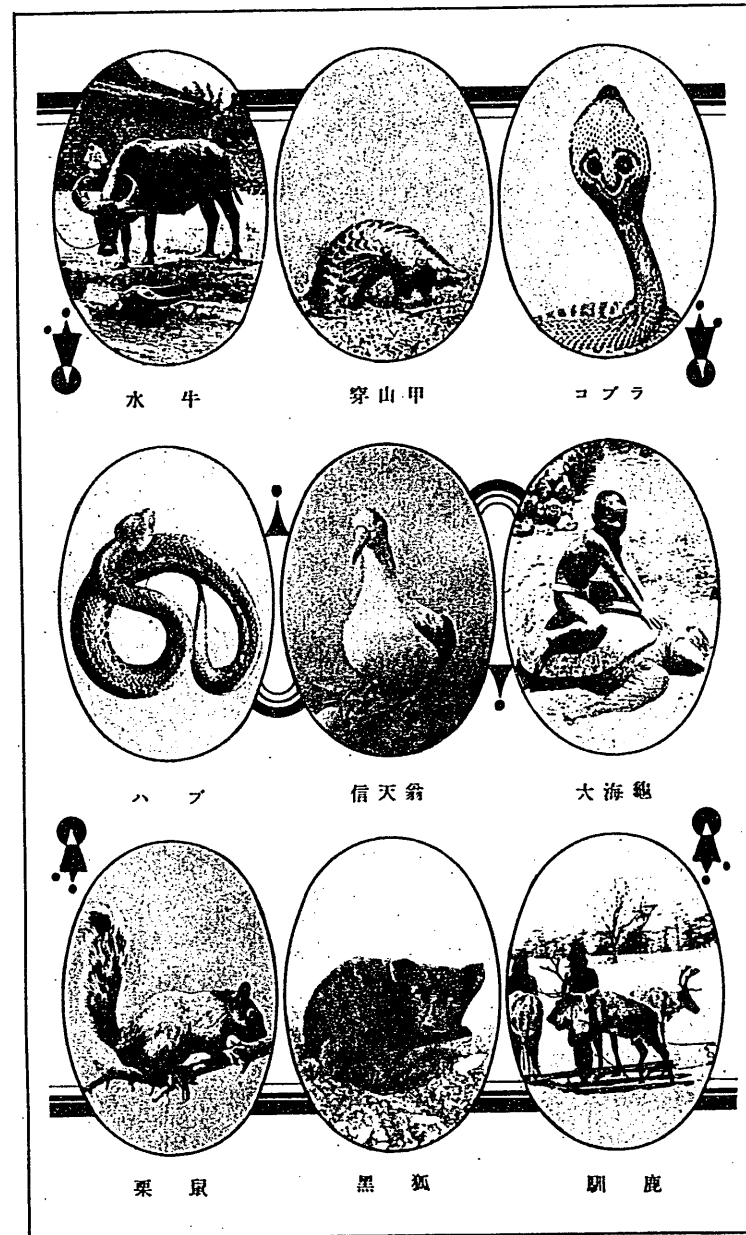
一 住 民

種族 國民の大部分は、内地に居住する大和族で、國民の中堅となつて、我が國運の進展に努力してゐる。半島部に朝鮮族、臺灣の平地に漢族、山地には高砂族が住み、樺太、北海道にはアイヌ族の外に少數のニクブン（（ギリヤ））オロツコ等の種族があり、南洋委任統治地にはカナカ・チャモロの土人が居る。何れも大和族と同化結合し、日本人としての資格を築き上げつゝある。

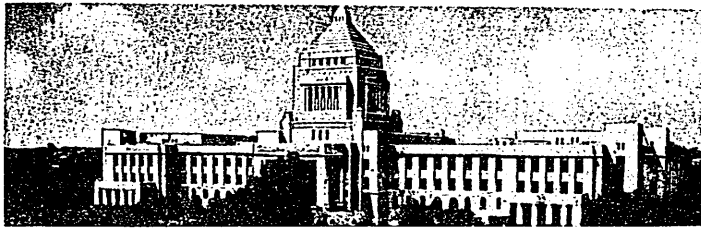
人口 我が國の人口總數は九千八百萬人、そのうち内地人は六千九百萬人で、年々百萬に近い増加を見る。一方村の人口密度は、外地を含むと百四十五人、内地は百八十一人に及び、世界第四位にある。國內に於ける人口の移動分布



民族の割合

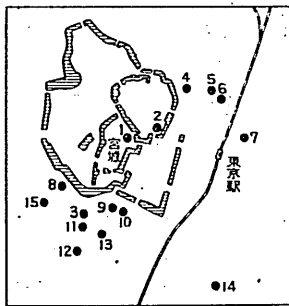


下圖の説明
 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1
 帝國議事堂 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省
 工 軍 海 文 外 拓 司 陸 鐵 選 農 大 内 内 宮
 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省 省

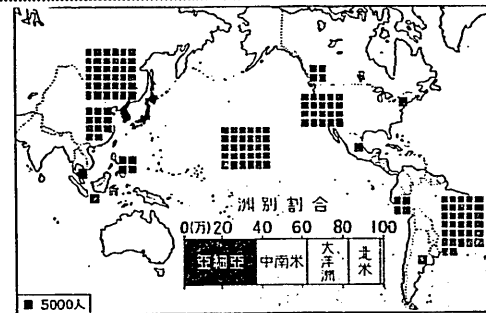


帝國議會新議事堂の外観

國で憲法發布(明治三十二年)以來、立憲國となり、萬國無比の麗はしい國柄をなしてゐる。天皇は統治の大權を統べさせ給ひ、その下に立法司法行政の三部の機關が分立してゐる。立法機關たる帝國議會は貴族院衆議院の兩院から成り、法律案と豫算案とを議する。行政は、中央政府に内閣の外、外務内務大藏陸軍海軍司法文部農林商工逓信鐵道拓務の十二省があり、各省の長官たる大臣は、又、内閣總理大臣と共に國務大臣として内閣を組織し、天皇を輔弼し奉り、國務の責に任じてゐる。地方行政は、三府四十三縣に知事、北海道樺太關東州南洋に長官、臺灣



東京市の中央諸官衙分布



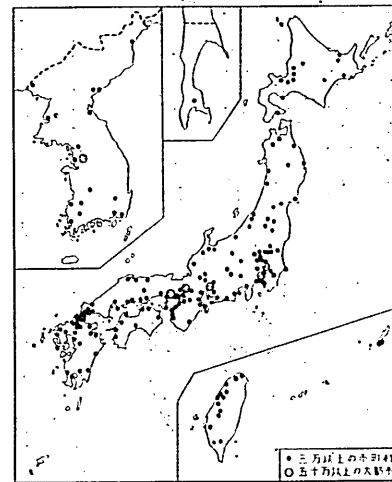
在外邦内地人分布圖

の狀態を観るに、近年商工業の發達につれて都市集中の傾向は著しく、殊に京濱阪神名古屋附近北九州の諸地方は、人口の稠密地帯となつて都市は著しく膨脹してゐる。之に反して山間部農村の如きは人口の減少を來して居る處もある。海外在住の内地人は、關東州南洋群島を除いて八十七萬人に達し、滿洲國ブラジルハワイアアメリカ合衆國支那ペルーカナダフィリピン等にも多し、滿洲には朝鮮人の在住者が七十一萬に達してゐる。

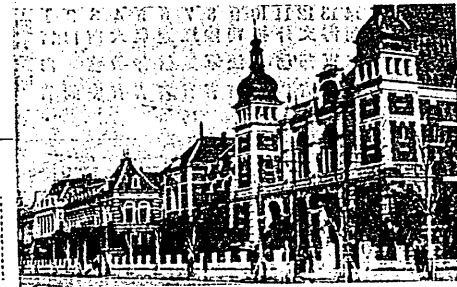
二 政治

國體政體

我が國は萬世一系の天皇を奉戴する君主



都市人口分布圖



朝鮮には總督を置いて、各の管内を治めてゐる。内地及び樺太の司法の最高機關は大審院で東京にあり、控訴院、地方裁判所、區裁判所は地方の主要都市に置かれて、訴訟登記の事務を掌る。外地には各特別の裁判制度がある。外交 我が國は四十餘國と通商條約を締結し、主要諸國には大使、公使を派遣して外交の折衝を行ひ、通商上の要地には領事があつて、貿易及び居留民の保護に當つてゐる。

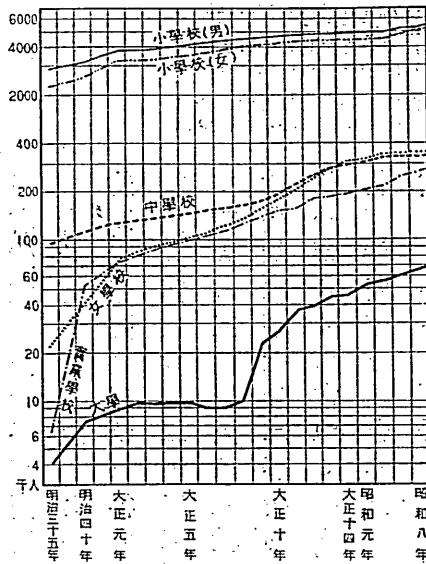
三 文 教

教育 我が國の教育は明治以來、面目を一新し、各種の教育機關が完備し、その普及が著しい。殊に初等教育の進歩せ

良馬愛養 戦争武士



朝鮮普通學校教室と臺灣土人兒童の文字



ることは歐米諸國に比して劣らず、外地に於ても内地同様に初等教育上朝鮮に普通學校、臺灣及び南洋群島に公學校等を設けて、普く人智の啓發に力めてゐる。各種の中等學校の數も四千に近く、更に高等專門學校及び大學は主要の都市に設置されてゐる。

神社宗教 我が國民は建國以來皇室中心、祖先崇敬の精神を以て發展した民族であるから、神宮を始め官國幣社、その他の神社が設けられてゐるが、古き文化地の近畿地方には殊に多い。宗教は何れも信教の自由を認められてゐるから、神道、佛教、キリスト教が並び行はれてゐる。神道の信徒數は三千萬人で、佛教



明治神宮

歳出入約22億円

歳入	租税 53%	公債 14%	其の他 13%
歳出	正務費 46%	行政費 27%	其の他 9%

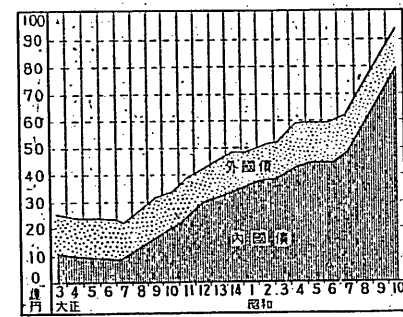
◆外債約十四億
圓は政府の分のみであるが各種のものを含めれば二十億圓となる。この額は時價に見れば約三十四億圓である。その利子のみでも時價一位八千萬圓を支拂はねばならぬ。

歳 出・歳 入

徒は最も多く四千萬人に及ぶ。キリスト教は傳來の歴史が新しく、信徒の数は三十萬と稱せられる。

四 財 政

國民の經濟的發達につれて、我が國の歳出入も著しく膨脹した。中央政府の財政は、一般會計と特別會計とから成り、特別會計は國有鐵道帝國大學專賣局等を主とした官營の事業及びその收入の會計である。之によつて政府は差引毎年約四、五億圓の利益を得てゐる。一般會計の歳出入額は各約二十二、三億圓である。而して歳入の五割以上は租税による。歳出は行政費約二割七分、軍費約四割六分、國債費が約一割八分に當つてゐる。我が國債總額は約百億圓で、その中外債が約十四億圓餘りを占めてゐる。國民はこの外約十八億圓の地



本邦國債現在高

方財政をも維持してゐる。

五 國 防

天皇は大元帥として陸海軍を統率し給ひ、國民皆兵の制度を布かれてゐる。陸軍は内地に、近衛師團と十四箇師團とを置き、朝鮮半島に二箇師團を分置し、別に臺灣關東州には守備隊がある。なほ國防上の要地には要塞が設けられてゐる。



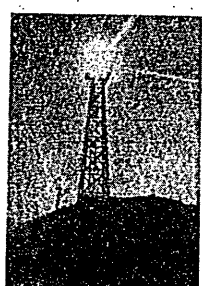
英靈をとむらふ國軍 (靖國神社)

海軍は我が海上を三海軍區に分ち、横須賀吳佐世保の各軍港には鎮守府を置き、舞鶴大湊鎮海馬公旅順には要港部があつて海上の警備に當つてゐる。



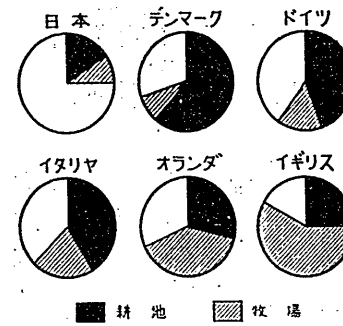
海軍の威力

農業 我が國は古來農を以



箱根山上の航空塔臺

師團所在地
内地 東京・仙臺・名古屋・大阪・廣島・熊本・旭川・弘前・金澤・姫路・宇都宮・京都
朝鮮 羅南・京城
陸軍飛行聯隊 各務ヶ原・立川・八日市・太刀洗・平塚・濱松・屏東
海軍航空隊 横須賀・吳佐世保・大村・霞浦・館山・大湊・佐伯・木更津・舞鶴・富岡・鹿屋



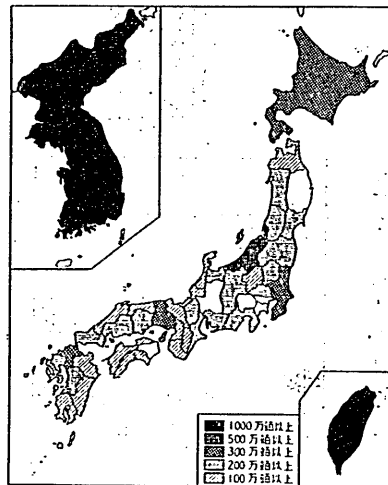
世界の主要國の耕地及び牧場比較

て産業の大本として發達して來たので、國民の半は之に従事し、總戸數の約六割は農家である。然し人口に比して耕地面積が少いから、一戸當りの耕地を諸外國に比較すると著しく少い。随つて小農法を行ひ、狭い耕地から最大の收穫率を擧げようとする努力が拂はれてゐる。たゞ北海道の如き新開地では、新式の農具を用ひて大農法が行はれてゐる處もある。

我が國の農業は殆ど食料品を生産し、外國の如く動物の飼料に充てゐることは少い。その種類が多いが、中でも、米は國民の常食として最も重要なものである。季節風帶の氣候が米作に適し、樺太千島の低溫地帶を除いては、全國到處に稻の栽培が行はれ、特に高溫多雨の臺灣四國の南部等では年二回の收穫がある。主

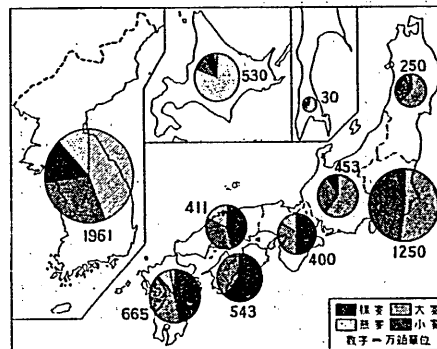


階 段 耕 作
(人工段丘をつくつて米作を行つてゐる處)



米の產地分布

なる米産地は關東越後濃尾大阪筑紫臺灣西部朝鮮西南部の諸平野である。人口稠密な内地では供給米が不足であるから臺灣朝鮮からの移入が多い。麥は米に次ぐ重要な農産物であつて、低溫な樺太北海道奥羽及び朝鮮の北部以外は、一般に冬季稻の裏作として耕作される。大麥小麥は積雪の多い日本海方面以外は各地で栽培するが、關東平野に最も多い。近年小麥の需要が増して來たから、随つて其の栽培面積も増加してゐる。裸麥は近畿以西の地方に、燕麥は樺太北海道朝鮮北部の

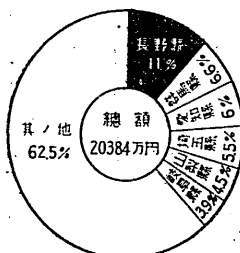


地方別麥産額

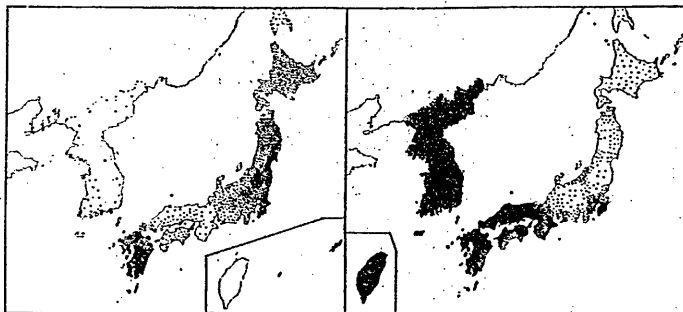
◇國民は古來肉食を好まず毛織物を着るが、近時其の需要は増して來た。羊毛の原料として近時縮羊毛の飼育を奨励してゐる。

果・實は南西日本の柑橘類に對じて北東日本には苹果の産がある。養蠶は我が國の農業中特殊な發達をなしてゐるもので、本州中部關東北部奥羽南部の地帯に農家の副業として盛に行はれ、朝鮮にも將來有望であると稱せられてゐる。

〔牧畜〕 我が國は放牧に適する草原が少く、氣候が濕潤なため牧畜に適しないので餘り發達してゐない。馬は北海道奥羽九州に、牛は九州中國近畿四國に多く、朝鮮地方の牛の頭數は内地を凌ぐ。乳牛は近年著しく増加した。豚は臺灣琉球及び關東



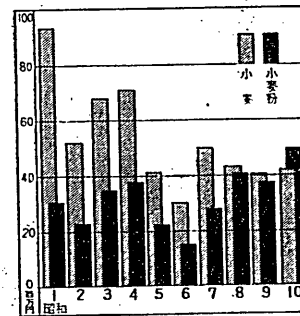
羊毛の産額比較



馬の分布 (一點千頭)

牛の分布 (一點千頭)

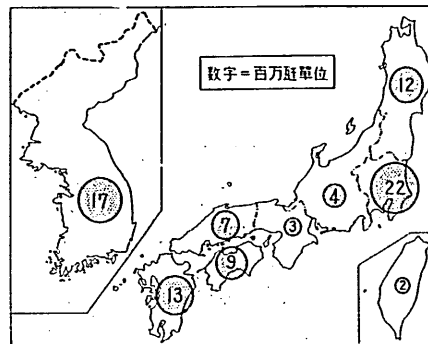
◇大麥、裸麥は米に代る主食物で小麥は製粉に用ひられ、燕麥は飼料に用ひられる。



小麥の輸入と小麥粉の輸出

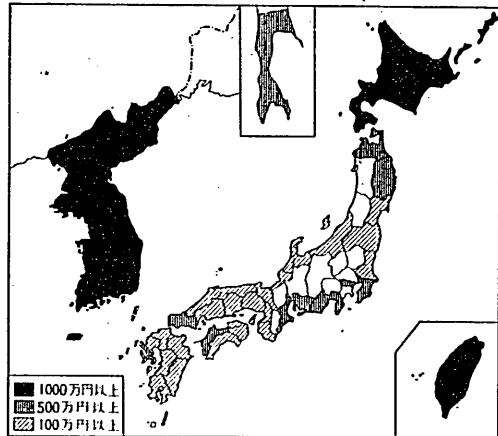
水と日常りのよい土地に適し、關東九州及び朝鮮に多く栽培する。

野・菜は根菜類を主とし、畑栽培である。近年、東京大阪名古屋等の大都市の近郊に多く栽培され、千葉高知などの溫暖な地方では促成栽培が行はれて、都市民の需要に應じてゐる。

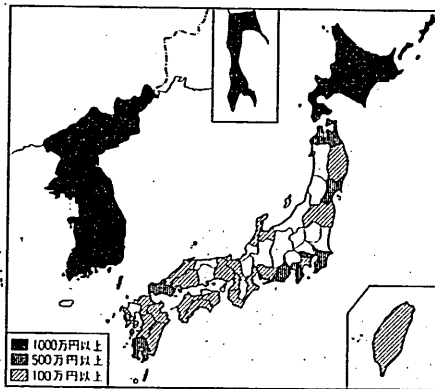


地方別煙草産額

低溫地帯に多く栽培する。大豆は北海道朝鮮の寒冷地に多く、甘蔗は西南日本の溫暖な地方に栽培され、臺灣の製糖業は著しく發達してゐる。茶は溫暖な排水のよい傾斜地に適し、内地では静岡京都三重の諸縣、臺灣では北部の臺地に多く産する。煙草は排



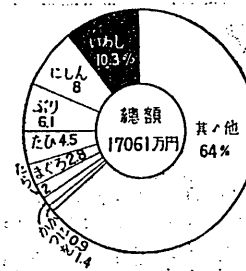
沿岸漁獲高分布



水産製造高分布

魚族の種類と量とに富み、陸棚がよく發達して好漁場が多く、古來國民の漁業に従事する者が多い。随つて漁獲高は、世界總量の四割に達し世界第一の水産國である。從來主に濱漁業であつたが、近來沖漁業及び遠洋漁業が盛になり、トロール船石油發動機船などにより、本土の近海はもとより北はベーリング海、南は南洋の海上にまで出漁してゐる。

主なる水産物として樺太北海道地方に於ける寒海性の鯉鱒、鮭、鱒、昆布、南西日本に於ける暖海性の鰹、鰯等である。之等の水産

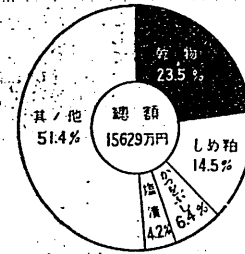


内地水産物割合

多く、用材には杉、松、檜が主で、薪材には松、檜などが用ひられる。樺太北海道ではこれをバルブ製紙の原料として多く用ひる。

水産業

四面環海の我が國は寒暖二流が沿岸を洗うて



内地水産製造物割合

田、岐阜、奈良等の諸縣に美林があり、樺太北海道の東部、朝鮮北部、臺灣などにも廣大な天然林がある。樹種は、南西日本の温暖地は闊葉樹林に富み、北東日本には寒地性の針葉樹林が

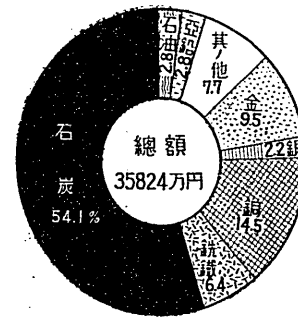


木曾の楡林

地方に多く、鶏は全國到處に飼育され、近年は著しく發達した。**林業** 我が國は山地が多く、且つ溫暖多雨であるから、樹木の生育に適し、森林面積は全面積の約半ばを占めてゐる。本州には青森秋

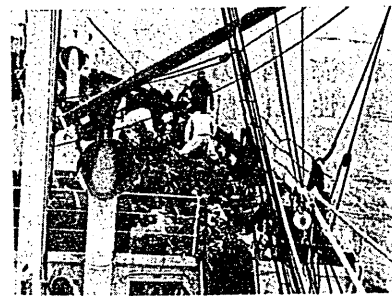
◇夏季北千島方面へ蟹工船の出漁が多い。

◇太平洋沿岸の各地には捕鯊が盛に行はれてゐるが、近來大汽船を以て南極地方にまで出漁するやうになつた。



内地鑛産額比較

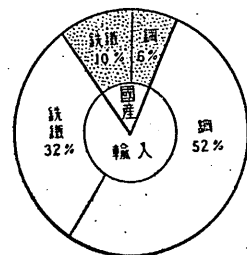
物は鮮魚として食料に供する外に乾物鹽漬罐詰魚油肥料等の水産製造物として支那始め遠き海外へも輸出してゐる。特に化學工業に於ては近時魚油の硬化が盛に行はれるやうになつたので、その需要が頗る増加してゐる。製鹽は内地では瀬戸内海、海濱を主とし、外地では臺灣朝鮮關東州の沿岸にも盛である。魚介の養殖は河川沿海で行はれる。



蟹工船

鑛業

我が國は鑛物の種類に富んでゐる。石炭は全鑛産額の約七割を占め、鑛産物中の首位に在り、北九州及び北海道の炭田が主な産地である。石油は日本海岸の新潟秋田の二縣に多く樺太及び臺灣には將來有望な油田があるが、現在では内地需要の二割を充た



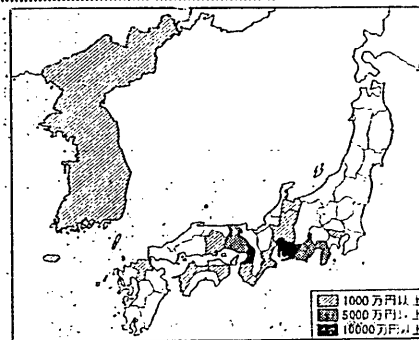
鐵の國産と輸入

すに足らないので、年々アメリカ合衆國マレー諸島、ロシアなどから多量に輸入してゐる。金屬鑛産では、銅がその首位で、世界有数の銅産國となつてゐる。別子、足尾、日立、小阪の諸鑛山は名高い。鐵鑛は内地の産出が少く、釜石、倶知安が稍著はれてゐるに過ぎない。なほ朝鮮には

黃海道を中心として採掘されてゐる。併し、我が製鐵業の原料としては不足を告げるので、マレー半島、支那などより輸入するものが約七割餘にも達する。金の内地産地は精鍊したものを併せると、大分年朝鮮の産金高が頗る増加して内地の産額に匹敵するに至つた。臺灣北部では瑞芳、金瓜石がある。

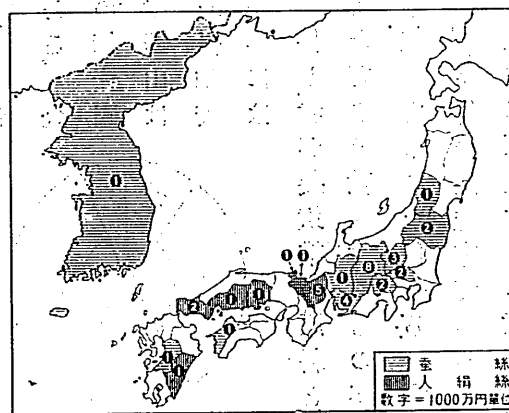
工業 我が國民は古來手工に巧みて、美術工藝品の製作に特殊の技を表してゐたが、新式工業の發達、交通機關の利用豊富な勞力の供

◇滿洲の撫順では油母頁岩から石油を採取してゐる。



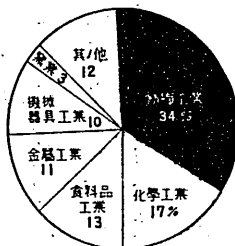
本邦絹織物産地

給及び國民の企業心などによつて一躍工業國として大發展するにいたり、本邦製品は世界各地の市場に輸出されてゐる。その主なる工業は綿絲・綿織物・絹絲・絹織物・人絹織物などの纖維工業（工紡織）で、殊に阪神・名古屋・京濱等の大工業地帯に盛である。絹絲・絹織物工業は我が國獨特の發達を來してゐるもので、長野・愛知・群馬等の諸縣に最も盛であるが、特に絹織物は京都・福井・石川等の諸府縣が古來有名である。近來は人造絹絲及び人絹織物工業が異



蠶糸・人絹糸の産地

◇自動車總数は、一三萬を超過し、年々平均前年の一〇%を増加しつつある。



本邦工場生産額

動力供給が著しく増加したため、諸種の工業の發達に大きな影響を與へる様になつた。

七 交 通

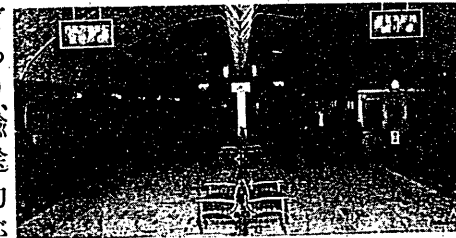
道路 封建時代には、江戸・京都を中心として主要街道は、大いに利用されてゐたが、鐵道開通後は一時衰へた。然るに近來自動車交通が起るに及んで再び道路の利用が盛となり、殊に都市及びその近郊に改良・新設の舗装街道が著しく發達し、交



近代的道路の一例(京濱國道)

常な發達をなしてゐる。福井・滋賀・山口・廣島等はその中心をなしてゐる。近來製鐵・造船・製機・車輛製造等の金屬・機械器具工業は著しく盛大となり、工業藥品・ゴム製品・製紙・肥料製造等の化學工業と共に大工業地帯を始め、各地に發達してゐる。また發電事業も大いに進み、工業用の

◆朝鮮及び南滿洲鐵道は標準軌幅である。
標準軌幅 四呎八吋半
狹軌 三呎六吋
郊外電車軌道中には標準軌のものがある。



大阪の地下鉄

通上に利便を與へて來た。

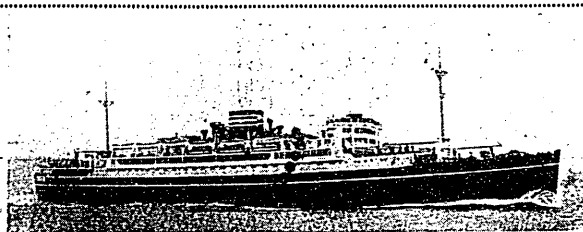
鐵道 鐵道は陸上交通の主要機關として最もよく利用され、現在その總延長は三萬軒に達する。概ね島列の形に沿うて主要幹線が通じ、各島間には連絡船が通じてゐる。大都市附近には鐵道及び軌道がよく發達し、特に東京、大阪、名古屋の附近はその密度が大である。我が國の鐵道は殆ど國有で、地形の關係から内地臺灣樺太の鐵道は狹軌であり、輸送力が歐米諸國と比較して大でない。貨物よりも乗客の利用が著しく多いのは、一方に海運による貨物輸送が多いからである。

水運 我が國は地形上、河湖は大船の航行に適しないが、四周環海の島國なるため國民も古來海事に



東海道線特別急行列車 (つばめ)

◆東京・札幌間は昭和十二年三月より開始の豫定である。

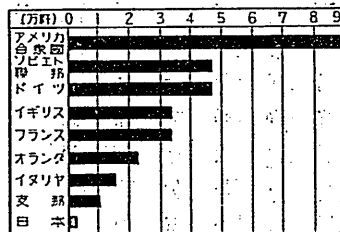


秩 父 丸

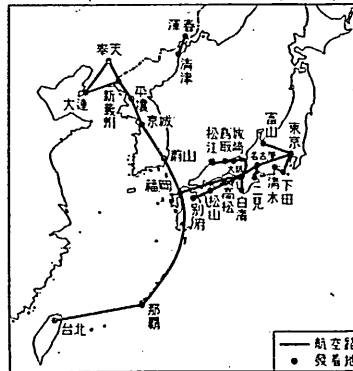
堪能て海上の交通は極めて盛である。商船は四百萬噸に及び世界の第三位にあるが、其の他に漁業に従事するモーター船帆船が多い。航路網は瀬戸内海が最も密である。又、神戸・横濱・大阪・門司には内外の汽船が輻輳する。日本郵船、大阪商船の二大會社は世界の各地に航路を開いてゐる。

航空 我が國の航空事業は列強に比べてその發達は遅く、商業飛行は昭和四年より開始された。主要航空路には東京

大阪・福岡・岡山・京都・平壤・新義州・大連間を連結するものと、福岡・臺北間を結ぶものがある。其の他に地方的航空路があり、その利用は漸



列國の定期航空路



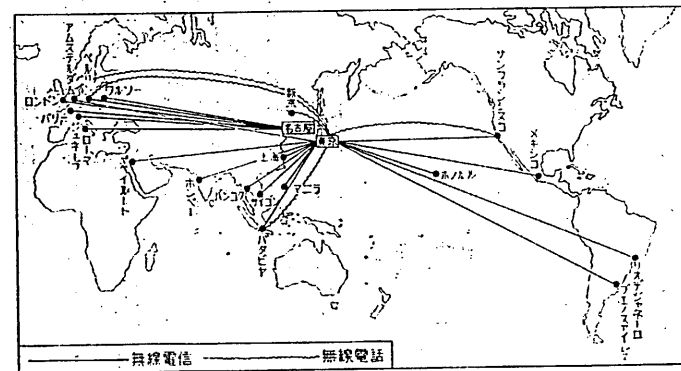
本邦定期航空路線

◇我が國のラヂオ聴取者は人口千人につき三十人の割合、アメリカ合衆國は百八十人、イギリスは百五十人、スウェーデンは二百五十人、比である。

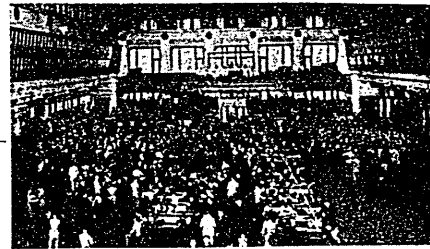
次、盛にならんとしてゐる。
通信 我が國は郵便電信制度が完備し、既に世界にも有數な國の一となつてゐる。海底電線は主要諸島を連絡する外關東州支那等に通じ、小笠原島では太平洋横斷線にも連絡してゐる。電話は都會地を中心としてよく利用せられ、且つ都市相互間には長距離通話が開けてゐる。無線電信無線電話の設備も發達し、歐米南洋滿洲及び航海中の船舶と盛に通信が交換せられ、ラヂオは主要都市に放送局があり、報道娛樂等の機關として全國に普及してゐる。

八 商 業

内國商業 地方的に各地に商業中心地

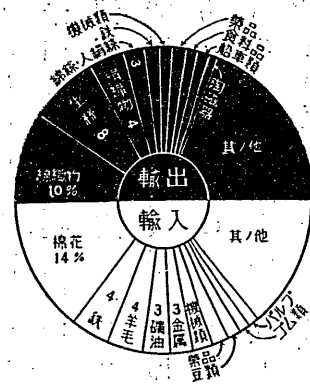


國際無線電信系統圖



東京株式取引所の内部

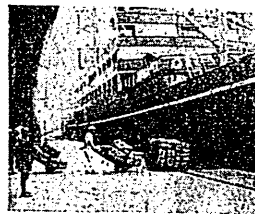
があり、取引が行はれてゐるが、全國的に大中心となつてゐるのは南西日本の大阪、北東日本の東京である。東京は政治の大中心であり、主な商業機關の中樞がここに置かれてゐるが、大阪は經濟上、古い歴史的發達があり、且つ商圏は南西日本はもとより、北陸、北海道にまで及び全國的に擴がつてゐる。最近名古屋はこの東京と大阪との間に介在して、主に中部地方に於ける商圏に變化を及ぼしつつある。



輸出入品比較

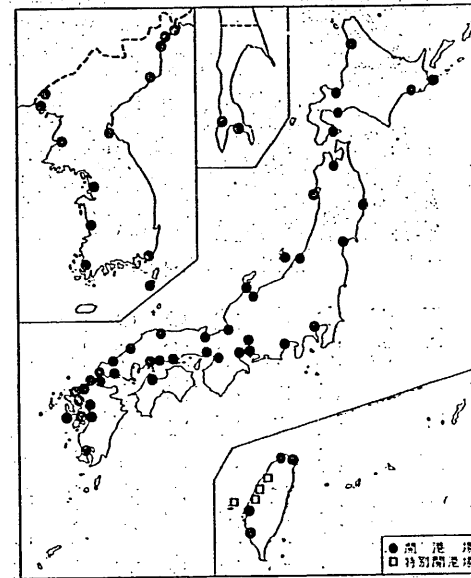
◇我が國の外國貿易の輸出入額は近年何れも二十億圓を超過してゐる。
 昭和八年

外國貿易 我が國は天然の富源に乏しく、國民の直接生活に必要な資源を得るにも不足を告げる状態にあり、且つ國內工業の發達は、其の原料を他國



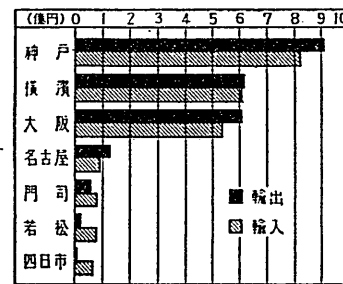
横濱港の生絲荷出し

昭和九年	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年
輸出 三六二	輸出 三三七	輸出 三八七	輸出 三六九
輸入 二四七	輸入 二四九	輸入 二五〇	輸入 二五〇



開 港 場 分 布

に仰ぐものが多いので、年々輸入額は増加してゐるが、又國內諸産業の發達によつて輸出額も増大し、貿易總額は漸増の傾向を示してゐる。然し概ね輸入超過の状態にあるのは遺憾である。輸入品には棉花羊毛鐵石油小麥大豆等の原料及び食料品が大部分を占め、輸出品には綿布生絲人絹布絹布機械等の全製品及び水産物小麥粉の如き食料品が多いことは、國內工業の漸次盛大に趨きつゝあることを物語つてゐる。取引先は米國を主とし、英領印度關東州滿洲濠洲支那蘭領印度イギリスドイツ等の諸國であるが、太平洋と印度洋沿岸地方とが、我が國の重要な顧客となつてゐる。近年滿洲が獨立して以來、彼の國との取引は著しく増加し



主要港 輸出入額

てゐる。開港場は其の數約七十で、神戸横濱大阪の三港が最も活氣を呈し、全貿易額の約九割はこゝで取引せられる。名古屋門司四日市若松函館小樽等は之に次ぎ、各其の地方を後背地として取引が行はれてゐる。

結 語

我が帝國はアジア大陸と、太平洋との接觸地帯に位し、東亞及び太平洋方面への發展上最も適當の位置を占めてゐる。全國民は一に萬世一系の皇室を大宗家と仰ぎ、忠君愛國の精神を以て此の國土に撓みなき努力を以て國力を充實し、今も世界列強に伍して優越の地位を占めてゐる。今や國際間に於ける競争は益々激しさを加へてゐる秋である。國民は更に一層協力一致して國威の宣揚に力めねばならぬ。

帝國新地理

乙表準據 (終)

K220, 28-94

昭和十一年九月十二日印刷
昭和十一年九月十七日發行



著作權所有

帝國新地理(乙表準據)

定價金壹圓貳拾錢

著者 高 尾 常 磐

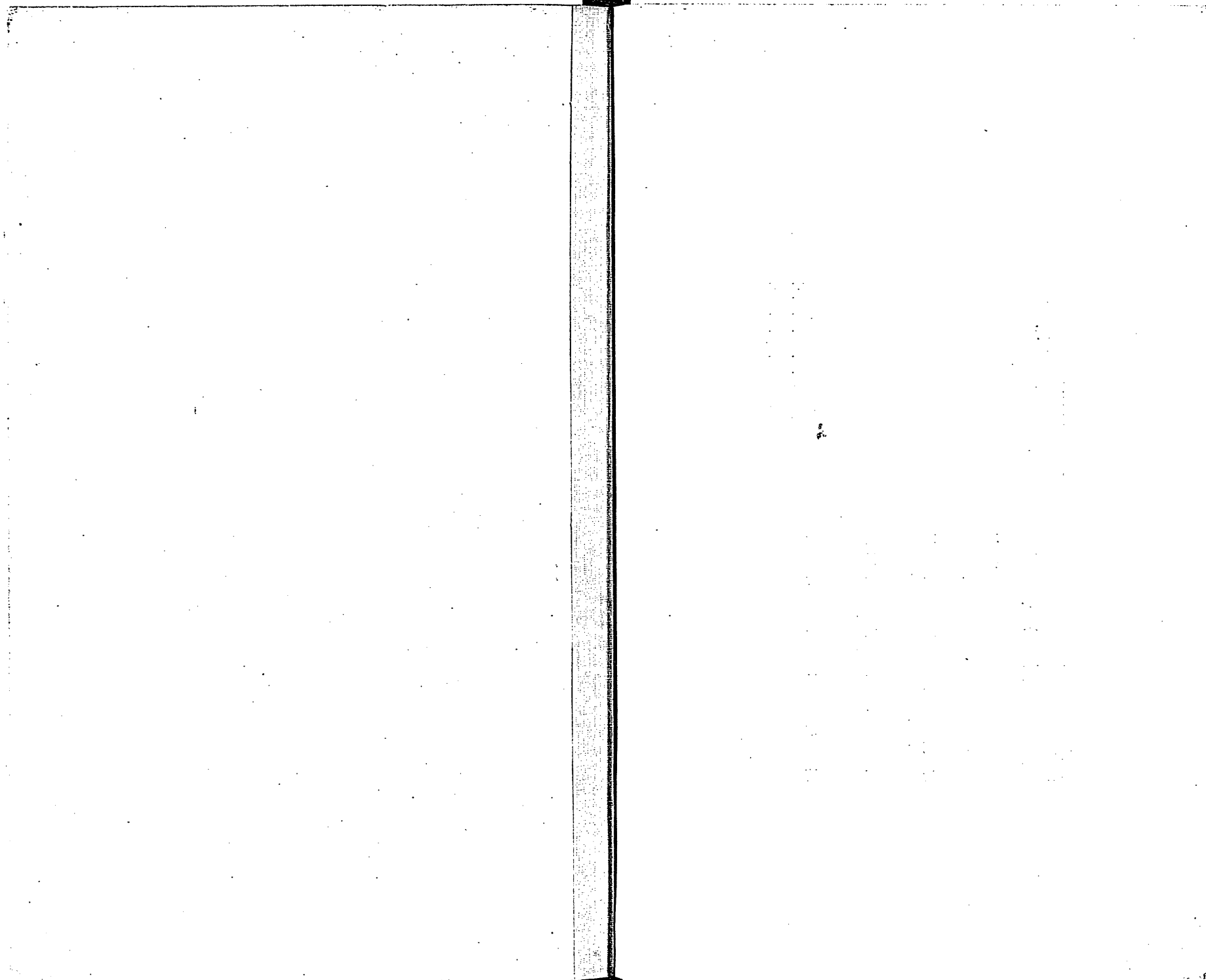
發行者 協 阪 要 太 郎
大阪市西區西長堀南通二ノ七

印刷者 平 和 堂 印刷 所
大阪市西區阿波羅中通一ノ八

發行所

日 本 出 版 社
(三三三)

大阪市西區西長堀南通二
東京市神田區神保町一



1950